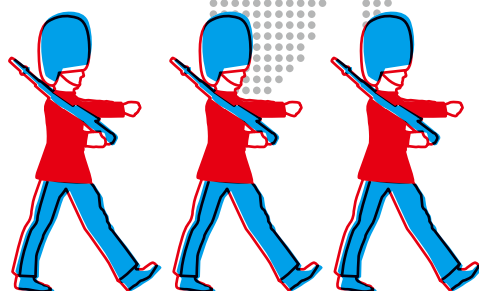
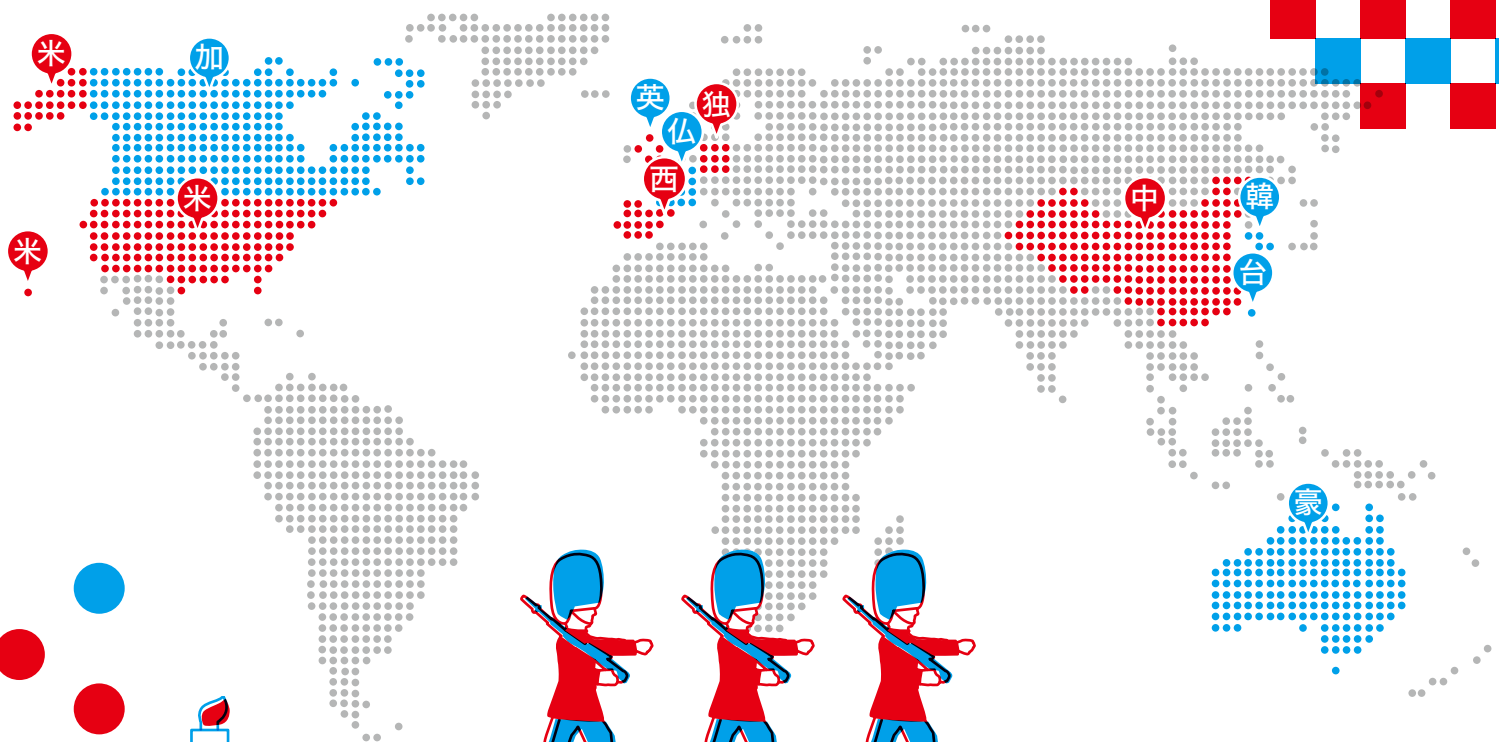
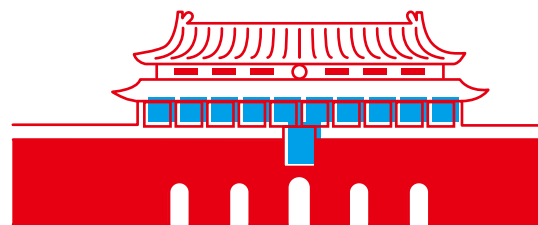


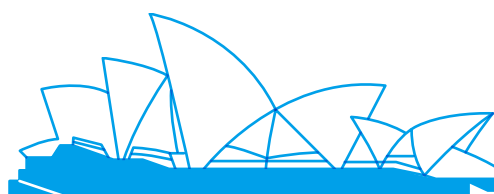
海外留学 ガイドブック

Study Abroad Guide Book

2018✈2019



イギリス/ドイツ/フランス/スペイン/アメリカ
カナダ/オーストラリア/中国/台湾/韓国



2018-2019 MATSUYAMA University STUDY ABROAD GUIDE BOOK

CONTENTS

概要

海外留学プログラムについて	2
各留学プログラムの違い	3
プログラムの重複受講について	3
応募～許可者発表まで	4
各プログラムの年間募集スケジュール(参考)	
松山大学の大学間協定校	6
イギリス／アメリカ／オーストラリア／カナダ フランス／ドイツ／中国／台湾／韓国	
短期語学研修講座の概要	13
長期英語研修講座の概要	16
学生海外語学研修助成制度の概要	18
派遣留学制度の概要	19

申込み

留学準備と計画	24
---------	----

受講許可後(事前準備)

事前ガイダンスの実施	25
履修登録と単位認定について	29
〈長期(半期以上)プログラム参加者〉	

留学中及び研修後の手続き

留学中の手続き	30
海外での安全対策(危機管理と健康管理)	31
帰国及び帰国後の手続き	35
研修終了後の提出物について	36

研修報告書 短期語学研修講座

イギリス(カンタベリー)	40
カナダ(ビクトリア)	42
ドイツ(フライブルク)	44
フランス(ティジョン)	46
中国(上海)	48
韓国(ソウル)	50

研修報告書 長期英語研修講座

イギリス(カンタベリー)	52
カナダ(ビクトリア)	54

研修報告書 学生海外語学研修 助成制度(春季・夏季)

(春季)アメリカ合衆国	56
オーストラリア	58
ニュージーランド	60
フランス	62
スペイン	64
(夏季)アメリカ合衆国	66
イギリス	68
アイルランド	70
マルタ共和国	72
ドイツ	74
韓国	76

研修報告書 派遣留学制度

ドイツ	78
中国	80
台湾	82
韓国	84

巻 頭 言

約150年前、明治政府は、近代化を推し進める一環として、多くの留学生を欧米諸国に派遣しました。留学生たちは、様々な分野で当時の最先端の知識を身に付け、帰国後は、それぞれの分野で国家や社会の近代化に貢献しました。その一例として、法律学を学んだ留学生は、明治政府の中枢で近代的な法制度を整備し、欧米諸国に匹敵する国家体制を作り上げました。新しい知識は、社会全体を発展させる原動力となるものです。

また現在、貿易は世界規模に拡大し、商品や人、情報が国境を越えて移動することがごく日常的なこととなりました。しかし交流の拡大は、時として衝突を生み出し、場合によっては国家間の武力紛争にまでつながることがあります。現在の世界も、決して平穏でないことは、毎日のニュースが報道するところです。しかし過去、多くの戦争を経験した人類が、お互いを知り、違いを認め合い、その上で共通のルールを作り、共存する方法を見つけ出そうとしているのも事実です。国連は、その代表的なものといえるのではないのでしょうか。遠回りのようですが、人と人との交流が相互の信頼を生み、その個人的な信頼関係を国家間の信頼関係につなげていくことが、求められていると言えます。

さて、この冊子を手にした皆さんは、人一倍、外国や留学に対する関心を持ってくださっていると思います。関心を持ったきっかけは、人それぞれかもしれませんが、しかし動機はどうであれ、海外での生活は、これまでなかった経験を皆さんにもたらすことでしょう。実際に触れなければ知ることはできない、その国の人たちの考え方、文化、歴史等に接することは貴重な経験であり、その経験は、その後の人生に大いに役立つことでしょう。また留学は、複数の視点、客観的なものの見方を教えてくれます。現代社会においては、マスメディアやインターネットに多くの情報が溢れていますが、それらの中には誤ったものや偏見に満ちたものも少なくありません。外国の現実を自分の目で見ることは、外国から日本を見ることは、現代社会で求められている、多くの情報の中から本質を見抜き、冷静かつ客観的な判断を下す力を養ってくれることでしょう。

外国から得られた新しい知識が社会を活性化させることは、今も昔も変わりありません。そして冷静かつ客観的な視点は、誤解や一方的な見方が原因となる紛争を予防し、相互理解を深めることにつながります。松山大学の海外研修プログラムをステップとして、これからの社会、そして世界を作っていく皆さんが大きく成長されることを、期待しています。

松山大学 国際センター
センター長 穴田 浩一

海外留学プログラムについて

国際センターの海外留学プログラムは、半年又は1年の留学期間でありながら4年間(薬学部は除く。)で卒業することが可能な長期プログラムと夏季又は春季休暇を利用した短期プログラムがあり、皆さんのニーズ(言語、語学力、場所、期間、費用)に合ったプログラムを選択することができます。休学して留学する場合は、4年間(薬学部は6年間)で卒業することはできません。国際センターでは、留学に関する情報提供をしていますので、気軽に相談してください。なお、プログラムの詳細はP.14からの『各種プログラムの概要』を参照してください。

1 長期プログラム

派遣留学制度

- ・ 本学と学生相互派遣の協定を締結している外国の大学に留学し、そこで開講されている講義を現地の学生とともに受講し、その国の文化・社会を知ることにより、その国の言語による理解力と表現力を飛躍的に高めることを目的とした制度です。
- ・ 留学先の大学で取得した単位は、年間履修単位数を限度に卒業単位として認められることがあります。
- ・ 本学へ当該年度の学費(授業料・教育充実費)を納入することにより、一部の協定校を除いて協定校の入学金・授業料は免除されます。ただし、往復の留学旅費、生活費、教材費等については自己負担となります。

長期英語研修講座

- ・ 研修校において、12週又は30週の期間、修学の機会を与え、英語による理解力と表現力を飛躍的に高めると同時に、その国の文化・社会を通して国際理解の精神を養い国際化時代において活躍しうる人材を育成することを目的とした制度です。
- ・ 研修を修了すると、研修時間相当分の単位の認定を申請することができます。
- ・ 研修先の授業料は、当該年度の本学学費(授業料・教育充実費)に相当する額を限度として本学が助成し、助成金を超える額については自己負担となります。

2 短期プログラム

短期語学研修講座

- ・ 夏季又は春季休暇期間を利用し、研修校において約1ヶ月間、語学力の向上と国際交流を目的とした研修を行う制度です。
- ・ 研修を修了すると、単位の認定を申請することができます。
- ・ 研修に必要な費用は、自己負担となります。

学生海外語学研修助成制度

- ・ 夏季又は春季休暇中に、3週間以上8週間以内で60時間以上の研修を行うことを条件に、研修先や留学準備から帰国するまでの計画等すべてを学生自身がコーディネートし、外国語によるコミュニケーション能力の養成、異文化理解の向上と促進を目的とした制度です。
- ・ 海外に留学する学生に対して、30万円(地域によっては23万円)を上限とする助成金が支給されます。(2018年度予定)
- ・ 研修を修了すると、研修時間相当分の単位の認定を申請することができます。

3 その他の留学

私費留学

- ・ 本学の留学制度とは別に、海外の大学や語学研修機関に留学するケースを私費留学といます。
- ・ 私費留学をする場合は、留学先の国選びから学校選び、願書の提出、留学の手続き、宿舍の手配等すべて自分で準備しなければなりません。自らの将来を見据え、長期的な展望のもとに計画を立ててください。
- ・ 休学して留学を考えている方は、休学手続きについては教務課へ、奨学金を受給している場合は学生課へ必ず事前に相談してください。

各留学プログラムの違い

	期 間	本学への学費納付	留学先大学への授業料等の納付	単位認定申請	取扱窓口
短期語学研修講座	3週間～4週間	必要 (全額)	全額私費 研修終了後に助成金支給あり	(※1) 可	国際センター課
長期英語研修講座	12週間又は30週間		当該年度本学学費相当分を超える額を自己負担 研修終了後に助成金支給あり		
学生海外語学研修助成制度	3週間～8週間		研修終了後に助成金支給あり		
派遣留学制度	半年間又は1年間		入学金・授業料は免除	(※1)	
私費留学(休学する場合)	最大2年間 (薬学部のみ3年間)	在籍料(※2)	全額私費	不可	教務課(※3)

※1 単位の認定については、P.29の「長期(半期以上)プログラム参加者の履修登録と単位認定について」を参照してください。

※2 詳細は学生便覧「学籍異動」を参照してください。

※3 休学願の取扱いは教務課です。

プログラムの重複受講について

種 別	言 語	プログラム	略 称	C	V	F	B	S	K	CL	GL	VL	J	派
短期語学研修講座	英 語	カンタベリー	C	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ビクトリア	V	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ド イ ツ 語	フライブルク	F	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○
	フ ラ ン ス 語	ブルゴーニュ	B	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○
	中 国 語	上海	S	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○
	韓 国 語	ソウル	K	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○
長期英語研修講座	英 語	カンタベリー	CL	○	○	○	○	○	○	×	×	×	※2	○
		グリフィス	GL	○	○	○	○	○	○	×	×	×	※2	○
		ビクトリア	VL	○	○	○	○	○	○	×	×	×	※2	○
学生海外語学研修助成制度	本学で開講している言語	春季・夏季	J	○	○	○	○	○	○	※2	※2	※2	×	○
派遣留学制度	ド イ ツ 語	フライブルク		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中 国 語	復旦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		上海師範		○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		上海財経		○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		青島		○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		國立高雄		○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		玄奘		○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
	韓 国 語	建国		○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		平澤		○	○	○	○	○	○	○	○	○	※3	○

※1 短期語学研修講座において、同プログラムを別の年度に再度受講することは可能ですが、単位認定については1度限りです。

※2 先に、長期英語研修講座を受講した場合は、助成制度を受講することはできません。先に、助成制度を受講した場合は、次年度以降に長期英語研修講座を受講することができます。

同一年度内において、助成制度と長期英語研修講座を受講することはできません。

※3 同一年度内において、助成制度と派遣留学制度(半期)を受講することはできません。

応募～許可者 発表まで



海外語学研修・派遣留学合同オリエンテーションを開催後、各プログラムの実施時期に合わせて、次の手順でプログラム参加者が決定します。

① 募集要項の掲示

各プログラムの募集に関して、『募集要項』を2号館前と国際センター 課前の掲示板及びホームページに掲載しますので、各プログラムの募集ガイダンスに参加してください。

② 募集ガイダンスの実施

プログラムの詳細や協定校の紹介の後、出願に必要な提出書類を配付します。必ず出席してください。授業等で参加できない場合は、事前に国際センター課に相談してください。

③ 出願

出願にあたっては、申込書に必要な事項を記入し、プログラムによっては出願資格に必要な語学検定試験の証明書を添付の上、期日までに提出してください。なお、研修参加には、保護者の承諾が必要です。

④ 選考

書類審査と面接(個人又は集団)の総合評価により可否を判定します。

⑤ 許可者発表

許可者については、国際センター 課前の掲示板等に学籍番号を掲載するとともに、許可者ガイダンス等の案内をします。

各プログラムの年間募集スケジュール<参考>

						2018年度												2019年度																
短期語学研修講座		国 名	研修地	研修期間	募集時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細				
①	短期英語研修講座(カンタベリー)	イギリス	カンタベリー	約4週間	2018年度募集見送り 2019年度募集未定		※2018年度催行中止																			未 定								P.13
②	短期英語研修講座(ビクトリア)	カナダ	ビクトリア	約4週間	1月中旬・ 新入生のみ4月上旬	募★										募		募★												P.13				
③	短期ドイツ語研修講座(フライブルク)	ドイツ	フライブルク	約4週間	1月中旬・ 新入生のみ4月下旬	募★										募		募★												P.14				
④	短期フランス語研修講座(ディジョン)	フランス	ディジョン	約3週間	12月中旬		※2018年度催行中止													募 ★												P.14		
⑤	短期中国語研修講座(上海)	中国	上海	約4週間	10月上旬							募★													募★					P.15				
⑥	短期韓国語研修講座(ソウル)	韓国	ソウル	約3週間	4月下旬	募 ★												募 ★												P.15				
長期英語研修講座		国 名	研修地	研修期間	募集時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細				
①	長期英語研修講座(カンタベリー)	イギリス	カンタベリー	30週間	10月中旬							募★												募★					P.16					
②	長期英語研修講座(グリフィス)	オーストラリア	ブリスベン	30週間									募★												募★				P.16					
③	長期英語研修講座(ビクトリア)	カナダ	ビクトリア	12週間	前学期:10月中旬							募★												募★				P.17						
					後学期:10月中旬											募★										募★			P.17					
学生海外語学研修助成制度		国 名	研修地	研修期間	募集時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細				
①	学生海外語学研修助成制度(夏季)	各国 ※1	各地	3～8週間／各自の計画による	4月下旬	募★												募★											P.18					
②	学生海外語学研修助成制度(春季)				10月上旬									募★													募★				P.18			
派遣留学制度(単位互換制度)		国 名	研修地	研修期間	募集時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細				
①	フライブルク大学	ドイツ	フライブルク	約1年間	1月上旬 ～3月中旬												★												P.19					
②	復旦大学	中国	上海	約半年間又は約1年間														★											P.19					
③	上海師範大学			約半年間又は約1年間																★										P.20				
④	上海財経大学			約半年間又は約1年間																★										P.20				
⑤	青島大学			約半年間又は約1年間																★										P.21				
⑥	国立高雄大学	台湾	高雄	約半年間又は約1年間														★											P.21					
⑦	玄奘大学		新竹	約半年間又は約1年間															★										P.22					
⑧	建国大学	韓国	ソウル	約4ヶ月間又は1年間		7月下旬																							P.22					
⑨	平澤大学		平澤	約4ヶ月間又は10ヶ月間		～10月中旬																							P.23					

※1 本学で開講されている言語を公用語とする国

募 = 募集ガイダンス 2018年度 2019年度 = 出願期間 ★ = 選考・許可者発表 = 留学期間

- 各プログラムの詳細及び必要な申込書類については、募集ガイダンスでお知らせします。
- 募集ガイダンスにて必要な申込書類を配布します。必ず出席してください。
- 病気等のやむを得ない理由で出席できない者は、事前に国際センター課へ申出てください。(アルバイトやサークル活動等の私的な理由での欠席は認めません。)

- 派遣留学制度は募集ガイダンスを行いません。募集要項掲示時期と出願期間に注意してください。
- 募集ガイダンス及び出願期間は年度により変更する場合があります。

松山大学の 大学間協定校



松山大学には、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語を学ぶために協定を結んだ海外の大学が13校あり、これまでに多くの学生が語学力及び異文化理解の向上のために留学しています。興味がある言語から、留学先を探してみましょう。



英語 オーストラリア〈ブリスベン〉 長期英語研修講座



グリフィス大学

Griffith University

グリフィス大学は、クイーンズランド州の州都でありオーストラリア第三の都市でもあるブリスベンとゴールドコーストにキャンパスを持つ大学です。その大学の附属英語学校であるグリフィスイングリッシュランゲージインスティテュート(GELI)では世界各国から来た留学生が学習しています。本学の研修生はブリスベンのキャンパスで学習します。大学の附属英語学校であるため、図書館やコンピュータ室等の大学施設も利用できます。



▶ ダイレクトエントリープログラム

レベル別に分かれたクラスで、読解、文章表現、聞き取り、会話、文法、語彙、発音等あらゆる英語の技能について学ぶことができます。また、参加者の英語力によってはよりアカデミックな知識を深めることが可能です。



キャンパス内バス停



リバーシティ

グリフィス大学URL >> <http://www.griffith.edu.au/>

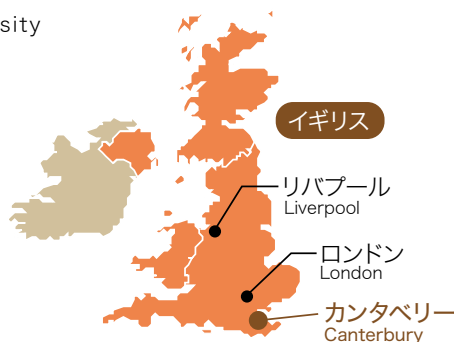
英語 イギリス〈カンタベリー〉 長期英語研修講座



カンタベリー クライスト チャーチ大学

Canterbury Christ Church University

カンタベリークライストチャーチ大学は、歴史ある都市カンタベリーの中心地に位置する大学です。メインキャンパスは、ショッピングや川下りなどが楽しめるシティセンターから徒歩数分のところで、大聖堂近くの城壁の外にあります。本学の研修生は、このキャンパスで学習し、図書館、カフェテリア、コンピュータルーム等の大学施設も利用できます。



▶ 一般英語コース (General English Course)

高い資格と豊かな経験を持つ専門の講師陣から、英語を教わります。クラスは10名程度の少人数で構成されていますので、一人ひとりにまできめの細かい指導が行き届きます。

イギリス文学、IELTS準備、会話練習、芸術等多様な科目が用意されていることが魅力です。



カンタベリークライストチャーチ大学内



カンタベリー大聖堂

カンタベリークライストチャーチ大学URL >> <http://www.canterbury.ac.uk/>

英語 カナダ〈ビクトリア〉 短期語学研修講座・長期英語研修講座



ビクトリア大学

University of Victoria

ビクトリア大学のイングリッシュランゲージセンター(ELC)は、留学生向けの充実した授業内容とエキサイティングなプログラムで、世界中に知られています。1970年に設立されたセンターは、日本をはじめ、様々な国から生徒を迎え、多くの卒業生を世に送り出しています。異国で学ぶ留学生のニーズをよく理解した熱心でプロフェッショナルな講師陣は、すべてESL教授の特別訓練を受けた学位取得者です。フレンドリーで協力的な学習環境が用意されています。



▶ 夏季日本人特別プログラム(短期) ▶ 12週間英語集中プログラム(長期)

レベル別に分かれたクラスで、生徒の理解を深め、実社会で効果的にコミュニケーションが図れるよう、最新の教授法と教材が使われます。読解、文章表現、聞き取り、会話の他、文法、語彙、慣用熟語等を学習します。多くの学習施設やレクリエーション施設も利用できます。

夏季日本人特別プログラムは、特定の日本の大学の学生にのみ開講されるため、クラスメイトはすべて日本人になります。



UVic構内



州議事堂

ビクトリア大学URL >> <http://www.uvic.ca/>

フランス語 フランス〈ディジョン〉 短期語学研修講座



ブルゴーニュ大学

University of Burgundy

ブルゴーニュ大学は、パリから電車で1時間40分程度のコート＝ドール県ディジョンにあります。ブルゴーニュ公国のかつての首都であったディジョンは、歴史的な建造物を含む豊かな文化遺産に恵まれ、美食とワインの街として世界的にも知られています。1722年に創立されたブルゴーニュ大学は、ブルゴーニュ地方に5つのキャンパスを持つ中規模の国立総合大学です。学生数は25,000人ほど、留学生は約60国籍から1,500人あまり在籍しています。本学では、2014年の夏に初めての留学生を送りました。

▶ 短期フランス語研修講座
[CIEF] フランス語研究国際センター

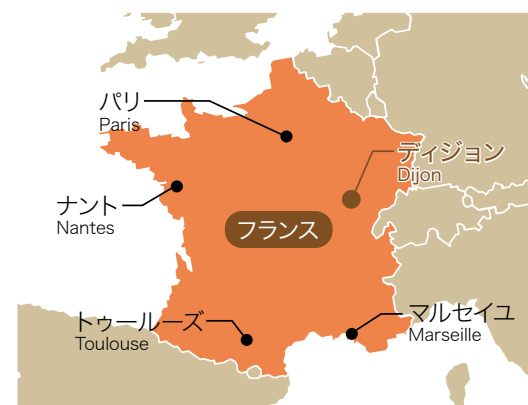
経験豊かな講師陣が、フランス語及びフランス文化に関する授業を展開しており、フランス語教育については定評があります。クラスはプレイメントテストによって1クラス15人ほどのレベル別に分かれ、各国から来る留学生と共にフランス語を学びます。また、ブルゴーニュ地方独特の文化を知るための課外活動も充実しています。



ブルゴーニュ大学学生寮



ブルゴーニュ市内

ブルゴーニュ大学URL >> <http://www.u-bourgogne.fr/>

中国語 中国〈上海〉 派遣留学制度



復旦大学

Fudan University

復旦大学は「北の北京、南の復旦」と称され、北京大学と双璧をなす中国の名門大学です。上海市に所在する全国重点大学で、創立以来百余年の歴史があります。復旦大学は、近代中国の著名な教育家・馬相伯によって、1905年私立の復旦公学として創立されました。校名は尚書の「虞夏伝」に見える「日月光華、旦復旦今」の句に由来します。2000年には上海医科大学と合併して、医学部も有する国の総合研究型大学となりました。また、建国後一番早く留学生の受入を始めた大学の一つで、現在その規模は中国国内総合大学の中で一位を誇っています。毎年数千人の留学生が在籍しており、長期留学・交換留学・短期語学研修に世界各国より訪れています。広大でアカデミックなキャンパスは上海市の東北郊外にあり、喧騒を離れ落ち着いた環境は学習には最適です。本学と復旦大学は2005年に大学間の交流協定を締結しました。



毛沢東主席像



復旦大学正門



復旦大学キャンパス

復旦大学URL >> <http://www.fudan.edu.cn/>

ドイツ語 ドイツ〈フライブルク〉 短期語学研修講座・派遣留学制度



フライブルク大学

University of Freiburg

フライブルク大学は、ドイツ南西部バーデン＝ヴュルテンベルク州フライブルク市にあります。フライブルクの周辺には「黒い森」と呼ばれる有名な森林地帯があり、自然豊かな環境で過ごします。1457年創立のフライブルク大学はドイツで三番目に古い大学で、校舎の多くはフライブルク旧市街にあり、市内中心部にも容易にアクセスすることができます。現在は学生数21,000人以上、教員数5,000人以上の総合大学として多くの国から留学生を受け入れています。本学とフライブルク大学は2002年に大学間の交流協定を締結しました。

▶ 短期ドイツ語研修講座
[SLI] 言語教育インスティテュート

フライブルク大学の附属語学学校であるSLIによって行われるこのプログラムでは、参加者のレベルに応じて、各国から来た学生と共に学ぶインターナショナルクラスが用意されています。ドイツの文化や生活が理解できるよう、教室での授業と関連させた実地見学等を織り混ぜ、地域社会と学生との接触の場が提供されます。また、ドイツ文化に接することができる多彩なレクリエーションも用意されています。



フライブルク大学の校舎



フライブルクの街並み

フライブルク大学URL >> <http://www.uni-freiburg.de/>

中国語 中国〈上海〉 派遣留学制度



上海師範大学

Shanghai Normal University

上海師範大学は1954年に創立以来、上海の教育界に多くの人材を送り出し、教員養成において伝統ある大学として発展した歴史ある総合大学です。特に言語教育に関しては中国有数の大学のひとつで、早い時期から留学生に対する中国語教育を始めており、経験が豊富です。現在中国政府奨学金が設けられており、成績が優秀な留学生に各等級の奨学金が支給されます。大学のキャンパスは、ポプラ並木の間に煉瓦造りの校舎が並び静かで落ち着いた環境です。派遣留学生が学ぶ對外漢語学院は、留学生に中国語教育を専門に教授する学院です。レベル別にクラス編成がなされ、発音矯正やビジネス中国語、HSK対策授業等中国語に関する選択科目も充実しています。本学と上海師範大学は2004年に大学間の交流協定を締結しました。



對外漢語学院



上海師範大学キャンパス



上海師範大学の正門

上海師範大学URL >> <http://www.shnu.edu.cn/>

中国語 中国〈上海〉 短期語学研修講座・派遣留学制度



上海財経大学

Shanghai University of Finance and Economics

上海財経大学は1917年に創立され、やがて中国教育史上一番早い商科大学となり、現在は財政学や会計学、金融学のほか、国際ビジネス、マネジメント、法学などの学部を擁する総合大学に発展を遂げています。上海財経大学に特設されている国際文化交流学院は、ビジネス中国語が堪能な人材と、中国经济とマーケットにも詳しい国際的な経済管理人材を育成しています。国際センター課主催の「短期中国語研修講座」は、併設の国際文化交流学院で実施しています。本学と上海財経大学は2011年に大学間の交流協定を締結しました。



上海財経大学 中山北一路キャンパス



上海財経大学 国定路キャンパス



留学生寮

上海財経大学URL >> <http://www.shufe.edu.cn/>

中国語 台湾〈高雄〉 派遣留学制度



國立高雄大学

National University of Kaohsiung

國立高雄大学は台湾南部に位置し、南部の高等教育・研究機関の充実を図るため国家政策により、2000年に設立された新しい国立大学です。人文社会科学部、法学部、経営学部、理学部、工学部などの学部で構成され、全国から優秀な学生が集まる名門総合大学です。日台間では産学官連携によるグローバル国際協力関係の構築が進む中、本学と國立高雄大学は2010年に大学間の交流協定を締結しました。高雄市は台北に次ぐ台湾第2の大都市で、商業が盛んな港町です。年間を通して温暖な気候で、交通の便と住環境が良く、留学生が学ぶには理想的な環境です。



國立高雄大学正門前



國立高雄大学キャンパス



國立高雄大学留学生寮

國立高雄大学URL >> <http://www.nuk.edu.tw/>

中国語 中国〈青島〉 派遣留学制度



青島大学

Qingdao University

青島大学は、山々を背景とした海沿いの町に白い建物が浮かび上がる美しいキャンパスを有しており、1924年に設立され、1993年に4大学が合併し現在は山東地方で最も大きな総合大学です。

夏は涼しく冬は温暖な気候で、落ち着いた環境は学習には最適です。経済学、管理学、理学、工学、医学、教育学、芸術学など多岐にわたる学部があり、約4万人の学生が学んでいます。キャンパス周辺は海で囲まれているため温暖湿潤で、自然豊かな環境にあり、交通の便も発達しています。本学と青島大学は2004年に大学間の交流協定を締結しました。



青島大学正門付近



青島大学キャンパス

青島大学URL >> <http://www.qdu.edu.cn/>

中国語 台湾〈新竹〉 派遣留学制度



玄奘大学

Hsuan Chuang University

玄奘大学は、台湾新竹市にある1997年に設立された私立大学です。人文、社会科学、マネジメント、メディアという4つの大きなフィールドの中に、17の学科と8つの大学院研究科があります。広々とした学内は緑にあふれており、学びに適した好環境のもと、多くの学生が楽しいキャンパスライフを過ごしています。

工業都市として発展した新竹市は「台湾のシリコンバレー」とも呼ばれ、近代的な建物が立ち並んでいます。新竹駅から台北へは高速列車で30分程度と交通の便が良く、大都会・台北へも気軽に行き来できます。



玄奘大学キャンパス



中庭の湖



玄奘大学学生寮

玄奘大学URL >> <http://www.hcu.edu.tw/>

短期語学研修講座の概要

講座名	短期英語研修講座	
研修校	①カンタベリークライストチャーチ大学 (募集未定)	②ビクトリア大学 イングリッシュランゲージセンター
研修地	イギリス ケント州 カンタベリー	カナダ ブリティッシュコロンビア州 ビクトリア
研修期間	8月中旬～9月中旬(約4週間) 60時間以上の研修を行います。	8月上旬～9月上旬(約4週間) 60時間以上の研修を行います。
滞在方法	ホームステイ(空室があれば寮も可です)	ホームステイ
対象	全学部生/全学年 短期大学生/2年次生以上 ※当該年度に以下の科目の履修が必要です。 「事前研修A イギリス」	全学部生/全学年 短期大学生/2年次生以上 ※当該年度に以下の科目の履修が必要です。 「事前研修A カナダ」
定員	20名	20名
選考	面接及び書類審査	面接及び書類審査
費用	全額自己負担 約500,000円(2017年度実績) (内 訳 旅 費:約 220,000円 研修費:約 280,000円) ※研修費に1日2食(朝食・夕食)が含まれます。	全額自己負担 約550,000円(2017年度実績) (内 訳 旅 費:約 260,000円 研修費:約 290,000円) ※研修費に1日3食が含まれます。
助成金	90,000円 原則として、研修終了後に支給します。	100,000円 原則として、研修終了後に支給します。
特徴	・カンタベリーは、ロンドンから電車で1時間30分程度の場所にあり、カンタベリー大聖堂をはじめとする歴史的建造物や古い町並みが見事に保存されています。 ・各国から来た学生で構成するクラス(インターナショナルクラス)。クラス分けによってはクラスメイトが日本人のみになる場合もあります。 ・午前中に2コマ、午後に1コマの英語クラスを受講します。 ・希望すれば、アクティビティー(ロンドン・オックスフォード日帰りツアー等)に参加することができます(別途料金が必要なものあり)。	・ビクトリアは、バンクーバー島にあるブリティッシュコロンビア州の州都であり、美しい入り江が多く、野鳥や野生の動物が生息する自然に恵まれた環境です。また、いろいろなアウトドアスポーツが楽しめます。 ・他の日本の大学の学生と共に構成されるクラス。能力別にクラス分けがあります。(クラスメイトは日本人のみです) ・午前中は英語クラスを受講し、午後は博物館・美術館の訪問・ハイキング等の各種文化活動を通して英語を楽しみながら学んでいきます。 ・ホームステイを通じて実生活から生きた英語を習得します。ビクトリアは、比較的生活水準の高い地域で、イギリス系の伝統を残した家庭的な雰囲気を持っています。その中で、楽しいホームステイが体験できます。
認定科目	「海外語学研修A イギリス」(4単位)	「海外語学研修A カナダ」(4単位)
募集時期	2018年度募集見送り 2019年度未定	1月中旬 (新入生のみ4月上旬)
URL	http://www.canterbury.ac.uk/	http://continuingstudies.uvic.ca/elc

負担金額は、為替レートや授業料・航空運賃により、変動することがあります。

韓国語 韓国〈ソウル〉 短期語学研修講座・派遣留学制度



建国大学

Konkuk University

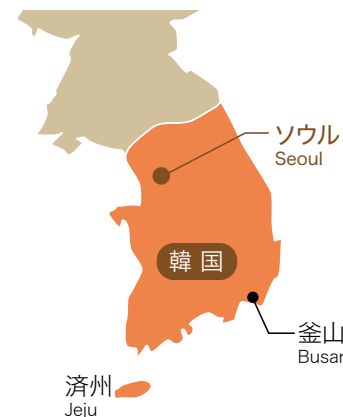
建国大学は半世紀の歴史と伝統を誇っています。母体は1931年に政財界の代表者45人の支援を得て設立した民衆病院。そして、1946年に設立された朝鮮政治学館から1959年に今の総合大学に発展して以後、誠・信・義の教育理念のもと、国際化を目指す大学として成長してきました。ソウルと忠清北道忠州市に2つのキャンパスを持ち、充実した教育環境で有名な韓国有名な総合私立大学です。ソウルキャンパスには学校の中に湖がある等自然と調和したキャンパスが広がっています。現在、「ルネッサンス建国2031」という新しいビジョンを樹立。2031年までに世界100大大学への跳躍を目指し、経済社会を先導するグローバルな人材の養成に力を注いでいます。本学と建国大学は1998年に大学間の交流協定を締結しました。



建国大学入口



キャンパス内の広大な湖



学生会館

建国大学URL >> <http://www.konkuk.ac.kr/>

韓国語 韓国〈平澤〉 派遣留学制度



平澤大学

Pyeongtaek University

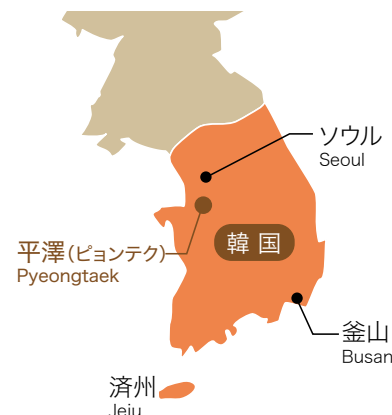
平澤大学は、韓国の京畿道平澤市に位置する、古い伝統と力強い若さを共に持つ大学です。1912年にピアソン博士のキリスト教精神を基に、母体となるピアソン記念聖経学院をソウルで創立。1980年に4年制大学の設立認可を受け、翌年1981年にソウルから平澤へ校舎を移設。初の新入生を受け入れ、大学として本格始動しました。1992年に総合大学・平澤大学に昇格し、1996年に学校名が現名称である平澤大学に改称されました。こうして、長い歴史を持ちながら若い大学として現在に至るまで発展を続けています。地域で唯一の総合大学である平澤大学は、「キリスト教精神で大きな意味を成す大学」という発展ビジョンを掲げ、真理・正義・奉仕の教訓のもと、地域社会と連携しながら、人物性と専門能力を兼ね備えた人材を育成するための先端教育に取り組んでいます。韓国大学教育協議会において優秀大学として認定され、地域の発展は勿論、韓国の大学教育の発展にも大きく寄与しています。本学と平澤大学は2006年に大学間の交流協定を締結しました。



平澤大学正門



キャンパス風景



運動場

平澤大学URL >> <http://www.ptuniv.ac.kr/>

短期語学研修講座の概要

講 座 名	短期ドイツ語研修講座	短期フランス語研修講座
研 修 校	③フライブルク大学 言語教育インスティテュート(SLI)	④ブルゴーニュ大学 フランス語研究国際センター
研 修 地	ドイツ バーデン=ヴュルテンベルク州 フライブルク	フランス コート=ドール県 デジジョン
研 修 期 間	8月上旬～8月下旬(約4週間) 60時間以上の研修を行います。	8月下旬～9月中旬(約3週間) 60時間以上の研修を行います。
滞 在 方 法	寮	寮
対 象	全学部生／ 全学年 「ドイツ語1」の履修者又は修得者 ※2年次生以上は、当該年度にドイツ語応用科目 またはドイツ語3の履修が必要です。	全学部生／ 2年次生以上 「フランス語1」の修得者 ※当該年度にフランス語応用科目の履修が必要です。
定 員	10名	20名
選 考	筆記試験・面接及び書類審査	面接及び書類審査
費 用	全額自己負担 約340,000円(2017年度実績) （内 訳 旅 費:約 200,000円 研修費:約 140,000円） ※研修費に食費は含まれません。	全額自己負担 約410,000円(2015年度実績) （内 訳 旅 費:約 190,000円 研修費:約 220,000円） ※研修費に食費は含まれません。
助 成 金	70,000円 原則として、研修終了後に支給します。	80,000円 原則として、研修終了後に支給します。
特 徴	・ フライブルクは、ドイツ南西部の人口約20万人の都市で、面積の約40%は森に覆われており、自然に恵まれた中で研修が受けられます。 ・ 各国から来た学生の参加するインターナショナルクラスでドイツ語コミュニケーション能力養成をはかります。能力別にクラス分けがあります。 ・ オプションで週末旅行や課外プログラムに参加できます。	・ デジジョンは、フランス中部に位置し、パリから電車で1時間40分程度の場所にあり、プチパリとよばれるほど歴史的建造物が残る美しい町です。 ・ 各国から来た学生で構成するクラス(インターナショナルクラス)。プレイスメントテストによるレベル別クラス分けがあります。 ・ 経験豊富な講師陣による、フランス語やフランス文化の授業を受けることができます。フランス語教育においては定評があります。 ・ ブルゴーニュ地方独特の文化を知るための課外活動も豊富で、デジジョン近郊へのツアーもあります。
認 定 科 目	「海外語学研修A ドイツ」(4単位)	「海外語学研修B フランス」(4単位)
募 集 時 期	1月中旬 (新入生のみ4月下旬)	1月中旬
U R L	http://www.sli.uni-freiburg.de/	http://cief.u-bourgogne.fr/

負担金額は、為替レートや授業料・航空運賃により、変動することがあります。

講 座 名	短期中国語研修講座	短期韓国語研修講座
研 修 校	⑤上海財経大学 国際文化交流学院	⑥建国大学 言語教育院
研 修 地	中国 上海市	韓国 ソウル市
研 修 期 間	2月下旬～3月中旬(約4週間) 60時間以上の研修を行います。	8月上旬～8月下旬(約3週間) 60時間以上の研修を行います。
滞 在 方 法	寮	寮
対 象	全学部生／ 全学年 ※当該年度に卒業予定の者を除きます。 言語文化科目「中国語1」の履修を問わない。	全学部生／ 全学年 言語文化科目「ハングル1」の履修を問わない。
定 員	20名	20名
選 考	面接及び書類審査	面接及び書類審査
費 用	全額自己負担 約166,000円(2017年度実績) （内 訳 旅 費:約 79,000円 研修費:約 87,000円） ※研修費に食費及び上海近郊への旅行費用は含まれません。 ※宿泊先により、研修費が変動します。	全額自己負担 約224,000円(2017年度実績) （内 訳 旅 費:約 64,000円 研修費:約 160,000円(宿泊費を含む)） ※研修費に食費・テキスト代、文化授業にかかる交通費は含まれません。
助 成 金	30,000円 原則として、研修終了後に支給します。	40,000円 原則として、研修終了後に支給します。
特 徴	・ 上海財経大学国際文化交流学院を基地に大都会「上海」の探索が思う存分できます。 ・ プレイスメントテストによるレベル別クラスに分け、実地に役立つ会話中心のカリキュラム。授業は月～金の午前中のみです。午後は予習・復習と自由行動です。 ・ 大学内の留学生寮に滞在します。 研修中に上海財経大学日本語専攻科の学生との ・ 交流会を実施します。 週末には市内見学を含む文化研修と上海近郊 ・ (南京・杭州等)に1～2泊の小旅行を実施します。 寮には共同の調理設備はありませんが、大学周辺 ・ で安価で美味しいものが食べられます。	・ 建国大学言語教育院を基地に大都会「ソウル」の探索が思う存分できます。 ・ 研修日初日に、スクリーニングテストを行い、その結果を元にクラス分けを行います。 ・ 月～金の午前中は韓国語のクラスで研修し、午後は予習・復習・自由行動ができます。 ・ 毎週1～2回程度、午後に研修校主催の文化授業を行います。(韓国の伝統文化体験、伝統楽器体験、料理体験等)また、日帰りでソウル近郊へ研修旅行に行く見学授業を1回実施します。 ・ 滞在予定の大学構内の寮は、2名1部屋でエアコン、シャワー、トイレ、学習机、イス、ふとん、まくら、内線電話、インターネットは、各部屋に完備。冷蔵庫、ミネラルウォーター(冷・温)は、各フロアに完備。洗濯室、テレビ、電子レンジは、各棟に完備され、寮の入退はICカードにて管理されています。 ・ 寮では自炊はできませんが、大学周辺で安価で美味しいものが食べられます。
認 定 科 目	「海外語学研修A 中国」(4単位)	「海外語学研修A 韓国」(4単位)
募 集 時 期	10月上旬	4月下旬
U R L	http://www.shufe.edu.cn/	http://kfli.konkuk.ac.kr/

負担金額は、為替レートや授業料・航空運賃により、変動することがあります。

長期英語研修講座の概要

講 座 名	長期英語研修講座	
研 修 校	①カンタベリー クライスト チャーチ大学	②グリフィス大学 イングリッシュ ランゲージ インスティテュート
研 修 地	イギリス ケント州 カンタベリー	オーストラリア クイーンズランド州 ブリスベン
研 修 期 間 (予定)	General English(英語集中講座) 4月中旬～11月下旬 (実研修期間:30週間)	ELICOS(英語集中講座) 4月中旬～11月中旬又は 5月中旬～12月中旬 (実研修期間:30週間)
滞 在 方 法	ホームステイ(空室があれば寮も可)	ホームステイ(空室があれば寮も可)
対 象	全学部生／2年次生以上 成績については、原則として通算半期18単位以上を 修得している者とする。 本学指定の語学検定試験において、出願資格に必要な成績*を修得している者 ※TOEFL-iBT 63点以上(120点満点)または TOEIC 600点以上(990点満点)	全学部生／2年次生以上 成績については、原則として通算半期18単位以上を 修得している者とする。 本学指定の語学検定試験において、出願資格に必要な成績*を修得している者 ※TOEFL-iBT 63点以上(120点満点)または TOEIC 600点以上(990点満点)
定 員	若干名	若干名
選 考	面接(英語力評価含む)及び書類審査	面接(英語力評価含む)及び書類審査
費 用	(2017年度実績) ・授業料 約1,264,000円 ・渡航費 約250,000円 ・査証取得費 約50,000円 ・海外旅行傷害保険料 約90,000円 ・滞在費 ・教材費 ・実地見学旅行代金(オプション) ・その他の雑費(健康診断費・現地交通費・通信費)等	(2015年度実績) ・入学金 約20,000円 ・授業料 約941,000円 ・渡航費 約114,000円 ・査証取得費 約50,000円 ・海外旅行傷害保険料 約97,000円 ・滞在費 ・教材費 ・実地見学旅行代金(オプション) ・その他の雑費(健康診断費・現地交通費・通信費)等
助 成 金	研修先の授業料に対して、当該年度学費相当分 (授業料・教育充実費)を上限とする。 また、原則として研修終了後に助成金150,000円を支給する。	研修先の授業料に対して、当該年度学費相当分 (授業料・教育充実費)を上限とする。 また、原則として研修終了後に助成金150,000円を支給する。
特 徴	・ この研修はカンタベリー クライスト チャーチ大学 のインターナショナルオフィスが提供する English Language Coursesにて行います。 ・ 所定の成績を修めて講座を修了した者には研修校より 修了証書が交付されます。 ・ 研修終了後、研修を受けたことを証明する書類を提出 してください。 ・ 受講者には、研修終了後に受験したTOEFLまたはTOEIC のスコアを当該年度内に提出することを義務づけます。	・ この研修はグリフィス大学のグリフィスイングリッ シュランゲージインスティテュート(GELI)が提供 するEnglish Language Intensive Courses for Overseas Students(ELICOS)において行います。 ・ 所定の成績を修めて講座を修了した者には研修校より 修了証書が交付されます。 ・ 研修終了後、研修を受けたことを証明する書類を提出 してください。 ・ 受講者には、研修終了後に受験したTOEFLまたはTOEIC のスコアを当該年度内に提出することを義務づけます。
認 定 科 目	例)グリフィス大学・長期(言語文化応用・自由)など	
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が 適当と認めたものについては、本学の卒業単位として、語学 研修時間相当分の認定を受けることができます。	
募 集 時 期	前年度の10月中旬	前年度の10月中旬
U R L	http://www.canterbury.ac.uk/	http://www.griffith.edu.au/

講 座 名	長期英語研修講座
研 修 校	③ビクトリア大学 イングリッシュ ランゲージ センター
研 修 地	カナダ ブリティッシュコロンビア州ビクトリア
研 修 期 間	前学期:4月初旬～ 7月初旬(12週間) 後学期:9月初旬～12月初旬(12週間)
滞 在 方 法	ホームステイ等
対 象	全学部生／2年次生以上 成績については、原則として通算半期18単位以上を 修得している者とする。 本学指定の語学検定試験において、出願資格に必要な成績* を修得している者 ※TOEFL-iBT 52点以上またはTOEIC 500点以上
定 員	若干名
選 考	面接(英語力評価含む)及び書類審査
費 用	(2017年度実績) 授業料 約346,000円 ホームステイ(食事付) 約235,000円 海外旅行傷害保険料 約32,000円 合計 約613,000円 その他、渡航費・教材費・実地見学旅行代金・雑費等
助 成 金	研修先の授業に対して、当該年度の半期学費相当分 (授業料・教育充実費)を上限とする。 また、原則として研修終了後に助成金90,000円を支給する。
特 徴	・ Upper Beginner から大学入学準備クラスまで6レベル。 (プレイスメントテスト結果による) ・ Upper Beginner から Low-intermediateクラスには基本的な コミュニケーション能力(特にspeaking)を強化します。 ・ Intermediate から Advanced クラスでは、学習目的(一般英語 またはアカデミック英語)を選択します。 ・ 週16時間の授業(17単位分に相当)。なお、選択制の追加授業も 受講できる。 ・ 受講者には、研修終了後に受験したTOEFLまたはTOEICのスコアを 当該年度内に提出することを義務づけます。
認 定 科 目	例)ビクトリア大学・長期(言語文化応用・自由)など
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が 適当と認めたものについては、本学の卒業単位として、語学研修 時間相当分の認定を受けることができます。
募 集 時 期	前年度の10月中旬
U R L	http://www.continuingstudies.uvic.ca/elc

学生海外語学研修助成制度の概要

	学生海外語学研修助成制度	
区 分	①夏季休暇中	②春季休暇中
研 修 地	英語圏・ドイツ語圏・フランス語圏・スペイン語圏・中国語圏・韓国語圏	
研 修 期 間 (予定)	夏季又は春季休暇中の3週間以上8週間以内、60時間以上の研修を行います。	
滞 在 方 法	本人の計画によります。	
対 象	全学部生／1年次生から4年次生 在学中に一度だけ利用可 成績については、原則として通算半期18単位以上を 修得している者とする。 本学指定の語学検定試験成績(下表1参照)を修めた 者です。	全学部生／1年次生から3年次生 在学中に一度だけ利用可 成績については、原則として通算半期18単位以上を 修得している者とする。 本学指定の語学検定試験成績(下表1参照)を修め た者です。
定 員	22名	11名
選 考	書類審査・面接試験によります。 ※出願者は、「語学検定試験結果の証明書」「申込書」「志望理由書(本学所定のもの:1,500字)」を提出しなければなりません。	
助 成 金	300,000円(地域によっては230,000円)を上限とする。(2018年度予定) 出発前に研修費用及び交通費の請求明細書及び領収書を国際センター課に提出してください。 助成金は、原則として研修の終了後に支給します。研修を終了できなかった場合又は大学が求める書類を提出 できない場合は、助成金を支給しません。	
特 徴	・ 学生は、個人の責任で留学準備から帰国までの計画を自由に組む事ができます。 (ただし、研修前後の旅行は1週間を限度に旅行計画書を提出し、承認された場合のみ可能です。) ・ 研修先、研修期間、滞在方法についても、自由に選択することができます。 (ただし、上記研修地に限ります。) ・ 外国人は母語の言語圏を選択できません。 ・ 上記研修機関については、学生本人が選択し、国際センター運営委員会の承認を得なければなりません。 ・ 研修終了後、研修報告書の提出を義務づけます。	
認 定 科 目	「語学助成研修」(4～6単位)	
募 集 時 期	募集ガイダンス及び募集開始:4月下旬	募集ガイダンス及び募集開始:10月上旬

■表1[出願資格]

	本学指定語学検定試験(いずれか1つでよい)	必要な成績
英 語	TOEIC Bridge(IPを含む)	150点以上(英語英米文学科の学生は154点以上) 180点満点
	TOEIC(IPを含む)	470点以上(英語英米文学科の学生は505点以上) 990点満点
ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験	4級以上 5級(初級)→1級(上級)
フ ラ ン ス 語	実用フランス語技能検定試験	4級以上 5級(初級)→1級(上級)
ス ペ イ ン 語	スペイン語技能検定試験	5級以上 6級(初級)→1級(上級)
中 国 語	中国語検定試験	4級以上 準4級(初級)→1級(上級)
	漢語水平試験(HSK)	3級以上 1級(初級)→6級(上級)
韓 国 語	「ハングル」能力検定試験	4級以上 5級(初級)→1級(上級)
	韓国語能力試験	1級以上 1級(初級)→6級(上級)

※ TOEIC BridgeのスコアとTOEIC スコアとの公式な換算表の上限がTOEIC Bridgeスコアの160点であることから、TOEIC Bridgeを以って本制度に申請する場合、160点以上の取り扱いは一律となります。(詳細はTOEIC公式サイトを参照 <http://www.toEIC.or.jp/>)

※同一年度内に助成制度と派遣留学(半年)を重複して受講することはできません。

派遣留学制度の概要

	派遣留学制度	
研 修 校	①フライブルク大学	②復旦大学
研 修 地	ドイツ バーデン=ヴュルテンベルク州 フライブルク市	中国 上海市
研 修 期 間	原則として8月上旬～翌年7月下旬(約1年間)	9月上旬～翌年1月下旬(約半年間) 9月上旬～翌年7月下旬(約1年間)
滞 在 方 法	寮(市内にあります)	寮(構内にあります)
対 象	学部生に関しては派遣時に1年以上在学している者とし ます。ただし、大学院生に関してはその限りではあり ません。	派遣時に学部又は大学院研究科に1年以上在学して いる者とし ます。
	成績については、原則として通算半期平均18単位 以上を修得している者とし ます。ただし、大学院生 に関してはその限りではあり ません。	成績については、原則として通算半期平均18単位以上 (大学院生は8単位以上)を修得している者とし ます。
	※原則としてドイツ語技能検定試験3級以上の合格者。	※ 原則として中国語検定試験3級以上又は漢語水平 試験(HSK)4級以上の合格者。
定 員	1名	1名
選 考	筆記試験(ドイツ語)・書類審査・面接試験(日本語 及びドイツ語)によります。	書類審査・面接試験(日本語及び中国語)によります。
費 用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・保証金・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。 同大学言語センターが提供するドイツ語講座について は、留学生向けに特別に設けられた授業のみ授業料が 免除されます。それ以外にかかる費用は自己負担です。 宿舍費(10月～7月)は自己負担:約3,300ユーロ (2017年度実績)。 留学生には、フライブルク大学から10ヶ月間(10月 ～7月)奨学金(月額:600ユーロ(2017年度実績)) が支給されます。	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・保証金・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費) 等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
特 徴	・ 1457年に設立された、ドイツで最も古い大学の ・ ひとつです。 ・ 100以上の研究所、学科を含む11学部を擁して います。 ・ 学生数は約21,000人。100ヶ国以上の留学生が 在籍しています。 フライブルクは、ドイツ南西部の人口約20万人の ・ 都市で、面積の約40%は森に覆われており、自然 に恵まれた中で学習できます。	・ 1905年に設立された重点大学。「北の北京、南の復 旦」と称される中国の名門大学です。 ・ 上海の東北郊外にある広大なキャンパスは、喧騒を 離れ落ち着いて学習するのに最適です。 ・ 併設の国際文化交流学院(ICES)で中国語を学び ます。(本科生が受講する学部専門科目は履修でき ません。)
認 定 科 目	所属学部開講の科目	
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が適当と認めたものについては、本学の卒業単位として認定を受けることができます。	
募 集 時 期	2019年1月上旬～2019年3月中旬	2019年1月上旬～2019年3月中旬
U R L	http://www.uni-freiburg.de/ http://www.sli.uni-freiburg.de/	http://www.fudan.edu.cn/

*派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

派遣留学制度の概要

	派遣留学制度	
研 修 校	③上海師範大学	④上海財経大学
研 修 地	中国 上海市	中国 上海市
研 修 期 間	9月上旬～翌年1月中旬(約半年間) 9月上旬～翌年6月下旬(約1年間)	8月下旬～翌年1月下旬(約半年間) 8月下旬～翌年7月下旬(約1年間)
滞 在 方 法	寮(構内にあります)	寮(中山北一路キャンパスの構内にあります)
対 象	派遣時に学部1年以上在学している者として。	派遣時に学部1年以上在学している者として。
	成績については、原則として通算半期平均18単位以上を修得している者として。	成績については、原則として通算半期平均18単位以上を修得している者として。
	※ 原則として中国語検定試験3級以上又は漢語水平試験(HSK)4級以上の合格者。	
定 員	1名	1名
選 考	書類審査・面接試験(日本語及び中国語)によります。	
費 用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費(長期休暇中は有料。)	(免除される費用) ・入学金 ・授業料
	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(保証金・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 ・長期休暇中の宿舍費 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
特 徴	・ 1954年に設立された総合大学です。言語教育に関しては中国有数の大学のひとつです。 ・ 留学生に対する中国語教育の長い経験を有し、毎年多くの留学生が集い学びます。 ・ 交通の便がよく、自然豊かなキャンパスです。 ・ 教育設備も完備され、住環境もよく、留学生が学ぶには理想的な環境です。 ・ 併設の対外漢語学院で中国語を学びます。(本科生が受講する科目は履修できません。)	・ 上海財経大学は1917年に創立され、経済や会計、金融の他、国際ビジネス、マネジメント、法学等7学部を擁する総合大学です。 ・ 留学生を育成するために上海財経大学に特設されている国際文化交流学院は、ここを窓口、ビジネス中国語が堪能な人材と、中国経済とマーケットにも詳しい国際的な経済管理人材を育成しています。 ・ 教育設備も完備され、住環境も良く、留学生が学ぶには理想的な環境です。 ・ 併設の国際文化交流学院で中国語を学びます。(本科生が受講する科目は履修できません。)
認 定 科 目	所属学部開講の科目	
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が適当と認めたものについては、本学の卒業単位として認定を受けることができます。	
募 集 時 期	2019年1月上旬～2019年3月中旬	2018年1月上旬～2018年3月中旬
U R L	http://www.shnu.edu.cn/	http://www.shufe.edu.cn/

*派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

	派遣留学制度	
研 修 校	⑤青島大学(募集未定)	⑥國立高雄大学
研 修 地	中国 青島市	台湾 高雄市
研 修 期 間	8月下旬～翌年1月下旬(約半年間) 8月下旬～翌年7月下旬(約1年間)	9月中旬～翌年1月下旬(約半年間) 9月中旬～翌年6月下旬(約1年間)
滞 在 方 法	寮(構内にあります)	寮
対 象	派遣時に1年以上在学している者として。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	派遣時に1年以上在学している者として。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	成績については、原則として通算半期平均18単位以上を修得している者として。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	成績については、原則として通算半期平均18単位以上を修得している者として。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	※ 原則として中国語検定試験3級以上又は漢語水平試験(HSK)4級以上の合格者。	
定 員	1名	1～2名
選 考	書類審査・面接試験(日本語及び中国語)によります。	
費 用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料	(免除される費用) ・入学金 ・授業料
	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(保証金・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費・保証金を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
特 徴	・ 1924年に設立され、1993年に4大学が合併してできた山東地方で最も大きな総合大学です。 ・ 山々を背景とした海沿いの町に白い建物が浮かび上がる美しいキャンパスを有します。 ・ 青島は夏は涼しく、冬は温暖な気候で落ち着いた環境は学習に最適です。	台湾南部での高等教育・研究機関の充実を図るため、国家政策により、2000年に設立されました。 本科生と同じ授業を履修します。(使用言語は中国語) 外国人留学生向けの中国語補習クラスが開講されます。 留学生1人1人に台湾人学生チューターが付き、生活及び学習サポートをしてくれます。
認 定 科 目	所属学部開講の科目	
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が適当と認めたものについては、本学の卒業単位として認定を受けることができます。	
募 集 時 期	未定	2019年1月上旬～2019年3月中旬
U R L	http://www.qdu.edu.cn/	http://www.nuk.edu.tw/

*派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

派遣留学制度の概要

	派遣留学制度	
研 修 校	⑦玄奘大学	⑧建国大学
研 修 地	台湾 新竹市	韓国 ソウル市
研 修 期 間	9月～翌年2月(約半年間) 9月～翌年8月(約1年間)	2月下旬～6月中旬(約4ヶ月間) 2月下旬～翌年2月中旬(約1年間)
滞 在 方 法	寮	寮(構内にあります。)
対 象	派遣時に1年以上在学している者として ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	派遣時に6ヶ月以上在学している者として ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	成績については、原則として通算半期平均18単位以上を修得している者として ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	成績については、原則として通算半期平均18単位以上を修得している者として 尚1年次生は原則15単位以上とする。ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	※原則として中国語検定試験3級以上又は漢語水平試験(HSK)4級以上の合格者。	※原則として「ハングル」能力検定試験4級又は韓国語能力試験1級以上の合格者。
定 員	1名	若干名
選 考	書類審査・面接試験(日本語及び中国語)によります。	書類審査・面接試験(日本語及び韓国語)によります。
費 用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費 (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(保証金・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 ・長期休暇中の宿舍費 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費・保証金を含む。) ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
	・台湾新竹市にある1997年に設立された私立大学です。 ・「台湾のシリコンバレー」と呼ばれる工業都市で、新竹駅ー台北駅間は、高速列車で30分程度の距離です。	1931年に設立された民族病院、そして1946年に設立された朝鮮政治学館から発展し、1959年に総合大学へと発展。韓国有数の総合私立大学です。 キャンパスはソウルと忠州市の2ヶ所にあります。 経済社会を先導するグローバルな人材の養成に力を注いでいます。
認 定 科 目	所属学部開講の科目	
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が適当と認めたものについては、本学の卒業単位として認定を受けることができます。	
募 集 時 期	2019年1月上旬～2019年3月中旬	2018年7月下旬～2018年10月中旬
U R L	http://www.hcu.edu.tw/	http://www.konkuk.ac.kr/

＊派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

	派遣留学制度
研 修 校	⑨平澤大学
研 修 地	韓国 平澤市
研 修 期 間	2月下旬～6月中旬(約4ヶ月間) 2月下旬～翌年12月下旬(約10ヶ月間)
滞 在 方 法	寮(構内にあります。)
対 象	派遣時に6ヶ月以上在学している者として ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	成績については、原則として通算半期平均18単位以上を修得している者として 尚1年次生は原則15単位以上とする。ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	※原則として「ハングル」能力検定試験4級又は韓国語能力試験1級以上の合格者。
定 員	2名
選 考	書類審査・面接試験(日本語及び韓国語)によります。
費 用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費(光熱費を含む。) (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(保証金・食費を含む。) ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
	・1912年にピアソン博士のキリスト教精神を基に設立。1980年に4年制大学の認可を受け、1981年から本格始動。1996年に現・平澤大学へ改称、発展。 ・地域社会と連携しながら、人物性と専門能力を兼ね備えた人材を育成するための先端教育に取り組んでいます。 ・韓国大学教育協議会において優秀大学として認定されました。
認 定 科 目	所属学部開講の科目
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が適当と認めたものについては、本学の卒業単位として認定を受けることができます。
募 集 時 期	2018年7月下旬～2018年10月中旬
U R L	http://www.ptu.ac.kr/

＊派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

留学準備と計画

あなたは留学の目的を聞かれたらなんと答えますか？外国語によるコミュニケーション能力を高めたい、専門分野の知識を深めたい、国際的な視野を広げたい等、留学の動機と目的を明確にすることが大切です。留学に際しては、将来を見据えた上で、留学先(国・地域)や留学期間、学習内容や習得したいこと等により、自分に合ったプログラムを選択し、計画を立ててください。

① 留学準備

留学の目的は？

留学の動機や目的を考えてみましょう。

- 語学の習得
- 視野を広げたい！
- 専門分野の知識を深めたい
- 世界各国の文化を知りたい
- 留学後は？等

留学プログラムの検討

留学オリエンテーションへ参加しましょう。

- 希望する国・地域は？
- 留学時期や期間は？
- 留学先の受講科目は？
- 予算は？

準備を始めよう

出願資格取得に向けてGO！

- 日々の学習(学業成績)
- 語学力の向上
(TOEFL、TOEIC、各種語学能力試験等)
- 留学資金計画(保護者と相談)
- 情報の収集

② 留学出発の約6ヶ月～1年前

留学プログラムの選択

各種留学募集ガイダンスに参加して情報収集をしましょう。

- 必要な申込書類を配布するので、必ず出席してください。
- 国際センター課では、いつでも相談を受け付けています。

出願・選考

参加プログラムが決まったら、募集要項に基づいて、必要な提出書類を準備し、締め切りに注意して提出してください。

- 面接選考は、プログラムにより個人又は集団による面接となります。

※出願までに語学能力試験等の出願資格を満たしてください。

③ 留学決定後～出発直前

留学手続き

選考に合格、プログラムへの参加が決定したら、事前ガイダンスに出席。パスポート取得やビザ申請等留学に向けた手続きの開始です。

- プログラムによっては、事前研修等の受講が義務づけられています。

留学に向けて

このガイドブックや事前ガイダンスで配付する資料を熟読してください。

- 留学中は楽しい事ばかりではありません。想定外の様々な出来事が起こることもあるため、自分で乗り切るための情報収集や語学力等、十分な準備と心構えが重要です。

④ 留学中

留学

健康、安全に気を付けて充実した留学生活を送れるよう日々の学習に取り組みましょう。定期報告を忘れずに！

- 大学では、留学期間中の不測の事態に備え、緊急時の学生支援や危機管理体制の強化に取り組んでいます。

⑤ 帰国

帰国準備・帰国報告

- 修了書を必ず研修機関で発行してもらってください。
- 単位認定を希望する場合は、研修機関の成績証明書を発行してもらってください。
- 帰国後1週間以内に、国際センター課に来課してください。
- 学習成果をまとめた「研修報告書」(本学所定)を作成し、提出してください。

留学経験を今後の学生生活において活かしてください。

単位認定の申請

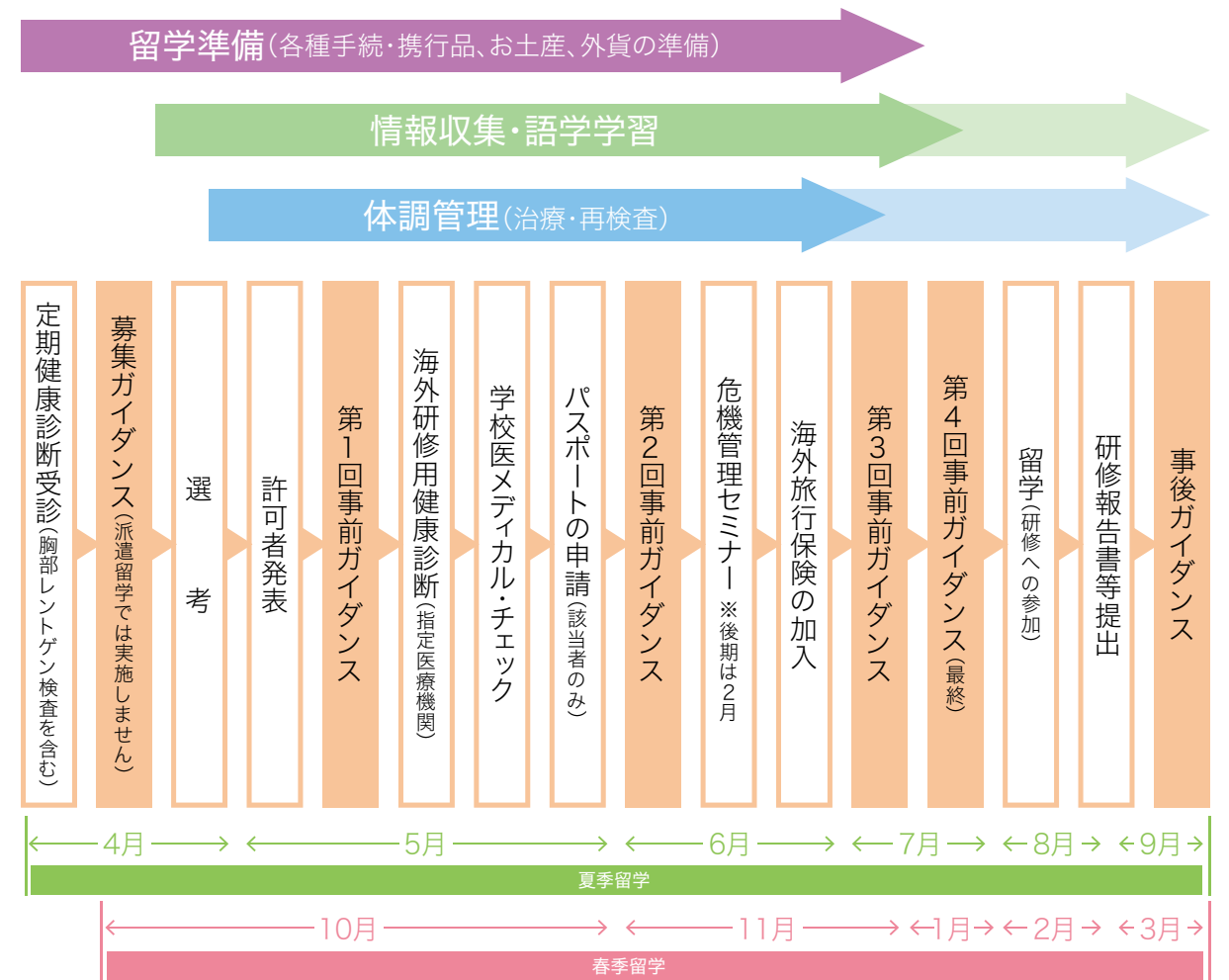
- 単位認定申請書及び成績証明書を提出してください。単位が認定されれば、卒業単位として認められます。
- 詳しくは、P.30を参照してください。

事前ガイダンスの実施

各プログラムの参加許可者に対して、3～4回程度の事前ガイダンスを行います。留学までの準備や提出書類等について、順次説明します。留学準備から帰国までのスケジュールは各プログラムにより異なりますが、共通した主なスケジュールは下記の通りです。

個人で留学する際にも参考にしてください。

1.許可後のスケジュールについて



2.パスポートの取得申請について

パスポートは、海外において国籍・身元を証明する唯一の公文書です。研修中は絶対に他人に預けず、自己責任により厳重に管理してください。

愛媛県内の旅券申請窓口は、**住所(住民登録)のある市役所・町役場**となります。ただし、松山市では住民票が松山市にない場合でも申請可能な場合があります。詳細は松山市パスポートセンターに確認してください。市町によって旅券窓口の受付時間が異なりますので、詳細は市町のホームページで確認してください。

申請手続きは、「一般旅券発給申請書」(所定用紙)と、旅券申請に必要な書類と一緒に旅券窓口提出してください。申請書は、旅券窓口においてあります。

パスポートの残存有効期限を必ず確認し、留学期間に有効期限が切れる場合は、速やかに更新手続きをしてください。

外務省旅券申請案内

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/>

松山市パスポートセンター

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/kakukaichiran/siminbu/passport.html>

パスポートの申請準備から取得まで

申請に必要なもの A～Dすべて原本 ※コピー不可

A. 戸籍抄本又は謄本…1通

- (1) 申請日前6ヶ月以内に発行されたもの
- (2) 戸籍謄(抄)本は、本籍地のある市町村で手に入ります。
※本籍が遠く離れている場合は郵送で請求することもできますので、市町村に問い合わせてください。

B. パスポート用の写真…1枚

- (1) 申請日前6ヶ月以内に撮影したもの
- (2) 正面、無帽、無背景、背景は白色
- (3) 縦45mm×横35mm(縁なし)
- (4) カラーでも白黒でも可

C. 本人確認書類 ※(1)か(2)のいずれか

- (1) 1点で良い書類…運転免許証
- (2) 2点必要な書類…(ア)健康保険被保険者証 (イ)写真が貼ってある学生証
※本人確認書類は、必ず有効な原本を提示してください。(コピー不可)

D. 一般旅券発給申請書…1通

申請書には、10年用と5年用があります。申請日に20歳以上の方は、10年か5年のパスポートを選択できます。20歳未満の方は、5年用のみです。
※申請者が未成年者の場合は、申請書裏面の法定代理人署名欄に、親権者又は後見人の署名が必要です。

パスポートの受領について

パスポートは、通常申請後から受領まで標準で7日程度を要しますので、指定された受領日以降に次の点に注意し受取ってください。

- ・パスポートの受取りは申請者本人のみ可(代理人による受取りは不可)
- ・パスポートの受取りは申請窓口へ
- ・受取りの際に必要なもの
 - (1) 申請時に渡される旅券申請受理票(一般旅券受領証)
 - (2) 手数料 5年旅券:11,000円/10年旅券:16,000円

パスポートを受取ったら

- ・受け取り次第、パスポートの最後の頁にある「所持人記入欄」を記入してください。

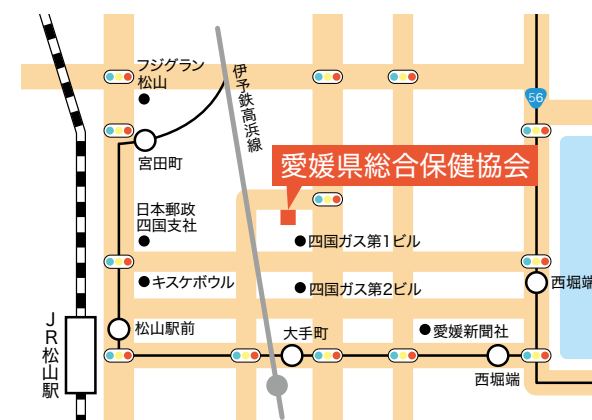
3.健康診断について

各種語学研修プログラムの参加者全員に対し、年度初めの「定期健康診断(胸部レントゲン検査を含む)」と「追加項目(心電図、血圧、血液検査等)の健康診断」の受診を義務付けています。それらの結果を基に、学校医が留学の可否について総合的に判断(メディカル・チェック)します。メディカル・チェックの結果によっては、受講許可を取り消す場合もあります。

大学プログラムによる海外研修・派遣留学を予定している方は、年度初めの定期健康診断において、希望者のみ実施する胸部レントゲン検査(定期健康診断では大学が費用負担・無料)を必ず受診してください。

海外研修参加のための健康診断(追加項目)

- ・海外研修のための追加項目用健康診断書(大学所定様式)を持参し、募集ガイダンスや事前ガイダンスで指示された期間内に受診してください。
受診費用:約4,000円～6,000円(自己負担)
- ・定期健康診断で、胸部レントゲン検査を受検していない場合には、追加で受検していただきます。
- ・既往症がある場合には、必ず診断時に医師に申出てください。
(申出がない場合、海外旅行傷害保険が適用されない場合があります。)
- ・健康診断結果は保健室宛に直送されるため持ち帰る必要はありません、写しをガイダンスで返却します。



愛媛県総合保健協会 <TEL:(089)987-8202>

- ・健診期間:各プログラム別の募集ガイダンス時に案内する指定期間必ず受診してください。
- ・受付時間: 8:30～11:30
13:00～14:30
- ・診察時間: 9:30～12:00
13:00～15:00
- ・注意事項:どのプログラムに参加するにも受診は必要です。
所要時間は約30分。
食事は取って受診しても結構です。
金具のついていない下着を着用してください。

4.ビザ(査証)について

プログラムによっては、留学先の政府機関に留学ビザ(査証)を申請し、入国(滞在)許可を取得することが必要となります。ビザの要・不要や申請手続きは留学先の国によって異なりますので、必要に応じて、各国の在日大使館又は領事館等に問い合わせた上で手続きを行ってください。

5.海外旅行傷害保険について

① 個人契約によるもの(掛金自己負担)

語学研修プログラムに参加する場合は、本学指定の海外旅行傷害保険に加入することを義務付けています。この保険は、留学中の不測の事態において、治療・救援費用、賠償責任、携行品損害、傷害死亡、疾病死亡、傷害後遺障害及び偶然事故対応費用が補償される保険です。ただし、留学前からの既往症については、原則として保険の対象とはなりません。既往症がある場合は、自身で一切の責任を負うことを承諾の上、参加してください。

また、私的な活動時間は除いて学生教育研究災害傷害保険が適用されます。

② 大学契約によるもの(掛金大学負担)

本学では、留学中の不測の事態に備え、緊急時の学生支援と危機管理を目的として、学校法人松山大学が契約者となり保険に加入しています。

6.外貨の準備について

現地で利用する外貨への換金方法については、留学先を考慮し下記の①現金と併せて、②～④を参考にしてください。

① 現金

- ・ 銀行(ゆうちょ銀行含む)、空港や市中の両替所等で両替可能です。
- ・ 場所によって両替レートや手数料が異なります。
- ・ 金融機関や支店によっては取り寄せる必要がありますので、すぐに外貨が手に入らない場合があります。
- ・ 一定の金額でのバック販売を行う場合があります。

② クレジットカード

- ・ クレジットカードの申し込み方法・使用方法等は下記サイトを参照してください。
【一般社団法人日本クレジット協会(クレジットの基礎知識)】
URL: <http://www.j-credit.or.jp/customer/basis/index.html>
- ・ 申し込みから発行まで約1ヶ月かかることがあります。
- ・ 海外で通用度の高いクレジットカード会社を選んでください。
- ・ ICチップ内蔵カードの場合、支払いにはサインの代わりに申し込み時に設定した暗証番号が必要です。番号を忘れた場合、基本的に電話によるクレジットカード会社への問い合わせは不可です。
- ・ クレジットカードの「番号」、「有効期限」、「名義人名」、「暗証番号」等を安易に第三者へ教えないでください。
- ・ 希望者は保護者に相談の上、申し込みを行ってください。

③ 海外専用トラベルプリペイドカード

- ・ 代表的なものに、「キャッシュパスポート(<http://jpcashpassport.jp>)」や「Money T Global(www.jtbmoneyt.com/g)」などがあります。
- ・ WEBサイトから申し込み可能ですが、申し込みから受け取りまで約1週間かかります。余裕をもって申し込んで下さい。
- ・ 渡航前にあらかじめ日本円でチャージしておけば、現地のATMから現地の通貨で引き出したり、加盟店での支払いに利用することが可能です。
- ・ 対象となる通貨は限られています。
- ・ 現地で使用できるATMはカードによって決められています(MasterCardマーク、VISA、plusマークなど)。

④ その他(注意事項)

- ・ 予定外の出費等を含めて余裕を持って予算を組んでください。
- ・ 多額の現金を持ち歩かないでください。

長期(半期以上)プログラム参加者の履修登録と単位認定について

出願前

入学時に配布された学生便覧を参照し、単位の修得状況と履修状況、留学によって修得が可能な科目を念頭に置き、4年間で卒業所要単位を満たすことができるか検討してください。専門科目、ゼミや卒論等、所属学部のカリキュラムによっては、留学予定年次に影響が出る可能性もあるため、必ず事前に教務課に相談してください。

留学前

履修登録

前期出発

1年間の留学の場合、前学期・後学期共に本学での履修登録はできません。ただし、前学期のみ留学する場合は、後学期の履修登録が可能です。

後期出発

4月に在学年次の履修ガイダンスを受けてから、前学期科目と集中講義の履修登録が可能です。通年科目と後学期科目の履修登録はできません。

留学中

単位認定に必要な書類(シラバス、時間割、教科書、その他配付資料等)を保管し、帰国時に確実に持ち帰ってください。

帰国後

単位認定申請

単位認定を希望する場合は、所定の期日までに以下の書類を国際センター課へ提出し、所属する学部教授会により単位が認定されることがあります。
※プログラムによっては、派遣先の大学に成績証明書(本学所定)を申請する必要がありますので注意してください。その際は、事前に申請し、記載事項を確認した上で受け取り、帰国時に持ち帰ってください。

必要書類例

- ① 単位認定申請書(所定様式)
- ② 留学先大学の公式英文成績証明書
- ③ 留学先の科目のシラバス
- ④ 時間割
- ⑤ 留学先の学事暦
- ⑥ 各科目の授業内容説明書(任意様式)

単位認定は、留学先での修得科目の講義内容及び授業時間数を勘案して判断します。なお、認定対象として申請できる科目は所属学部で開講されている科目に限ります。

留学中の手続き

到着／帰国の報告・ 定期連絡

現地に到着したら、速やかに日本の家族と国際センター課に到着の報告と滞在先を連絡すると共に定期連絡をするように心掛けてください。また、メールのチェックも怠らないようにしてください。

なお、住所を変更した場合や寮・ホームステイ等の宿舎を一時的に出なければならぬ場合、留学中の旅行等の場合も必ず滞在先の連絡をしてください。

全員、定期的にメールにて近況報告を行ってもらっています。(詳細はガイドンスで説明)これにより、現地での状況を把握しますので、必ず連絡を滞らせないようにしてください。

大学でも海外旅行傷害保険に加入していますので、原則としては、その加入期間内に帰国をしてください。また、帰国日については、事前に国際センター課まで連絡してください。

松山大学国際センター課

TEL: +81-89-926-7148

FAX: +81-89-926-7151

E-mail: mu-international@matsuyama-u.jp



在留届の提出など注意事項

① 在留届

留学先に着いたら、直ちにインターネットを通じて領事館に「在留届」を提出してください。領事館は邦人の保護を第一の任務としています。何かあればすぐに領事館に連絡するようにしてください。法律により外国に3ヶ月以上滞在する場合は「在留届」の提出が義務付けられていますので、「長期英語研修講座」及び「派遣留学制度」は必ず手続きを行ってください。

インターネットから在留届を提出する場合は「在留届電子届出システム(ORRnet)」

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

また、3ヶ月未満の渡航「短期語学研修講座」「学生海外語学研修助成制度」については、外務省海外旅行登録「たびレジ」にて登録を行ってください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

② 留学期間の変更／延長について

各年度の新規応募者が優先されるため、留学期間を延長することは原則として認められません。

海外での安全対策〈危機管理と健康管理〉

近年、海外では暴動や内乱、テロをはじめ、大規模な地震・台風、伝染病や交通事故といった様々な事件・事故が多発し、日本人留学生在そのトラブルに巻き込まれる事件・事故が急増しています。

留学先での自分の安全確保は、自分自身による“危機管理能力(情報収集力・判断力)”で左右されます。

そのことを踏まえた上で、出発前に十分な調査と心構えをしておいてください。留学先でトラブルに直面した場合は自分の判断・責任で対応しなければならないため、個人としてできる予防策を講じておく必要があります。留学前に情報を収集したり、出発前のガイダンスや危機管理セミナーに参加したりして、“危機管理能力”を高めておいてください。また、身の回りに起こりうるトラブル(事件・事故)に対してだけでなく、“健康管理能力”も高めるよう心がけましょう。

有意義な留学生活を送るためには、日本にいる時とは異なる『知識』と『意識』が必要です。

情報収集の重要性

出発前に安全管理マニュアル等の書籍を読んで理解していれば、海外での80%の危険が防げるといわれています。例えば留学先の緊急時連絡先(救急車や警察等)を知っているか、知らないかでは安全度が大きく違ってきます。

事前に留学先の状況について情報を収集し、分析しておくことが重要です。海外での安全管理に関する書籍を購読し、説明会があれば必ず参加しましょう。

また、外務省「たびレジ」に渡航日程・滞在先・連絡先を登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などを受け取ることができます。3カ月未満の短期渡航の場合は、「たびレジ」登録を必ず行いましょう。

外務省海外安全ホームページ(外務省)

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

たびレジ(外務省)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index>

世界の医療事情(外務省)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

【安全面】 留学先の治安、犯罪の傾向、政治情勢、衛生状況、自然災害の頻度等

【文化面】 習慣・国民性・歴史やその国の過去の報道内容等

【生活面】 大学と住居の距離、通学手段や要する時間、生活用品の購入環境、病院・薬局、IT 環境等

世界各国(研修地・派遣留学先)の緊急電話番号一覧

連絡先 国名	警察	救急車	消防署	交通事故	備 考
イギリス	999または112			—	2006年より緊急を要しない場合の警察への通報先として、イングランドとウェールズの一部地域で101が供用開始されました。ガス漏れ:0800-111-999, NHSダイレクト(医療相談):08-45-46-47
カナダ	911(国内共通)			—	緊急を要しない場合(一部地域):311 地方の一部では911 サービスが不十分な地域も存在します。
アメリカ	911(国内共通)			—	緊急を要しない場合(一部地域):311、 携帯電話から:112 地方の一部では911 サービスが不十分な地域が存在します。
オーストラリア	000(国内共通)			—	携帯電話から:112, 000 または08、 デキストフォン・TTY(テレタイプライナー) から:106(National Relay Service)

連絡先 国名	警察	救急車	消防署	交通事故	備 考
ドイツ	110 または 112	112		—	—
中 国	110	120 ※1	119	122	—
台 湾	110	119		—	緊急事件・事故の場合 02-2556-6007(台北市)
韓 国	112 ※2	119 ※3		—	事件・事故に遭った場合には、大使館領 事部や総領事館にも連絡してください。 (助言や可能な範囲での支援等を受ける ことができます)

※1 北京は999も使用可

※2 電話通訳サービスあり 携帯から112

7時～22時まで

※3 救急医療センター1399 日本語可

海外旅行傷害保険 (留学保険・医療保険) への加入

十分注意しているつもりでも事故にあったり病気にかかったりする可能性があります。現地の病院で受診・治療すると非常に高額になり、思わぬ出費となります。

留学に際しては、必ず海外旅行傷害保険に加入してください。

クレジットカードに付帯してある海外旅行傷害保険は、保険範囲や担保内容が限られていたり、保険金額や補償額が小さかったりする場合がありますので、このような保険のみに頼らないようにしてください。

信頼できる 相談相手を見つける

安全管理は、情報を共有、交換できる友人や世話人を見つけることが第一の方法です。一人で悩まず、留学(語学研修)先大学の国際センターのスタッフやアドバイザーに何でも相談してください。また、人との付き合いの中で情報収集に努めると共に、異常や問題が起こった時にはすぐに相談してください。また、緊急の場合は松山大学国際センター課へ連絡をしてください。

日本人や日本語を話せる人が住んでいたり、地域によっては日本語の新聞が発行されていたりするところもあります。留学先では所在を常に明確にし、在外公館(大使館、領事館)の連絡先や助けを求めやすい日本人会や日本企業の現地支店等も確認しておく、緊急の際には、援助を依頼することができます。

「もしもの時」の 対応について

万が一、強盗等に遭った時は絶対に抵抗してはいけません。相手は興奮している場合もあり不用意な行動は大変危険です。

海外犯罪者から見た日本人の印象は、金持ち(現金を携帯している)、警戒心が欠けている、現地の言語が下手、性格がおとなしい、被害に遭っても反撃をしない等のことから、狙われやすい対象であるといわれています。危険地帯には立入らない、夜道を一人では歩かない、現金を多く持歩かない、現金を人前で見せない等、危険を回避するよう常に心掛けましょう。

事件が起こってからでは遅すぎます。

事前の健康診断 について

本学では、全てのプログラムの参加者に留学前の健康診断を義務付けています。本学で4月に行われる「定期健康診断」は勿論のこと、追加項目(心電図、血圧、血液検査等)を受診することも義務付けています。それらの結果をもとに、学医に留学の可否について総合的に判断してもらうメディカル・チェックを行います。普段から健康には留意して、栄養バランスの取れた食事、適度なスポーツ等、規則正しい生活を心掛けてください。

留学前からの既往症がある場合は、研修参加申請時に提出する問診表にて必ず申告してください。

現地の医療事情 について

留学先によっては医療情報や病状の意思疎通が不明確な患者については、誤診の際の損害賠償が厳しい等の理由で、医師が適切な医療を行ってくれない場合があります。既往症があり治療や経過観察をしている場合は、主治医に相談のうえ、その病気や治療法に関する「英文診断書」を依頼して持参しましょう。(留学先の言語又は英語で書くことが望ましいですが、日本語のものでも役に立ちます。)

また、医療機関が見つからない場合に備えて、常備薬を多めに持参するようにしましょう。ただし、海外へ大量の医薬品を持出す時は、出入国時(検疫)等で問題が起こらないように必ず医師の「英文薬剤証明書」が必要です。世界各国で薬の取締りに関する厳格な法律があります。

海外で歯が痛むと、予約が直ぐに取れなかったり、高額な治療費を請求されることもありますので、**留学2ヶ月前までには歯科検診を受診し、必要な治療を終わらせる**ようにしましょう。

日本旅行医学会 <http://www.jstm.gr.jp/>

病気にかかって しまったら…

海外では気候の違い、生活リズムや食生活の乱れ、ストレス等から体調を崩しやすくなりがちです。また、抵抗力が下がり、病気にかかりやすくなります。病気になった時にはすぐに医者に診てもらうとともに、重大な疾病の場合には帰国する勇気も必要です。また、風邪薬・鎮痛剤等は慣れているものを持参しましょう。

病気や怪我をした時のために、予め信頼できる医療機関を確認しておきましょう。留学先の大学の医療機関や大学指定の病院もありますが、日本語のわかる医療機関を確認しておいてください。(海外旅行傷害保険に加入すると日本語で受診でき、キャッシュレスが可能な医療機関が記載された小冊子が配付されます。)

感染症 (SARS・新型インフルエンザ等)について

海外で発生・流行している感染症に、自分自身及び周囲の人達への感染を予防するため、事前に留学先の感染症情報を収集しましょう。必要であれば予防接種を受け、健康な留学生活が送れるよう留意してください。

新型インフルエンザに対して、ヒトは免疫をもっていないため、世界中で大流行(パンデミック)するといわれており、人命や社会経済活動に多くの被害をもたらすことが懸念されています。

感染症関連情報(外務省海外安全ホームページ)

http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html

海外渡航者のための感染症情報(厚生労働省検疫所FORTHホームページ)

<http://www.forth.go.jp>

現地の法律について

日本の喫煙・飲酒可能年齢は共に20歳ですが、例えばアメリカでの喫煙可能年齢は18歳、飲酒可能年齢は21歳と異なります。また、1ヶ国の中でも州ごとに法律が異なることも多々見受けられます。

海外に留学の際は、生活に関わる現地の法律を必ず事前に調べ留意してください。

自動車・オートバイの 運転について

留学中は現地での自動車・オートバイの運転は認めていません。慣れない海外での車の運転は大変危険です。道路標識や法律が異なるため、本人がいくら注意しても避けられない交通事故やトラブルに巻き込まれる可能性が高くなり、交通違反・事故を起こして警察に身柄を拘束されたり逮捕されたりする場合があります。賠償責任、保釈金や弁護士等は膨大な費用となる上、法的な手続き等も留学生活に大きな負担を与えてしまいます。

帰国及び帰国後の手続き

帰国の報告

帰国後、到着時に国際センター課に報告をしてください。

成績証明書

① 派遣留学制度

派遣期間が終了したら、それぞれ派遣先の大学より成績表が送付されますので、派遣留学生本人が成績表を持ち帰る必要はありません。留学先で修得した科目の単位認定を希望する場合は、帰国後に所定届出用紙にて申請してください。

② 長期英語研修講座及び
学生海外語学研修助成制度参加者

研修期間が終了したら、大学から持参した所定の用紙に成績及び受講時間等を記入してもらい持ち帰り、国際センター課に提出してください。

③ 短期語学研修講座参加者

研修期間が終了したら、それぞれ派遣先の機関より大学が送付した所定の用紙に成績表が記載され、国際センター課に送付されますので参加者が成績表を持ち帰る必要はありません。

語学試験の受験
(長期英語研修講座の場合のみ)
【帰国後】

長期英語研修講座の場合は、帰国した当該年度末までに語学試験を受験し、スコアを提出してください。
留学終了月以降に受験したスコアの提出に限ります。(英語:TOEFL もしくは TOEIC)

最新の研修機関案内
(学生海外語学研修助成
制度参加者の場合のみ)

授業の内容や講義時間、単位数等を記した資料があれば持ち帰るようにしてください。

研修報告書(帰国後)

研修参加者には「研修報告書」の提出を課しており、それらを参加希望者用参考資料として「留学ガイドブック」や「松山大学オフィシャルサイト」等に掲載しています。

各種募集ガイダンス
(OB/OG 懇談会)等への参加
【帰国後】

現地で体験した「生の声」は、研修に参加する学生にとって一番の情報になりますので、次年度の事前研修ガイダンスにおいて、体験談等の発表をお願いすることがあります。

麻薬・覚醒剤
について

若者を中心に麻薬・覚醒剤がかなり広まっています。タバコより害が少なく常習性が低いと考えられている国もあり、日本人旅行者の中にも気軽に手を出す人がいます。

しかし、あらゆる麻薬・覚醒剤は違法な薬物です。また、麻薬の売買には凶悪な犯罪組織が背後で糸を引いていることもあり、犯罪に巻き込まれる可能性が大きくなります。気軽に好奇心から手を染めないよう、海外生活の安全を第一に考え、十分に気をつけなければなりません。

通信手段の
確保について

皆さんが海外に留学中、日本にいるご両親をはじめとして大学関係者や友達等を安心させるためにも次の点に配慮してください。

まず現地に着いたら「無事到着しました」と家族及び大学に連絡し、その後も定期的に現況連絡を忘れないようにしてください。**また、大きな災害や事件・事故等が発生した場合は、いち早く「無事です」という連絡を必ず入れてください。**緊急時の安否連絡は重要なため電話・ファックス・電子メール等の通信手段を確認・確保することが大切になります。

留学中の旅行
について

留学中の国内旅行や移動の際は下記の点に注意してください。航空機利用の際には、航空会社の選定等にも十分考慮して、安全を最優先させてください。**「対策・予防」こそが最良の危機管理・健康管理 → 留学前・後の留学先の「情報収集」を心がける。**

① 最悪の事態に備え、あらゆるトラブルを解消するための手段や連絡先を常時携帯する。

1. パスポート(日本大使館もしくは総領事館)
2. 航空券(購入先の航空会社・旅行会社)
3. 各種クレジットカード(カード発行会社)
4. 海外旅行傷害保険証書(保険加入会社)
5. 救急や警察署の電話番号(松山大学生協:CO-OP デスク)
6. 各大学の担当者と連絡先(松山大学・研修校)

② 現地では、行動三原則を徹底する。

- 1.『目立たない』……………派手な行動や身なりを慎み、軽率な行動は取らない。
- 2.『持ち歩かない』……………多額の現金を持ち歩かない。高価な物品を身につけない。
- 3.『用心を怠らない』………普段と違う環境の中、警戒心を忘れない。安易に他人を信用しない。

安全を脅かしそうな地域に立ち寄らない。

＊その国での法令遵守は勿論、常に自己責任の意識を持つことが安全対策に繋がる。

③ 普段から、規則正しい生活と健康管理に気をつける。

1. 留学数日前には、現地での生活に準じ、体を慣らす事が大切である。
(食習慣、時差や気象の変化に伴い、体調不良になることがある。)
2. 言葉・文化や慣習等の環境の変化に伴い、ストレスを感じたり、問題が起こったりした場合は、一人で悩まず、自分の身の回りにいる友達や留学先大学の国際センター課スタッフ、アドバイザー、担当の先生に相談する等して、ストレスをためないようにする。

基本的な心構えとして一番重んじるべきことは、『自分の安全は自分自身で守る!』

研修終了後の提出物について

研修報告書は以下の要領に基づいて、期日までに提出してください。

1 印刷物提出

(②の写真台紙と③は配付されます。)

① 研修報告書…A4・3枚(雛形あり)

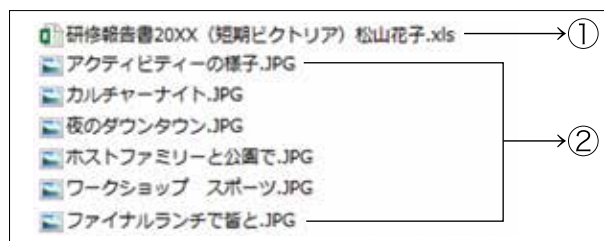
② 写真6枚…写真台紙・1枚

③ 提出物取扱同意書…A4・1枚(用紙あり)

2 データ提出

(①と②をUSB等に保存して提出)

※データ移行後その場で返却



提出方法

1 研修報告書(Excelファイル)

●オフィシャルサイトから該当する雛形(エクセルファイル)をダウンロードした上で入力してください。

オフィシャルサイト⇒国際交流(国際センター)⇒各種提出物(所定様式)

●記入する内容は、次のページの『作成のポイント』を参考にしてください。

(1)印刷物提出

必ず印刷したもので誤字や脱字を確認してください。

(2)データ提出

ファイル名を変更して提出してください。(上図参照)

⇒「研修報告書 年度(研修プログラム名) ※ 氏名」

例:「研修報告書2018(短期ソウル) 松山花子」

2 写真6枚(JPEGファイル等)

●撮影した中から様々な場面の写真6枚を選び、提出してください。

(1)現像済写真提出

台紙にファイリングし、それぞれのタイトルとコメントを台紙の野線部分に記入してください。

(2)データ提出

台紙に書いたタイトルをファイル名にして提出してください。(上図参照)

(注)デジタルカメラではなく、フィルムカメラで撮影した場合は、(1)のみ提出してください。

3 提出物取扱同意書(印刷物提出のみ)

国際センター課は、これらの提出物を同意書に挙げた目的以外で使用することはありません。熟読し、署名の上、提出してください。

研修プログラム名

短期カンタベリー	長期カンタベリー	派遣復旦	派遣建国
短期ビクトリア	長期グリフィス	派遣上海師範	派遣平澤
短期フライブルク	長期ビクトリア	派遣上海財経	
短期ブルゴーニュ	助成夏季	派遣青島	
短期上海	助成春季	派遣高雄	
短期ソウル	派遣フライブルク	派遣玄奘	

「研修報告書」作成のポイント

「研修報告書」は、次の項目別に記載し、全てのシートを完成させてください。(空欄がある場合や記載内容が少ない場合は再提出となることがあります。)

1 この研修で必要とした費用について

・わかる範囲内で留学にかかった費用を記入する。

2 研修機関及び授業内容について

・研修機関(大学)の概要、構内、施設、周辺の様子等の感想を記入する。
・具体的な研修内容が分かるよう、実際に行われたことを記載。

【例】

クラス分けテストの内容、どのようなクラスに分けられたか。

授業では何を目標にどんなところに重点がおかれて行われていたか。

時間割について。

特徴的なプログラムや、講師の教え方の特徴について等。

3 生活全般について(衣・食・住 等)

・ホームステイ、寮(間借り)、ホテルの場合は、その様子や現地での生活等。
・その国の食事や季節に応じた服装についても記入。

4 休日・余暇の過ごし方

・放課後や週末等の休みの過ごし方、研修校企画の課外活動等。

5 この研修で得たもの・学んだもの

・この研修ならではの特色やポイント、研修を通して得た所感等。

6 後輩へのアドバイス・参考になった文献紹介

・今後、参加を希望する後輩へのアドバイス等。
・事前に参考にした資料や研修先に持参した文献等の紹介。

7 受講した授業及び語学研修コース

・受講した授業や語学研修コースについてできるだけ詳細(科目名、時間数、期別等)に記入してください。

8 その他

・①～⑦までに記入できなかった感想、意見、提案、後輩に向けてのアドバイス等。

留学に興味はある！でもあと一步が踏み出せない人必見！

プチ留学体験 (英語圏) 参加者大募集!!

3日間、気軽に留学の雰囲気を経験できる「プチ留学体験」を実施しています。語学力を磨くことはもちろん、アクティビティワークを取り入れたプログラムにより、海外留学をより身近なものに感じ、渡航への自信を深めることを目的としています。

英語漬けの2泊3日!!
講師は全員ネイティブ!!



Joshua先生



Marin先生



Tereka先生



Ralph先生



Nat先生



David先生



Caleb先生

■対象：全学部学生(4年生以上は除く)及び短期大学生(2年次生以上は除く)

■内容及び特徴

1. 英語圏のネイティブ講師共に県内で合宿研修を行い、この中で「プチ留学体験」プログラムを実施し、期間中英語を使った実践的日常会話を体験する。
2. 米国、豪州、シンガポールなど様々な英語圏出身のネイティブスピーカーが指導にあたるので、様々なエリアの英語にふれることができる。講師以外の英語圏外国人ともアクティビティを通して交流する予定。
3. 外国人が集まる観光地(道後温泉など)にて、英語を使った観光案内等のフィールドワーク、ボールゲームスポーツ・英語の歌・ゲーム等のアクティビティを通して、楽しみながら英会話のスキルアップをねらう。
4. 英語運用能力に応じて複数のグループを作るので、無理なく効果的に英会話力を伸ばすことができる。
5. 合宿期間中の使用言語は、原則として英語のみとする。

■留意事項

1. 英語運用能力は問わない。
2. 受講意欲が低い、又は、協調性を著しく欠くと判断される場合は受講許可を取り消すことがある。
3. 薬学部学生は必ず薬学部事務室に相談し、自身のアドバイザーにプログラムへの参加許可を得た上で申し込むこと。
4. 参加人数により、プログラム内容の変更、又は中止となる場合がある。
5. 参加者は本学所定の「誓約書」を提出しなければならない。
6. 定員を上回る申込があった場合は、当該講座の未経験者を優先する。

詳細は学内掲示板もしくは国際センター課まで

センパイの留学体験を
覗いてみよう！

研修報告書

P.40～

短期語学研修講座

イギリス・カナダ・ドイツ・フランス・中国・韓国

P.52～

長期英語研修講座

イギリス・カナダ

P.56～

学生海外語学研修助成制度

(春季)

アメリカ・オーストリア・ニュージーランド・フランス・スペイン

(夏季)

アメリカ・イギリス・アイルランド・マルタ共和国・ドイツ・韓国

P.78～

派遣留学制度

ドイツ・中国・台湾・韓国

あなたはどのような留学生活を送りたいですか？知らない土地での生活は不安もあるでしょう。しかし、それ以上にかけがえのない体験が生まれるはず。先輩たちの留学体験を参考に、自分自身の留学生活を考えてみましょう。

※掲載されている学年は、研修出発時のものです。

イギリス

カンタベリー クライスト チャーチ大学

Canterbury Christ Church University



人文学部
英語英米文学科
1年次生(研修時)

高橋 大輔
Takahashi Daisuke



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:カンタベリー
- 研修期間:
2017年8/19〜9/18【31日間】
- 宿泊形態:ホームステイ
- 費用概算
<必要な経費>
 - ・研修費(滞在費含む) …… 500,000円
 - ・渡航準備・査証取得費 …… 3,000円
 - ・食費 …… 40,000円
 - ・交通費 …… 20,000円
- <合計> 563,000円



バッキンガム宮殿



大英博物館

研修機関や授業

自分の意見を述べる大切さ。
思い描いていた通りの授業。

現地の大学の留学生専用の校舎である、ランゲージスクールに通いました。日本人も多かったですが、僕は日本人以外の留学生と過ごすことができました。授業は参加型の授業で手を挙げて発表することは少なく、自分から積極的に発言する必要がありました。授業の始めにはほとんどちょっとしたゲームをしていました。日本でしたことのあるゲームもたくさんしましたが、一番印象残っているゲームはキラーゲームというものです。日本でも有名な人狼ゲームと同じものです。ですがすべて英語でコミュニケーションをとる必要があり、とても難しく、やりがいのあるゲームでした。午前中は教科書を使って基本的な文法を学びました。現地の先生が現地の感覚で教えてくださり、いざ自分が英語を使うといったときに、大変たになる授業をしてくださいました。午後からはどんどん発言していく、話し合いのような授業が多かったです。自分の考えを述べなければいけないことが多く、まさしく自分の思い描いていた外国の授業という感じでした。全体を通して、とにかく自分の意見を言う、相手の意見を聞く、といった話し合う方に重点が置かれてました。



プレミアリーグ観戦

衣・食・住

国際的な家族と過ごした
ホームステイ。

僕はホームステイをしていました。ステイ先は四人家族でホストマザーはイギリス人、ホストファーザーはナイジェリア人、そして二人の小さな子供がおり、さらにはルームメイトとしてイタリア人がいるという大変国際的な家族構成でした。家では子供たちが寝るまでは一緒に遊んだり、幼児向けのテレビを見たりしました。幼児向けといっても、もちろん英語です。僕にとってはとても良い教科書でした。子供たちが寝た後は、ホストマザー・ホストファーザーと一緒にコメディやドキュメンタリー、ドラマなど様々なジャンルの番組を見ました。いつも笑いの絶えない優しい家族で、様々な国の人がいたため、日本ではこうだ、イタリアではこうよ、ナイジェリアではそんなことはない、と言ったとても有意義な話もたくさんできました。食べ物や家の料理はとてもおいしかったのですが、外食は噂どりで、僕にとってはおいしいとは言えないものが多かった。マクドナルドが一番おいしかったです。服装は日本と差はなく、日本の冬前のような格好をしている人が多かった。半袖で過ごすのは少し厳しいといった感じでした。

休日・余暇の過ごし方

大英博物館への観光や
サッカー観戦など。

休日は基本的に友達とロンドンなどの有名な都市に行って観光をしていました。一番心に残っているのは大英博物館です。教科書やテレビでよく見かけるものがたくさんあってとても興奮しました。モアイ像がとてもかわいかったです。あとは有名なロンドンアイやウェストミンスター、ビッグベンに行きました。どれもこれも自分の頭の中の塑像のものでしかなかったものが目の前にある感覚はとても不思議な感覚でした。カンタベリーで休日を過ごすこともあり。イギリスらしくアフタヌーンティーに行ってみました。とても高くてびっくりしました。一度プレミアリーグを見に行きました。レスターVSチェルシーの試合を見に行きました。世界で最もレベルの高いリーグの試合です。サポーターも熱狂的でしたが、皆とても優しくたくさんコミュニケーションをとることができました。予定がないときは家で過ごしました。小さな家族がいるので近くの公園にいったりしました。滑り台が相当気に入っているらしく、見ているこっちが疲れました。休日は外に出て自分の英語力を試すことができとても有意義に過ごすことができたと思います。

得たもの・学んだもの

いろいろな国のことを知り、
リスニングの力もアップ。

さまざまな人種の方がいるイギリスに行き、たくさんの人のいろんな考えに触れることができ、自分の価値観に変化があったと思います。自分の国では当たり前のことでもそれがあたりまえでない国もあります。そういった中でいろんな国のことを知れたことは大変大きな収穫になったと思います。英語の力は、イギリスで過ごしながら改善されていることを感じる事ができました。授業のおかげで自分の言いたいことがよりさっぱりといえるようになりました。よく使われている表現など日本ではどうしても知らないことを知ることができました。なによりも少しだけですが英語をわざわざ日本語に直すことなく、英語として理解することができました。毎日英語を聞いていたので聞く力もそうとうついたと思います。帰ってきて聞いたリスニングの問題の音声がとても遅く感じました。



ホストファミリー

後輩へのアドバイス！

日本語を使わないように
意識して過ごす。

とにかく積極的にいろんな人とかわることだと思います。日本人も多いので自分から動かないと日本人とばかり日本語で話そうと増えちゃうので意味がないと思います。先にイギリスにいた同じ大学の先輩と仲良くさせてもらいましたがその人と話すときもできるだけ英語で話そうと提案してくれたのでたくさん英語を使う機会が僕はありました。イギリスに行ったらほとんど日本語を使わなければならぬと思います。自分で解決しないと、せっかくの留学という機会を台無しにしてしまいます。参考になった文献は特になく、行く国についていくつか知っておくことが大切だと思います。マナーや文化、日本との大きな違いなど知っておくべきだと思います。また有名なスポーツや有名な人を知っておくと現地の人との話題になって会話が進みます。

もう一言！

人と関わり、
人として大きく成長できる。

今回このプログラムに申し込んでみて本当によかったと思います。イギリスはいろんな人種の人があるので、まさに異文化交流といった感じで、とても興味深い話を友達や家族とすることができました。個人的に面白いなと思ったのは、英語の日本なまりのように生まれた国によって発音に若干の違いがあることです。例えばイタリア人の人は語尾が上がる傾向にあります。言葉で説明するのは難しいけれど、本当に微妙な差があります。さずいたことは外国の方は自分の思っていた以上にやさしく純粋でした。道を聞いても皆親切に答えてくれたりしました。僕が困っていると思ってむしろイギリス人の人から、どうしたの？と声をかけてくれることも多かったです。英語はもちろんのこと、人として学ぶことが多く、人として大きく成長することができる一か月間だったと思います。



モアイ像

カナダ

ビクトリア大学イングリッシュランゲージセンター

University of Victoria English Language Centre



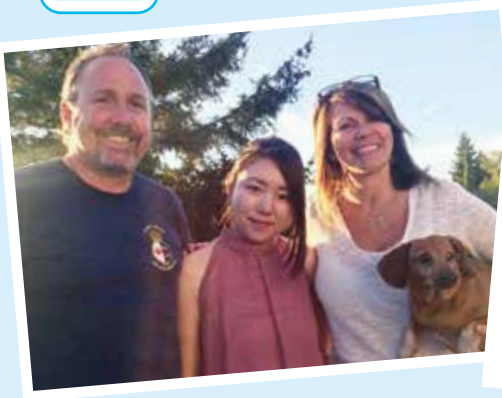
法学部
法学科
3年次生(研修時)

菅 亜衣夏
Kan Aika



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:ビクトリア
- 研修期間:
2017年8/8~9/1【25日間】
- 宿泊形態:ホームステイ
- 費用概算
<必要な経費>
 - ・研修費(滞在費含む) 554,000円
 - ・渡航準備・査証取得費 31,000円
 - ・食費 14,000円
 - ・通信費 34,000円
 - ・その他 180,000円
- <合計> 813,000円



ホームステイファミリーと



みんなでタイダイTシャツ

研修機関や授業

広くて充実した設備の大学
二人の先生に学ぶ。

ビクトリアは自然がたくさんあふれていて、毎日開放的な生活を送ることができた。大学は広すぎるくらい広くて、授業がある建物を覚えるのに苦労した。たくさんの留学生がいるため、大学内で道を聞かれることが多々とあり、一緒に地図で調べて案内したりして、プログラム以外でも友達を作ることができた。大学内には、ショップやカフェ、食堂も充実していて困ることがなかった。また、授業内容も充実しており、ライティングとスピーキングに分かれた授業だった。海外生活において大切な基本的クエスチョン文法、日常生活会話、カナダ文化と日本文化の違い、カナダの有名人、食べ物、動物、観光スポットなどたくさん学んだ。先生は二人で、どちらの先生も私の間違った文法や発音を正しく直してくれた。毎日「今日は何をするの?」「昨日はどうだった?」と質問してくれるので、英語の練習になった。そして、授業が終わってからのランチタイムとアクティビティが何よりも楽しみでした。私のホストマザーは、とても料理が上手だったのでランチとディナーが毎日楽しみだった。また、午後のアクティビティは毎日違うことをするのでいろいろなことが体験できて良かった。



家の近所の公園で

衣・食・住

日本とは違う夏の気候。
親切なホストファミリーと過ごす。

ホストファミリーは夫婦二人と、犬一匹だった。途中から同じ日本人留学生が二人増え、五人暮らしだった。朝ごはんは、自分でシリアルを食べるか、パンを焼いて食べたり、ヨーグルトやフルーツを食べたり好きにしていたよと言われていたが、昼ご飯は毎日作ってくれた。私が好きなものを伝えと、それを作ってくれたし、デザートにフルーツやマフィン、お菓子などたくさん用意してくれた。料理上手なホストマザーだったので、毎日ごはんが楽しみだった。洋服に関しては、日本の夏を想像していくと大変なことになる。まず、湿度がなくカラカダ。雨は、月に一度しか降らなかった。日差しは日本と同じくらい強いが、全く汗をかかない。そして、朝晩は本当に冷え込む。半袖ですごすには寒い日がほとんどだったので、パーカーやスウェットを買って着ていた。寒いが、日差しは強いので、日焼け対策はしっかりとすべきだ。私のホストファミリーはとても親切で、洗濯物は全部してくれたし、家事を手伝うことはほとんどなかった。シャワーの時間は10分以内といわれていたが、多少長くなってしまっても厳しくは言われなかった。一か月間快適に過ごせた。



自転車こいで
ビールな休日

休日・余暇の過ごし方

アクティビティに参加すると
学校外の友だちもできる。

休日はほとんど友達と遊びに出かけた。アクティビティをとっていたので、休日はアクティビティに参加した。ダウントウンやアップタウンには、バスで気軽に行けるので、毎週ダウントウンに行っていた。ダウントウンにはいろいろなショップや、お土産、レストラン、アクティビティがあった。ホストファミリー、学校の先生、CAさんにおしえてもらったカナダの有名な食べ物、レストラン、観光スポットなど心残りが無いよう全てやりつくした。カナダの人はとても親切でノリもいので、アクティビティが素晴らしく楽しかった。すぐに友達になれるし、いろいろな国の人と交流できる。アクティビティで仲良くなった人たちが美味しいビールやカクテルを教えてくれた。また、私の家の前に大きな公園があり、テニスやバスケットをして放課後よく遊んでいた。すると、自然と現地の子達と仲良くなることができ、学校外でも仲のいい友達が多かった。ホームステイファミリーと過ごす時間はネイティブ英語に触れるチャンスなので、積極的に話せるようにある程度一日の出来事をまとめた文章を作り、ホストファミリーに伝えられるようにしていた。

得たもの・学んだもの

自由を感じる事の大切さ。
語学力のアップ。

私はこの研修で考え方が180度変わった。カナダの人達の生活はとてもゆったりとしていて、毎日が幸福にあふれていて、ストレスを感じなかった。そして、カナダの人々はとにかく親切で優しい。道を尋ねるととても詳しく分かりやすく教えてくれた。日本との文化の違いが明らかだった。私は日本にいたときは毎日バイトが入って自分の自由な時間がないことにストレスを感じていた。しかし、カナダで開放的な時間を過ごすことで自分の好きな事が自由にできるってこんなにも幸せな事なんだと思った。また、音楽や洋画が大好きになった。そしてちゃんと英語の意味を考えながら鑑賞できるようになった。リスニング力、文章力、さらに発音力が上がった。カナダから帰るころには会話はほとんど聞き取れるようになっていた。発音もきれいにできるようになっていて、最初みたいに聞き直されることは少なくなった。そして、英語の授業では教わらない日常会話単語や表現などを学ぶことができた。この一カ月で自分の意思を伝えることの大事さに気づいた。



My birthday

後輩へのアドバイス!

日本との違いに備え
準備をしっかり。

季節は夏ですが、日本の夏を想像してはいけない。とても乾燥していて、気温は20℃前後。半袖の洋服ばかりではなく、長そでやパーカーを持っていくことをお勧めする。また、乾燥で肌がとてもカサカサになった。ボディークリームなど保湿できるものを用意しておくといいと思う。買い物は、現金はほとんど使わずキャッシュパスポートで買い物をした。私は現金三万とキャッシュパスポートに八万円あとクレジットカードを持って行ったが、十分足りた。カナダでは、身分証明書はパスポートが主流なのでレストランなどに行くときは必ず携帯しておいた方がいい。治安はとてもいいのでリュックでも全然大丈夫だし、わからないことがあれば現地の人に聞くと親切に教えてくれるので心配ない。インターネット環境についてだが、ホームステイ先、学校、ダウントウンなどWi-Fi環境は充実しているが、常に調子よく接続できるわけではないのでポケットWi-Fiを持っていくことをお勧めする。また、日本食が恋しくなるのでインスタントの味噌汁やお米は持って行った方がいい。

もう一言!

積極的に自分から行動し、
後悔のないように。

一か月は長いようでとても短い。やりたいと思ったことは心残りが無いように全部やるべきだ。最初は英語が聞き取れなかったり、自分の言いたいことがうまく伝えることができなかったりするだろうけど、勇気を出してどんどんネイティブ英語に触れることが大事だと思う。私は日本人の友達とばかり話してCAさんとあまり交流できなかったなと思う。もっと早く自分から話しかければよかった、と思っている。ホームステイファミリーとも交流する時間をたくさん取ると思う。留学に行く前に、現地のことやホームステイ先のルールや日本のもので何が好きかリサーチしておくといいかもしれない。この一か月間は夢のような時間で、本当に毎日楽しかった。一生忘れられないいい思い出だし、経験になった。帰るころになると移住したいとまで思うようになっていて、ホストファミリーに毎日帰りたくないと言っていた。ホストマザーがずっといてくれたらいいのと言ってくれたことが本当に嬉しかった。日本に帰ってきてからも連絡を取るくらい仲のいい友達もできた。



私のteacherとCA

ドイツ

フライブルク大学 SLI 日本人クラス

University of Freiburg

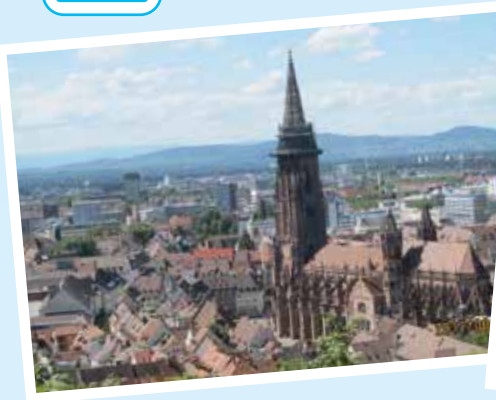


経営学部
経営学科
2年次生(研修時)

中川 雄登
Nakagawa Yuto



STUDY ABROAD DATE	
●都市名:フライブルク	
●研修期間:	2017年8/3~8/25【23日間】
●宿泊形態:寮	
●費用概算	
<必要な経費>	
・研修費(滞在費含む) ……	348,000円
・渡航準備・査証取得費 ……	10,000円
・食費 ……	35,000円
・交通費 ……	10,000円
・通信費 ……	3,000円
・その他 ……	69,000円
<合計>	475,000円



ホームステイファミリーと



みんなでタイダイTシャツ

研修機関や授業

街中にある大学。
和気藹々とした高度な授業。

今回、私が学んだフライブルク大学は交通の便が非常によく、通学はしやすかったと思います。また街中にあったため、大学から少し歩けばいろんなお店に行くことも可能でした。私のクラスはインターナショナルクラスにもかかわらず、クラスの18人中の15人が日本人だったので少し残念でした。またクラスに男子は3人しかいませんでした。今回の研修先の授業は挨拶や自己紹介、日常でよく使うような名詞等を中心に学びました。授業の内容自体は日本と変わりませんが、説明がほとんどドイツ語(たまに英語)であるため、それだけで日本で受けている授業よりもはるかに難易度が高いもののように感じました。文法事項をドイツ語に訳したリストを持っていくと自分の助けになりますよ。授業の雰囲気についてですが、先生が歌やドミノというカードを使って授業を進めてくれたこともあり、授業自体はみんな和気藹々としており、非常に楽しいものでした。また日本の授業と比べてドイツ語をペア等で話す機会が多く設けられていたなと感じました。また研修の最後の授業ではクラスみんなでフライブルクの様々なところを巡ったりもして最後まで充実した授業でした。



SCフライブルクの
本拠地

衣・食・住

少し寒い気候。
学生食堂の利用がおすすめ。

気温は日本の方が暑いという印象を受けました。特にドイツは雨の日や夜中はかなり冷えるので、長袖が必要かなと思います(ハイデルベルクに行ったときはパーカーを着ていても寒かったです)。食事については主食はパンやパスタが多いと思います。レストランだと1食でも1,000円近くかかるので、ピザなどをテイクアウトしたり、自炊することがおすすめです。また大学内にあるMENZAという学生食堂を利用すれば安く(約3€)多く食べることができます。普段自分が食べない料理を味わうこともできるのでぜひ利用してほしいです。また今回、研修期間中は学生寮で生活を送りました。キッチン、バスルーム、トイレは各階の住人で共同で使い、部屋は1人部屋となっていました。私と同じ階の住人の方は非常に親切だったので、研修期間中は心強い存在でした。部屋の広さですがかなり広く、ベッド、クローゼット、勉強机等は備え付けられています。洗濯に関しては寮の地下に洗濯機と乾燥機があるのでそれを利用すると思います。ただし、1回使用することに1.5€かかるのでそこは注意が必要だと思います。



おいしいかもしれ
ませんよ。

おいしかった学食

休日・余暇の過ごし方

エクスカーションに参加。
美術館や博物館も安く利用可。

大学のエクスカーションに留学前半は参加しました。エクスカーションには私は2回参加しましたが、1回目はフランスのコルマルへ、2回目はハイデルベルクに行きました。エクスカーションへの参加費用は30€なので、とてもお得だと思います。後半の休日では、クラスの友達とブンデスリーガ観戦をしました。SCフライブルクVSアイントラハト・フランクフルトの試合でした。愛媛出身の鎌田選手や、日本代表の長谷部選手もスタメンだったのでとてもラッキーでした。試合を応援している観客が一体となっているあの雰囲気は日本ではなかなか味わうことができないと思います。またフライブルクの博物館や美術館を巡ったりもしました。学生ということを伝えると5€で周辺の博物館、美術館が見放題の券を買うことができたので日本でもこういう制度を増やしてほしいなと思いました。放課後に関していえば友達とよくアイスやホットドッグみたいなものをよく食べました。アイスもソーセージも日本のものに比べてもかなりおいしいので絶対食べてみてください。アイスに関していえば1€くらいで種類も豊富なので毎日食べてみるのもいいかもしれませんよ。

得たもの・学んだもの

違う環境の中だからこそ
自分を見つめ直すきっかけに。

今回の研修で私が学んだことは1日の時間って意外と長いものだということです。日本にいるときは時間が足りないと思うことが多々ありました。あれもしないといけないこれもしないといけないというような日々がありました。しかし、今回の研修中は時間がいっぱいあるなと感じました。授業終わりに視聴覚室で自主学習をしたり、フライブルク市内を観光したり、普段はあまりしない自炊を行いました。そう思うと自分の日本での生活では無駄な時間も結構あったのではないのかと考えるようになりました。今回の研修は自分の生活習慣を見直しきっかけにもなりました。また今回の研修中にはいくつかのハブニングも起こりましたが、そのハブニングを乗り越えたおかげで自分に自信をつけることもできました。ハブニングは起こらないほうがいいと思うかもしれませんが、ハブニングがあったからこそ無理やりでもドイツ語や英語を使わざるを得ない状況にもなったので、ハブニングも今となってはいい思い出です。



大聖堂の広場

ザットハルテ

後輩へのアドバイス!

英語が役に立つ。
学校の教科書も役に立つ。

語学力に自信がなくて留学する気がない人はぜひ留学してみてください。私自身、語学力には自信はありません。しかし、1ヶ月もいるとドイツ語にも慣れてくるもので単語の意味が分からなくても、相手が言っている内容がなんとなく分かってきます(実際に内容があっていたかは定かではありませんが)。あとは積極的に話すことが大事かなと思います。私は研修の終わりに同じクラスの東ティモール人と仲良くなりましたが、もっと序盤から話すべきだったなと後悔があります。せっかく留学したのだから、もっとドイツ語や英語を使うべきでした。ちなみにですが、ドイツに行くからといって英語は全く使わないわけではないですよ。むしろ困ったときほど英語がかなり役立ちますよ。ドイツ語だけでなく、英語の勉強をすることもおすすめします。参考になった文献というわけではないですが、日本で使っていた教科書はぜひ持参するべきだと思います。今回の研修内容は1回生の時に学んだ事が多く含まれていたもので、宿題や自主学習をするときにかなり役立ちます。

もう一言!

またドイツへ留学したい。
語学力の向上を目指す。

もう1度ドイツに留学をしたいかと問われたらわたしは迷わずにしたいと答えます。それほどドイツ留学は私にとって非常に思い出深いものとなりました。街並みや食事もあることながら、特にドイツ人の優しさに私は感動しました。そこから私自身も日本に来ている外国人が何か困っているようであれば手助けしようと思いました。そのためには語学力の向上が不可欠です。今回の研修を通して、自分の語学力の無さを痛感させられました。しかし、この経験が自分の語学力を向上させたいというモチベーションをさらに高めてくれるきっかけにもなりました。いずれまた留学する機会があればドイツ語を話す力、聞く力を今よりも高め、ドイツという国を今回の研修以上に楽しみたいと思います。そしていずれはネイティブスピーカーと遜色ないほどのドイツ語を扱える力を身につけたいです。



フライブルクの地図

フランス

ブルゴーニュ大学 フランス語研究国際センター

University of Burgundy Centre International d'Etudes Françaises



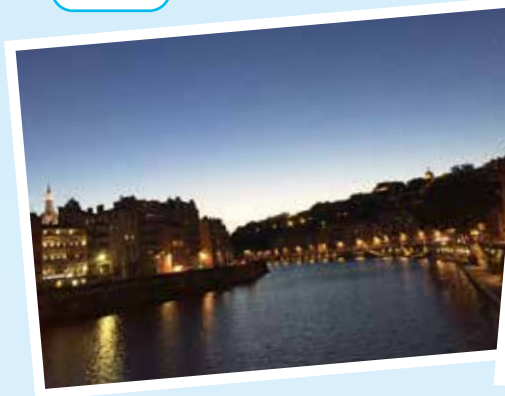
人文学部
英語英米文学科
卒業生

松浦 悠
Matsuura Haruka



STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ディジョン
 - 研修期間：2015年8/24～9/11【19日間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|-------------|-------------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費（滞在費含む） | …… 430,000円 |
| ・食費 | …… 30,000円 |
| ・交通費 | …… 6,000円 |
| ・その他 | …… 90,000円 |
| ＜合計＞ | 556,000円 |



Lyon旧市街



ミミさん

研修機関や授業

クラス分けのテストは難解。
知らない単語は質問して解決。

ブルゴーニュ大学は一つ一つの校舎が大きい敷地は広がったです。寮から大学までトラム(市内電車のようなもの)を利用しましたが、大学内に駅があるので便利に感じたと共に、感動しました。初日にクラス分けのためのレベルチェックテストを二時間ほど行いました。テストはかなり難しく、終わった人から退席可能でしたが、ほとんどの人が終了時間まで解答していました。文法問題があまり出題されなかったため、文法重視で勉強をする日本人にとっては苦戦する試験だったように思います。長文読解やリスニング、作文などが出題されました。クラスは一人の先生が毎日ずっと授業を担当してくれる形でした。辞書は禁止で、そのかわり分からない単語や表現があれば先生に質問し、こちらが理解するまで丁寧に教えてくれました。すごく優しい先生で、気軽に質問することが出来ました。4技能万遍なく学ぶことが出来ました。クラスには夏休みということもあって、日本人がほとんどの割合を占めていました。ほかにもブラジル人や、台湾人、ナイジェリア人のクラスメイトがいました。授業が開始されてから三日くらいで、先生がクラス替えをした方がよさそうな生徒には(上げる場合も下げる場合も)提案をしていました。

衣・食・住

服装は幅広く持って行く。
料理をあまりしないという選択。

寮は過ごしやすく快適でした。一階に皆が集まれる場所があり、涼しい日は中庭に出て過ごすこともありました。部屋には冷蔵庫、シャワー、トイレが備わっており、台所だけが階ごとに共有でした。去年イギリスに同じ時期に滞在したときに寒かった記憶があり、今回長袖を多く持っていきましたが、最初の一週間は30度前後で暑くて失敗したなと思いました。しかし二週目からはやはり冷え込んだので、半袖と羽織るパーカーやカーディガンをもっていくのがベストだと思いました。朝は日本から持って行った白ご飯を温めて食べたり、現地で買ったシリアルを食べたりしました。昼は学食に行きました。夜はスーパーで美味しそうなのがあれば購入していましたが食べない日もありました。毎日料理をしっかりしている他大学の生徒もいましたが、私や私の友人はあまり食費や調味料などにお金をかけたくなかったのと、料理に時間をとられたくなかったので簡単に済ませていました。フランスの料理はおいしかったです。またカフェなどで昼からお酒を飲むことが出来ることに驚きを感じました。モナコという真っ赤なビールは甘くて飲みやすいのでおすすめです。

休日・余暇の過ごし方

友だちと協力して観光。
日曜日は飲食店以外はお休みに。

平日の学校が終わってからは、最初の1週間くらいは日本の他大学で出来た友達と外出していました。学校から少し遠いですが、Darcyという駅でトラムを降りて買い物をしたりカフェを満喫しました。ショッピング街のような感じで毎日賑わっていました。寮の近くにあるスーパーにない食材などは、Darcyにあるmonoprix(モノプリ)という少し大きめのスーパーで買っていました。休日はDijonから出てParisやLyonやBeauneに行きました。他大学の友達は一泊したりしていましたが、私はすべて日帰りの旅行にしました。大きな都市に行くときは財布を持って行かず、封筒に現金を入れたり、パスポートはコピーを持って行ったり、るぶを広げるときは、本を持っている人を残りの人が囲って守るようにしたり十分注意しました。謎な署名活動など、観光名所では怪しい人たちもいました。アジア人はわりと少なく目立つので声をかけられやすかったです。皆で注意しながらもたくさんの観光をすることが出来ました。Lyonはるぶに載っているすべての名所を周ることが可能でした。また日曜日は飲食店以外はすべてお休みになるので日曜日にお土産を買うことは出来ません。買い物は放課後か土曜日に計画することをおすすめします。



トラム

得たもの・学んだもの

フランスで日記をつけたことが
強みになった。

第二言語でしか勉強していないフランス語だったので、毎日知らない単語や表現に出会っていました。ほとんどのクラスメイトが日本人でしたが、彼女らはフランス語学科など、専門で勉強している人たちだったので、逆に彼女たちよりもたくさん勉強してやるという強い気持ちで毎日授業に臨みました。たくさんの新出単語が出てくるのですごく楽しく、毎日の授業はあっという間でした。フランスに行く二ヶ月前くらいから、フランス語で日記をつけていました。いろんな表現を知ることが出来て、留学前にやっておいてよかったなと心から思います。ノート丸々一冊使い切るほど書き込みをしました。フランスが恋愛にオープンな国であることは既知でしたが現地に行って強くそれを実感しました。広場でダンスを踊ったり、パートナーに呼ぶ愛称がたくさんあったり、日本とは違う文化を楽しむことが出来ました。



フランスパン

後輩へのアドバイス！

現金しか使えない場面も。
洗濯など友だちとシェアで節約。

るぶは観光する際に必須です。メトロの駅など詳しく記載されているのでどこで降りたらいいのかがわかりやすいです。支払いには基本的にカードで行っていました。学食はブルゴーニュ大学の生徒であれば、メイン、デザート、前菜の3つで一律3.25ユーロですが、クレジットが使えず必ず現金で支払いでした。そのためお札を学食で崩し、自動販売機で飲み物を購入するときや、寮内のコインランドリーを利用するときのためにコインをある程度ためていました。コインランドリーは洗濯で3ユーロ、乾燥で2ユーロ必要になります。私は同じ寮にいた仲良くなった友達と日にちを決めて5日に1回くらいの間隔で一緒に洗濯していました。洗濯機も乾燥機も大きめであること、お金を節約することから誰かとシェアすることをおすすめします。洗剤は現地でも購入できますが、日本の洗剤を使いたかったため持参しました。



モナコ

もう一言！

問題集やポケットWi-Fiを持参すると良い。

最初の方は色々な場所に行ったりして帰ったら宿題をして寝るという生活のリズムでしたが、だんだんと慣れてきて落ち着くと寮で過ごす時間が多くなります。私は他の国に留学をしたときに毎回勉強道具を持参するにもかかわらず一回も問題集を開けないまま帰国していたので、フランスに行く際荷物を減らすべく、何も持っていきませんでした。しかし寮で暇な時間が出来た時することがなくて困りました。他大学の友人で仏検の問題集を持ってきて毎日一生懸命勉強しているのを見ていたら、自分も持って来たらよかったなと感じました。何かフランス語を勉強するための問題集を持参すべきだと思いました。学校では基本的にWi-Fiが通らないので、個人でポケットWi-Fiを持参することを強くおすすめします。数人で共有していましたがすぐに速度制限がかかってしまいあまり使えませんでした。



有名なディジョンマスタード

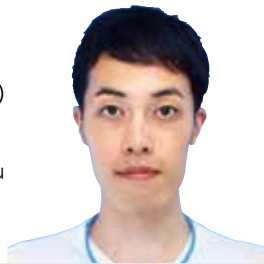
中国

上海财经大学国際文化交流学院

Shanghai University of Finance and Economics
International Culture Exchange School法学部
法学科
2年次生(研修時)

新名 航

Shinmyo Wataru



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:上海
 - 研修期間:
2017年2/17~3/13【25日間】
 - 宿泊形態:寮
 - 費用概算
<必要な経費>
- | | |
|-------------------|-----------------|
| ・研修費(滞在費含む) | …… 163,040円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | …… 16,000円 |
| ・食費 | …… 30,000円 |
| ・交通費 | …… 6,000円 |
| ・その他 | …… 10,000円 |
| <合計> | 225,040円 |



豫園



クラスメイト

研修機関や授業

先生やクラスメイトとの
積極的な会話や発言が大切。

まず、最初にクラス分けの簡単な聞き取りテストがありました。最終的には、教科書を確認して自分にレベルがあるかで判断されました。クラスは後でも変更できますが、私は変更しませんでした。授業は月曜から金曜の8時30分から12時10分まで行います。午前中に2コマの授業を行います。授業はリーディング、リスニング、スピーキングの3つでリーディングの授業は毎日あります。クラスには、様々な国からの留学生がいますが基本的には、ほぼ中国語で授業をします。初級2班だったのですが、内容的にもちょうど良かったと思っています。分からない単語は電子辞書を使い調べるのもいいですが、できるだけ先生やクラスメイトに聞いたりしました。リーディングは文法を習いますが、会話で話せることが重視されます。内容は日本で習った発展的な内容でした。リスニングはCDの音源を使って聞いて、問題を解いていくのが主でした。3週間ほどでしたが、少しはリスニング力は付いたと思います。スピーキングは教科書も使いますが、与えられた内容をどんどん話していく感じでした。積極的な会話や発言がとても大切だと感じました。

衣・食・住

持参したものと、
現地で安く買えるものもある。

上海の2月は比較的寒く、3月からは暖かくなってきます。ダウンやマフラーなどは持参しておいた方がいいです。あと洗濯の回数を減らしたければ、下着類は多めのほうがいいです。食に関しては、水は現地で500mlが20円と安く買えるので持参しなくてもいいです。水道水は匂いもあり、飲まないことが無難です。屋台や飲食店の肉は、意外と中がまだ赤い時もあるので、気を付けた方がいいかもしれません。ですが料理はとても美味しいです。正露丸は念のため持参しました。寮は部屋によりますが当たり外れがあります。私の部屋は隙間風でものすごく寒かったです。布団も薄いので、別の留学生の方に貸してもらいました。暖房は時々つけましたが、電気代はチャージしなくても3週間もちました。それと電気ポットは持参しました。ドライヤーは現地で800円ほどで購入できます。スーパーやコンビニ、銀行もキャンパス近くにあるので頻繁に利用しました。少し歩けば巨大スーパーもあり、日用品や食料品すべて揃います。ポケットWi-Fiの持参はしませんが、寮を含め駅や飲食店に行けば使えます。

休日・余暇の過ごし方

様々な場所に行った。
ガイドブックの場所を制覇。

授業の無い午後は、上海の観光スポットに行きました。どこも地下鉄で100円程で行けます。事前に計画をして散策するようにしました。豫園や外灘、田子坊、新天地などの街並みはとても魅了されました。昼と夜で雰囲気も違うので2回は行きました。また上海動物園や水族館、博物館、そして上海ディズニーランドにも行きました。特に、浦東の展望ビルからの夜景はとても奇麗でした。天気を確認しながら計画してみるといいと思います。中国は物価が安いですが、観光客向け施設の入場料は比較的高めでした。学生割引が効くところもあるので交渉してみるといいと思います。その他にもガイドブックに載っている場所にはほぼ制覇しました。せっかくなので様々な場所に行ってみるといいと思います。土日では研修前から計画していた南京小旅行に行きました。移動で乗った高速鉄道はとても快適でした。南京では夫子廟や中山陵、南京大虐殺の記念館に行きました。上海とはまた違った中国の歴史的建造物を見ることができました。雨の日は近場で散策してみて、空いた時間は授業の復習や宿題の時間に充てました。

得たもの・学んだもの

リスニング力が大事。
英語は意外と通じない。

初海外で中国という場所に、3週間滞在することは正直不安でした。ですが、研修後は参加してみてよかったと感じています。授業もそうですが、お店の注文や会話も積極的に中国語で話そうにしました。それと、意外にも英語が通じないところが多いとも感じました。何度も繰り返して話すことで、自然にフレーズが出るようにもなりました。中国人は私たちに容赦なく中国語で話しかけてくるので、もう少しリスニング力をつけておけばよかったと思いました。授業を通して積極的に会話や質問していくことはとても大事だと感じました。先生も分からないところはゆっくり説明してくれ、クラスメイトも助けてくれます。間違ってもいいのでコミュニケーションを取ることが大切です。またハングリー精神はとても鍛えられると思います。失敗したり、間違えて恥ずかしいと感じるのは日本人くらいだと思います。ほかの留学生は間違っても積極的に授業に参加していました。何事も自らが進んでしていくことが大切だと感じました。

後輩へのアドバイス!

事前の準備が大切。
目標をもって充実したものに。

上海研修もそうですが、準備は大切です。事前にガイダンスはありますが、自分で調べておく方がいいと思います。Gmailなどは使えないので、心配な人はいくつかの連絡ツールを用意しておいた方がいいです。それと、中国語のフレーズや必要な情報をメモ帳にまとめておくのと現地で役に立つと思います。研修中は行った場所や食べたもの感じたことを日記にしておけば、後から振り返ることができると思います。上海の観光スポットが載ったガイドブックは用意しておけば便利です。地図もあると地下鉄の駅も分かるのでいいと思います。地下鉄の乗り換えなどがわかるアプリもあるのでダウンロードしておくといいです。それと最初の1週間ほどは先生や国際センターの方がいるので、分からないことは事前に確認しておくといいと思います。準備をしっかりしていれば上海研修はとても有意義な時間になります。何か1つでも目標を設定しておく、より充実したものになると思います。

もう一言!

自分の身や物は
きちんと管理すること。

慣れない環境で風邪や体調を崩しやすいので、使い慣れた薬はもっていった方がいいです。日本の商品や外資系商品は高いので、必要に応じて持参しておくいいと思います。お気に入りの服や高価な物は現地では汚れたり、お金を持っていると思われるので控えておくいいです。観光客への客引きも多いので無視が一番です。荷物から目を離さないようにした方が安全です。歩きスマホもやめておいた方がいいです。とにかく日本とは違い様々な人がいます、警戒しすぎる必要はありませんが、自分の身や物は自分できちんと管理しておくことが必要だと感じました。また研修に行くに決めたら、中国語の勉強もしておいた方がいいです。授業はクラスのレベルによりますがほぼ中国語です。少しでも授業についていくには基本は押さえておくことが重要だと感じました。中国語検定を受けておく、と自信になると思います。中国の文化や歴史を感じるには、積極的に観光スポットや様々な場所を散策することも大切です。きちんと計画してONとOFFを切り替えて活動してみてください。

浦東夜景



新天地



南京旅行・中山陵風景



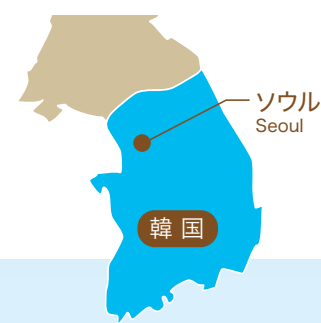
武康大楼



韓国

建国大学校言語教育院

Konkuk University language education school



人文学部
英語英米文学科
2年次生(研修時)

田邊 薫

Tanabe Kaoru



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:ソウル
- 研修期間:
2017年8/1~8/24【24日間】
- 宿泊形態:寮
- 費用概算
<必要な経費>
 - ・研修費(滞在費含む) …… 236,900円
 - ・渡航準備・査証取得費 ……24,540円
 - ・食費 ……40,000円
 - ・交通費 ……16,000円
 - ・その他 ……75,608円
- <合計> 393,048円



テコンドー



韓服体験

研修機関や授業

基本クラスから学ぶ。
文化授業で色々な体験をする。

私は、松山大学で韓国語を履修しておらず全く知識のない状態だったため、最初を実施されるクラス分けテストを受けずに基礎クラスからのスタートでした。授業(座学)は午前中のみの1日4コマの1コマ50分で、2人の先生が日替わりで文法と会話教えてくれます。まずハングルの表を使って文字を読めるようになる訓練から始まりました。表を覚えた後は、自己紹介を教わり、その後は教科書に沿って簡単な文章から習い、単語を覚えていきます。教科書の新しい単語の意味を調べることや、習った単語を使って簡単な文章を作る課題が毎日出ました。また、研修期間中に5回の文化授業と1回の見学授業がありました。1回目は国立中央博物館へ行き課される課題に取り組み、2回目は、梨大で韓国料理(トッポッキ、チヂミ)を作る体験をし、3回目はチマチョゴリを着て仁寺洞や景福宮を回りながらスタンプラリーをし、4回目はテコンドーの体験をし、5回目はテコンドーをベースとしたアクロバットショーを観劇しました。見学授業は、丸1日を使って、韓国民俗村へバスで行き、普段のクラスごとに見学をしました。最終週の授業では読み書き聞き会話の確認テストもありました。

衣・食・住

寮にキッチンがない。
外食が中心の生活。

建国大学の寮は2人部屋でトイレやシャワー、冷蔵庫もあるため快適に過ごせます。しかし、寮にはキッチンが完備されていないため、食事を自分たちで作ることができません。そのため、寮の近くにあるスーパーや、学校内にあるコンビニでご飯を買わないといけませんでした。お湯や電子レンジは寮内にあるため、朝は買ったものを温めて食べたり、カップラーメンなどのインスタント食品をメインで食べていました。大学内には食堂もあるため、お昼は食堂を利用したときもありました。午後は基本的に外に出ていたため、夜ご飯は外で食べる機会の方が多かったです。洗濯については、部屋に干すところがほとんどないため、常に乾燥機を利用していました。日本の洗濯機の4分の1程度の料金ででき、2日に1度は必ずしていましたが、洗濯機の数があり多くないため夜中までかかることも多々ありました。大学内、寮内は基本的にWi-Fiが完備されていたし、出かけるときは日本でレンタルしたポケットWi-Fiを使用していたため連絡を取るのには困りませんでした。地下鉄の環状線を特に利用していましたが、時々ある駅で強制的に降ろされた理由は結局謎のままです。

休日・余暇の過ごし方

休日は基本的に外出したが、
毎日課題にも取り組んだ。

休日はトウミ交流会で知り合ったグループで何度かご飯を食べに行きました。トウミの人が韓国でのオススメの料理や、行きつけのお店などを教えてくれます。あまり有名でない日本で知られていない料理もオススメしてくれました。私は未成年だったためお酒は飲みませんでしたが、ソウルマッコリを飲んだ友達はおいしいと言っていました。その他はクラスメイトと一緒にご飯を食べたり、ショッピングをしたり、今回一緒にこの研修に参加したメンバーでご飯を食べたり、明洞や梨大や高速ターミナルなどで買い物をしたりしました。店に入って食事をするだけでなく、屋台で売ってあるものを食べたりもしました。日本では夏祭りなどの機会しか屋台は出ないため珍しいものでした。また、ソウルタワーやロッテワールド、水族館に行くなど観光をした日もありました。入館料はどこも日本に比べて高かったように思います。余暇は基本的に外に出ていましたが、やはり課題が多かったり授業についていけなかったりしたため毎日必ず課題に取り組む時間を入れて3時間以上は勉強するように心がけていました。雨の日は1日寮にこもって勉強か、部屋の掃除や荷物の整理をしていました。

得たもの・学んだもの

現地で学んだ若者の言葉。
韓国と友好関係を築けた。

私は文化交流を通して、韓国の人と友好関係を築くことができました。研修を通して、韓国の若者文化がなぜ日本で人気を博すのかについて学びました。韓国で生活してみると、日本との文化の違いや、それぞれの良い点と悪い点など、数えきれないほど多くの気づきを得ました。私は当初、「韓国語を学ぶのは、異文化理解のためのひとつの手段」として考えていましたが、現地で生活してみると、教科書で習った言葉と若者が話す言葉は全然違うということに驚きました。言語を学ぶことで、韓国を分析して理解できるということにも興味を持ちました。
韓国には反日感情を持つ人が多いのではないかと偏見を持っていましたが、現地で反日を感じることはありませんでした。私にとっては3週間の研修期間は短かく感じました。研修で見て感じただけで終わりにするのではなく、これからの学びが大事だと思うので、韓国語の勉強を継続していきたいと思います。

後輩へのアドバイス!

その日あったことを日記に書く。
やりたいことを実行する。

私は「リアルな日常表現が話せる!韓国語フレーズブック」という本を持っていきました。簡単な挨拶やフレーズを覚えてトウミ交流会で知り合ったトウミの方や、先生に話してみても表現がおかしいか聞いてもらったりしている間に多少のコミュニケーションはとれるようになりました。トウミの人や国籍の違うクラスメイトに日本の紹介ができると会話のきっかけになるかなと思います。あと、韓国でやりたいことをあらかじめ考えておいて実行したり、その日あったことを日記に書いておくとか後々に立つと思います。看板の文字を読むことや、お店で注文をすることなど、生活をしていると必ず韓国語を使わないといけない場面に出会うことになるため、すぐに慣れます。最初は何も分からずで途方に暮れていましたが、勇気をもって何度も何度も読んだり話したりすることでどんどん留学生活が楽しいものになりました。

もう一言!

世界情勢などをチェックできる
携帯を持ち歩くことをオススメ。

この研修期間中に、韓国で卵の中に殺虫剤が混ざっていたために出荷停止や大量処分になるという事件が起きたり、スペインでテロが発生したりしました。出発前に危機管理セミナーを受けてひたたりや拉致、事故、テロなどから身を守る方法は学んで、警戒はしていましたが、食べ物の危険についてあまり深く考えていなかったことを反省します。研修中はテレビを見たり、ラジオを聞いたりする機会がほとんど無かったために、携帯電話からそういったニュースを見なければ何の情報もない生活でした。Wi-Fiや携帯電話は常に持ち歩いて、常に国の情勢を知ることはとても大事だと思いました。あと、帰りの手荷物についてですが、既定の重量をオーバーしてしまい、飛行機の搭乗時間に間に合わないかもしれないという状況になってしまいました。もう少し時間にゆとりを持って落ち着いた行動をとれるとよかったです。



クラスメイト



トウミ交流会



建国大学

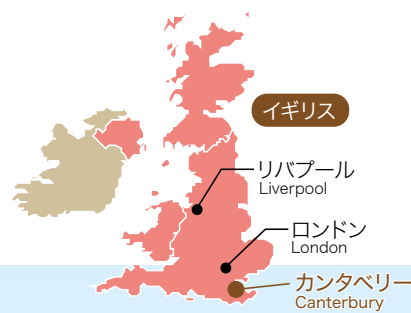


修了式

イギリス

カンタベリー クライスト チャーチ大学

Canterbury Christ Church University



イギリス

リバプール
Liverpool

ロンドン
London

カンタベリー
Canterbury

人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)

井久保 浩輝
Ikubo Kouki



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:カンタベリー
- 研修期間:
2017年4/18~12/15【約8ヶ月】
- 宿泊形態:ホームステイ
- 費用概算
<必要な経費>
・研修費(滞在費含む) 284,000円
・授業料・滞在費 1,765,000円
・保険料(個人加入分) 90,000円
・渡航準備・査証取得費 91,000円
・食費 200,000円
・その他 14,300円
- <合計> 2,573,000円

思い出スナップ



ゼミの先生のご両親を訪ねて



Japanese Society

研修機関や授業

自分にあったクラスで勉強。
楽しんで英語を学べた。

学校は朝の9時から午後3時までであり、朝休憩30分、お昼休憩は1時間です。1時間目の授業は教科書を使って単語、文法を学び、2限目はイギリスの歴史や文学などのトピックを先生が用意してくれます。午後の授業は曜日毎にスピーキング、リーディング、ライティング、リスニングの4技能を集中して学ぶことができ、IELTS(英語運用能力試験)対策クラスの受講も希望により受講することが可能です。私は留学途中にIELTS対策クラスを選択しました。授業では模擬テストの練習をするため、TOEIC対策や、英検の練習にもなります。クラスは少人数制のため、12人程度で、レベル別に分かれています。最初のプレACEMENTテスト(筆記・面接)によりクラスが決まります。私の受けたテストでは、将来の夢に関する作文と、面接試験では大学生活に関する質疑応答でした。クラスレベルに疑問があればクラス替えについても相談できます。私の場合、最初はUpper intermediateレベルでしたが、授業進行が遅く感じられたため、最上級レベルAdvancedのクラスに変更してもらいました。先生は優しく熱心で、ユーモアのある授業のため、楽しんで英語を学ぶことができ、英語力が上がりました。



Lovely host family

衣・食・住

ホームステイ先は、
事前に希望を伝えた。

滞在方法として、寮かホームステイを選択できますが、私は8カ月の全留学期間、ずっとホームステイにしました。というのも、英語を話す機会を増やしたい、またイギリス人の生活を体験したいという思いがあったからです。実際にイギリスと日本における家庭生活を通して、生活習慣の違いも知ることができ、ホストマザーとは「家族」と言っても過言ではないほど、仲良くなりました。Catering LevelはBed & Breakfast+ Kitchenを選びました。そのため夕食は、自炊か外食でしたが、私は自炊を中心とし、ホストマザーが夕食をくれることもあったため、節約にもなりました。カンタベリーにはアジアの食材を扱っている店舗もあり、日本食も作ることができます。

ホームステイで夕食付を選んだ友人は、夜7時頃の夕食のために帰宅しなければならなかったため、夜出かけた時は少し不便な様子でした。ホストファミリーによっては、あまり会話をしない、ルールに厳しいといった家庭もあり、さまざまです。留学先のカンタベリー・クライストチャーチ大学では、ホームステイについて、家族構成やペットの有無、家族のように接してくれるファミリーなど、自分の希望を事前に伝えられるとともに、できる限り希望に合った家族を探してくれるため、快適にイギリス生活を楽しむことができます。 (必ずしも全員が、100パーセント希望通りの家庭にホームステイできるわけではありません。)

休日・余暇の過ごし方

ロンドンへの観光や、
Global Caféなどに参加。

私は留学中、ロンドンへは10回以上行きました。カンタベリー、ロンドン間はバスで1時間です。ロンドンには観光スポットがたくさんあり、1回の訪問では回り切れません。マーケットも週末に開催されており、お土産や、イギリスの骨董品を買い求める人々にはお勧めです。またパブやGlobal Caféといったインターナショナルスチューデントが集まる場所へも行きました。Global Caféは毎週土曜日から午後7時から開催され、会話を楽しむだけでなく、イベントや旅行もあります。外国の友達を作るのには大変良い機会となりました。また、6月には2週間の休暇があります。私は、この間ホストマザーのガーデニングを手伝いながらゆっくり過ごしましたが、この休暇はヨーロッパを周遊できるチャンスです。



クリケット初体験

得たもの・学んだもの

間違ってもいい。
自分の考えを言うことが大切。

英語力はもちろん、自分に自信がつき、何事にも、より積極的に行動するようになりました。イギリスではディベート、プレゼンテーションを行う機会が多かったです。日本では反対意見や、少し異なる発言をすると、周りから批判されることも多々ありますが、イギリスでは反対です。最初は自信がなく、思うように話せませんでした。だまっていたより、たとえ間違っていたとしても何か発言することが大切だ。」とディベートをするたびに学びました。自分は周りと違っていいということに気がつき、自分の思ったことは正直に言い、疑問に思った事はすぐに聞くようになりました。また、健康に気を配るようにもなりました。日本食は体にいいせいか、日本にいる間は健康について一度も考えたことがありませんでしたが、イギリスでは健康に関する話をよく耳にしました。私自身も、イギリス滞在中、揚げ物を採ることが多く、イギリス料理はレポートリーが少ないことに気がつきました。

今回の留学を通じて、将来についてさまざまな方向から意識するようになり、健康についても意識するようになりました。



初ロンドン

後輩へのアドバイス!

英語で日記をつけ、本を読み、
ネイティブが話す英語を学ぶ。

留学中には、英語のスピーキングで伸び悩むことがあるかもしれません。しかし、スピーキング、リスニングについては、私はイギリスにいただけで自然に上がりました。リーディング、ライティングはそうはいきませんので、洋書を読んだり、英語で日記をつけたりする習慣を取り入れると良いと思います。普段から英字新聞や英文記事、洋書などネイティブ向けのものを読んでいると、教科書の英語は簡単に感じるようになり、さらに英語力を伸ばせると思います。また、ライティングも大切です。ライティングはアウトプットの面でスピーキングと似ているため、スピーキング能力の向上にもつながります。新たに覚えた単語や文法をネイティブとの会話の中で実際に使い、正しい使いかた、自然な表現かといった確認もできます。継続する力を付けるためにも、日ごろから読書と日記をつけることをお勧めします。



The British Museumにて

もう一言!

英語と日本語を交互に話すなど、
自分なりの成長方法を見つける。

カンタベリー・クライストチャーチ大学の語学学校は多くの日本人生徒がいます。英語しか話たくないという人にはお勧めしません。私もそれがあまり好きではなく、当初は日本人を避けていましたが、途中から人と人との出会いを大切にしようと思い始めました。日本人は話してみると優しく、おもしろく、国籍や年齢に関係なく話すこと自体が楽しく感じようになりました。今では、日本全国に友達がいいます。また、私は日本語と英語を頭の中で切り替えることの重要性にも気付きました。私はイギリスにいる時、日本語を話した後、英語が話しにくいという事に気付きました。日本人である以上、日本語は話さなければ、逆に日本に帰った後、すぐに自分の英語を失うと思い始めました。そのため、ひたすら友達と話す中で、日本語と英語を話す相手によって交互に使い分ける練習をしました。そうすると、さらに英語力が定着、向上しました。

留学を通して得られるものは、自分の姿勢で変わってきます。この機会に自分だけの留学を体験し、自分なりの成長を遂げてみてはどうでしょうか。

アメリカ合衆国

ILSC サンフランシスコ校

ILSC Language School San Francisco



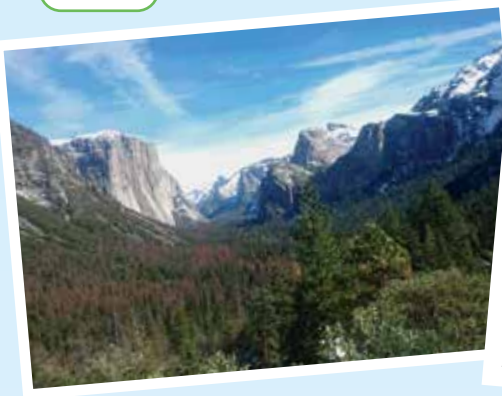
経営学部
経営学科
2年次生(研修時)

和泉 麻菜美
Izumi Manami



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:サンフランシスコ
- 研修期間:
2017年2/13~3/10【26日間】
- 宿泊形態:ホームステイ
- 費用概算
<必要な経費>
 - ・研修費(滞在費含む) 491,648円
 - ・食費 10,000円
 - ・交通費 11,220円
 - ・通信費 7,400円
 - ・その他 117,840円
 - 助成金支給額 400,000円
- <合計> 自己負担額 238,108円



世界遺産 ヨセミテ国立公園



ホストファミリーとその親戚たち

研修機関や授業

ビジネス英語は
この先役に立つ内容だった。

ILSCサンフランシスコ校は、比較的アジア人が多いように感じました。もちろん、ブラジルやフランス、エジプト、など日本から遠い国の生徒もいて様々な人に出会える学校でした。学校は、ダウンタウンに位置するため放課後どこに行くにも便利でした。クラスは初日に行われるテストのあと、学校の人と何を重点的に勉強したいかを相談し、それらを考慮した上でレベル別に分けられます。1限は主に文法対策とTOEFL対策から選べます。2限はコミュニケーション対策とビジネス英語から選べます。そのため、1,2限でクラスメイトも先生も変わります。マンネリ化することなく授業を受けることができました。私は、TOEFLを受験する予定がないため1限で文法対策を選択し、2限は私が経営学部であることを考慮してハイレベルではありましたがビジネス英語を選択しました。文法対策のクラスは、これまで習った文法を英語で学ぶ授業内容でした。ビジネス英語のクラスは企業家についてプレゼンテーションしたり、自分のビジネスプランを考えてディスカッションしたりという授業内容でした。難しかったですが、刺激的で、この先役に立つ内容だと思いました。



サンフランシスコ感

衣・食・住

ホストファミリーを見て
チップの払い方などを学ぶ。

私のホストファミリーは、フィリピン系の家系でした。そのため、食事もほとんどがフィリピンの料理でした。日本では、出会う機会の少ない食事に最初は戸惑いましたがホストマザーは料理が上手で毎度おいしくいただきました。また、ファミリーは外食も多く、ウエイトレスとの接し方、チップの払い方などを見て学ぶことができました。その後、実際に友達とレストランに行きウエイトレスと会話しチップ払う経験もできました。見て学んだことをすぐに実践できることは留学の醍醐味の一つではないかと思いました。サンフランシスコの朝夜は、想像以上の冷え込みで現地でコートを購入しました。しかし、研修期間中に風邪を引いてしまい、日本から持参した薬に頼りました。「備えあれば患いなし」ということわざを実感しました。また、風邪を引くと声がこもり英語が伝わりにくくなったので悲しかったです。ホストファミリーの家は学校から車で50分のところに位置し、初めのうちは長い通学時間が嫌でした。しかし、土地勘が出来てくると学校から寄り道して帰宅する余裕もできたので楽しめました。



ルームメイトのように
仲良くなった
ホストファミリーの親戚

休日・余暇の過ごし方

道に迷っても、人に聞くことで
勉強になった。

休日、余暇はできるだけ外出することを心がけました。せっかくアメリカに来たのに、家の中ではつまらないからです。ILSCサンフランシスコ校は週末のアクティビティもあります。しかし、私は参加しませんでした。私はガイドブックで調べたり、友達から情報を集めたりして自分の行きたいところに行きました。具体的には、ヨセミテ国立公園やウォルトディズニー・ミュージアムやサンフランシスコプレミアムアウトレットなどに行きました。私はポケットWi-Fiを持参しなかったため、事前に行き方を調べたり、ホストファミリーに教えてもらったりしました。それでも迷うことはありました。その際は、通行人やバスの運転手さんに尋ねることで目的地にたどり着きました。道に迷っても会話する機会が増えるだけなので、私はポケットWi-Fiがなくてよかったかなと思います。また、私のプログラムは、前中に授業が終わるので午後の時間が多くありました。午後は、市内の観光をしたり、課題をしたり、ルームメイトと事前に約束してカフェに行ったり

有意義な時間を過ごしました。市内は電車とバスでほとんどのところへ行けるので便利でした。

得たもの・学んだもの

日本の常識は常識でないこともあるとわかった。

英語を第二言語とする人の訛りに触れ、聞き取れるようになりました。Harvard Business Reviewが発表した数値によると実用レベルで英語を使っている人口は全体に対して25%です。残りが英語を第二言語としていることになるので、非ネイティブスピーカーとの会話も大切だということがわかります。しかし、日本でそのような人と英語でコミュニケーションをとる機会はありません。今回の研修では貴重な体験ができました。また、ILSCサンフランシスコ校は、国籍だけでなく年齢層の幅も広がったです。そのため、元デザイナーや元エンジニアの人もいて、私の知らない世界の話を聞くことができました。話の内容はすべてが刺激的でした。日本で生まれ育った私は日本の常識が常識だと思っていましたが、必ずしもそうとは限らないことに気づかされました。このように視野が広がったことは、大切な自分の財産になりました。

後輩へのアドバイス！

日記を書くこと。
キャッシュパスポートも持参。

私は、日記を書くことをお勧めします。海外での生活は毎日が新鮮で刺激的でした。これまでと違う環境で生活すると発見や変化があります。そらは一つ一つが貴重です。面倒でもその日に感じたことや学んだことを細かく記録しておくことで帰国後も滞在中のことを思い出し、語学学習のモチベーション維持につながると思うからです。また、キャッシュパスポートを持参することをお勧めします。キャッシュパスポートはお金が足りなくなったときに日本からでも入金できます。せっかくの留学先で残金を気にしすぎて、やりたいことが出来なかったり、買いたいものが買えないともったいないです。多くの現地人はカードを使って生活していました。現地の生活に溶け込むためにもキャッシュパスポートを持参して損はないと思います。はじめのうちはカードに対して抵抗がありましたが持参してよかったです。

もう一言！

行く国で普及している
SNSに登録しておく。

渡航前にできるだけ世界中で普及しているSNSのアカウントを作っておくと思います。特に自分の研修国ではどのSNSアプリがよく使われているか事前に調べ、アカウントを作っておくと便利だと思います。具体的にはFacebookの普及率が高いように感じました。私の場合Viberという無料電話、メッセージアプリのアカウントをアメリカで作ろうということになりました。しかし、日本のメールアドレスに必要事項が送信されるためアメリカでViberのアカウントを作ることができませんでした。研修中にホストファミリーと連絡を取るためにも、研修国で主流のSNSアカウントを作っておくことをお勧めします。また、学校には様々な国の人がいます。せっかく留学先で友達になった人と帰国後も近況を報告し合えるのはSNS普及のメリットです。このメリットを活かさない理由はないのではないのでしょうか。



ゴールデンブリッジ



学校の友達

オーストラリア

LSI シドニー校

LSI Sydney



人文学部
英語英米文学科
2年次生(研修時)

加藤 沙綺
Kato Saki



研修機関や授業

教科書で勉強した問題は、オンラインで復習。

授業は、主に最初のクラス分けテストで分けられた少数人数で行われます。私が受けた週31レッスンコースは、その学校でのフルタイムだったので、9時から16時まで授業があります。午前中のクラスは、クラスに合った教科書を使って、主にひとつのテーマについてクラスの人々と意見を交換したりします。また研修の最後のほうには、1人1人みんなの前でプレゼンを行いました。プレゼンの準備は主に家で自分で考えてきます。午後の授業は2コマあって、自分の苦手な分野を選択して受けることができます。私は発音・会話・スピーキングのコースを選びました。どちらも楽しく英語を学ぶことができるようゲームなどを交えた授業でした。また、学校のインターネットサイトで勉強できるところがあるので、自分のパスワードなどを入力してログインすると、インターネット環境があるところだと、どこにいても文法・リスニング・語彙の問題を受けることができます。問題は、主に教科書で勉強したところで習った単語や内容が基に作られているので、授業を受けた後にこのオンラインの問題をすると凄く良い復習になります。



海で

衣・食・住

お昼以外は、ホームステイ先での食事。

私が行ったのは、ちょうど夏から秋の変わり目だったので服装は半袖の日もあれば、少し肌寒く感じるときは長袖も着ました。とても過ごしやすい気候だったと思います。食事は、お昼以外ホームステイ先のごはんです。いつもホストファミリーが美味しいご飯を作ってくれます。行く前は野菜はそんなに採れないかもしれないと思っていたけど、全く逆でたくさんの野菜や果物を食べることができました。とても新鮮なもののばかりだったので、すごくおいしかったです。また昼は、学校の異国の友達とその国の美味しいお店に食べに連れていってくれたりしました。ホームステイ先はとても親切なところで、色々な経験をさせてくれました。親戚のおじちゃんや誕生日パーティーやBBQなどたくさんの人と出会うことができました。毎日帰ってきたら、今日は何をしたの?とか何の勉強をしたの?とかを話しかけてくれます。また、私が質問したことに対してもしっかりと説明してくれます。私が言葉に詰まってもきちんと答えてくれるまで優しく待ってくれたり助けてくれたりしました。帰る日には私のために、たくさん料理を作ってくれて見送ってくれました。本当に充実した3週間でした。



帰り道

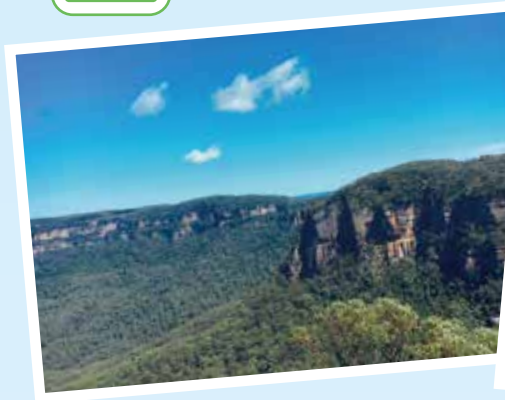
STUDY ABROAD DATE

- 都市名:シドニー
- 研修期間:
2017年2/27~3/17【19日間】
- 宿泊形態:ホームステイ
- 費用概算
<必要な経費>
・研修費(滞在費含む) 351,670円
・渡航準備・査証取得費 10,000円
・食費 20,000円
・交通費 30,000円
・通信費 30,000円
・その他 157,520円
助成金支給額 377,980円
- <合計> 自己負担額 199,190円

休日・余暇の過ごし方

土日はクラスメイトと観光。英語だけを使って話した。

観光をするなら休日しか行くことができないのでほとんど土日は観光をしていました。ずっと行きたかったオペラハウスにも行くことができました。実際に中でオペラも聞くことができました。初めてのオペラは本当にすごかったです。他にも色々な観光地に行きました。動物園では日本で見ることのできないコアラやカンガルーをすごく近くで見ることができたので良かったです。自分のクラスメイトと行ったので、異国の人もいます。日本人もいましたが、皆でいるときはずっと英語を使って話しました。集合時間などの連絡を取るときも、ずっと英語を使うので、日々の中で英語に触れる機会がたくさんありました。また、学校の中で申し込めるツアーにも参加しました。英語のツアーだったので、聞き取れないところもありましたが、色々なオプションもついていて、自分たちでする観光もいいけど、ツアーでいくのもとても楽しかったです。オーストラリアは2月、3月はとても観光客の多い季節なので、色々な国のひとがたくさんいました。どこにいてもたくさんの人がいたので、やはりシドニーはオーストラリアの中でもすごく観光地なんだと改めて感じました。



ブルーマウンテン

得たもの・学んだもの

上手く英語を喋れなくても伝えようとするのが大事。

この研修で得たものは、英語を話すことは本当に大切だということです。たくさんの違う国の人が集まって、それぞれ自分の母国がある中、英語を話すことでコミュニケーションをとることができます。全く文化も生活も違う国の人とたった一つの言語で共有しあえることは本当に素晴らしいことだと思います。私にとってこの留学は初めての海外でした。行く前は不安ばかりでしたが行ってみると本当に毎日毎日が刺激的で、楽しくて帰るのが寂しくなるくらいオーストラリアが好きになることができました。色々な国の人と出会って思ったことは、そんなに上手く喋ることができなくても、伝えようとする気持ちや自分から喋ろうと頑張る努力をすれば、気持ちを伝えあうことができるということです。オーストラリアのことだけでなく、そこに来ている色々な国の人と話をする中で、違う国のことも知ることができます。色々な発見があります。日本を出て、異国で生活をして新しいものに触れることは本当に大事なことで身に染みて感じました。



ホストファミリーの家でパーティ



クラスの人々

後輩へのアドバイス!

留学を迷っているなら絶対行くべき。

私が後輩にアドバイスをするなら、留学に行くのを少しでも迷っているなら、絶対に行ったほうがいいということです。私も初の海外は不安だし、迷ったりもしたけど本当に行ったら良かったと思います。行くなら早めに行ったらいいと思います。実際に行くことで、自分の喋れなさや気付くことができたし、もっと英語を頑張ろうというきっかけにも繋がります。後、一番思ったのは、日本だと英語を勉強するときは、TOEICの勉強とか文法とかばかりが重視されている気がするけど、海外に行くならスピーキングが1番大事だと改めて感じました。なので、行く前は日常でよく使うフレーズや、困ったときに使えるフレーズなどある程度は喋れるようにしていくとより充実した留学ができると思います。参考になった文献としては、行く1週間くらい前に買ったダイソーに売っている旅で役立つ日常英会話が書いてある本が意外と役に立ちました。お店で、空港で、滞在先で、などジャンル別に書かれてあったので一冊あるとすごく心強かったです。

もう一言!

日本との違いを予め調べておくのと良い。

インターネットは渡航前に日本の会社でポケットwifiを借りていました。ホームステイ先の家では無料でインターネットを貸してくれました。学校も無料のwifiが通っていたので困ることはほとんどありませんでした。ただ、私は必要なかったのですが、携帯にSIMカードというのを入れてなかったら、海外で電話を利用することができないので長期滞在の人は行く前に確認しておくことが大事だと思います。ホストファミリーと連絡をとるときは、相手の方にLINEをインストールしてもらってwifi環境のあるところだと電話や連絡をとることができるので私はLINEを利用していました。学校への行き方も、入学する前にホストファミリーに乗るバスや電車のことを聞いておいて、マップを確認したり値段や支払い方法を予め調べておきました。バスの乗り方は日本と違って乗りたいならバス停で手を挙げて、降りるときも自分のバス停が近くなったら降車ボタンを押す必要があります。国によって色々違うので調べてから行くのが大事だと思います。



卒業

ニュージーランド ランゲージズインターナショナル

Languages International



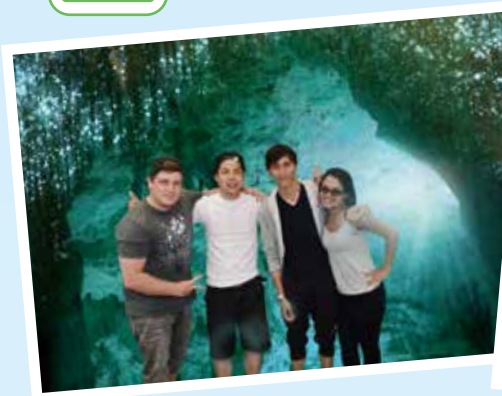
人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)

岩本 諒
Iwamoto Ryo



STUDY ABROAD DATE

- 都市名: オークランド
- 研修期間:
2017年2/7~3/17【39日間】
- 宿泊形態: ホームステイ
- 費用概算
<必要な経費>
・研修費(滞在費含む) 572,000円
・渡航準備・査証取得費 36,000円
・食費 50,000円
・交通費 20,000円
・その他 6,000円
助成金支給額 400,000円
- <合計> 自己負担額 284,000円



ホームメイト



ジャパニーズフェスティバル

研修機関や授業

学校は公園の一部のようで、授業に集中しやすい。

初日にこの学校に来たときの第一印象は、立地場所が最適だということです。というのも、オークランド市内にありながらも、そこは公園の一部という感じで、とても授業に集中しやすいということです。登校日初日に受けたクラス分けテストでは、担当者から説明を受けた後にまず、文法のテストが50問あり、その次に終わった順で先生とのスピーキングテストが行われました。スピーキングテストの終わりの際に、先生の方から自分のレベルにあったクラスを選んでもらいました。クラスはアドバンスからビギナーの八つに分類されました。それぞれに三つほどクラスがあるので、クラスの人数が多すぎるということはありませんでした。施設の中にはラーニングセンターというところがあり、ここでは生徒が勉強をしたい時に使えるのでとても便利です。また、この中にはライブラリーなどもあり本を借りることや、映画などDVDを観て楽しむこともできました。一階にはラウンジと言われる広い休憩スペースがあり、お昼や放課後に集まって食事をしたり、卓球をしたりと楽しみました。



ホビットン観光

衣・食・住

食や文化の違いに驚き。気候は快適。

ホームステイ先は、バスで研修校まで50分とかなり個人的には辛かったのを覚えています。また、現金の場合だと片道400円もかかってしまうので、カードを買いましたが、それでも250円はかかってしまいました。月間バスなどは滞在期間が6か月以上でないといえないということで、2週間に1度は近くの受付のところでカードにチャージをしていました。食事の方は、到着したその日に色々と説明があり、飲食したい時には許可を取らずに食べてもいいとのこと、ほかの家庭とは少し違ってみたいですね。それなので、朝食は基本的に自分で作るという感じでした。夕食は6時から7時頃で、たまにライスがでますが日本のお米とは違って、美味しいとは言えませんでした。食事のほとんどが鶏肉か羊肉で、あとは野菜やポテトを蒸したものが多く出てきました。とにかく野菜を食べるイメージがなかったので、量の多さに驚きました。気候は南半球なので日本とは逆で、向こうはちょうど夏だったので快適でした。しかし、風が強い日が多く、雨が降ったり降らなかったりと少し変わった天候でした。

休日・余暇の過ごし方

フェスティバル、ツアー、アクティビティなどに参加。

休日は毎週のように新しい友達ができました。私が到着した2月に、オークランドフェスティバルというものがあり、週末になると盛大な祭りが行われていました。チャイニーズフェスティバルやジャパニーズフェスティバルもあり、その国の食べ物や文化が体験できるいい機会でした。また、学校主催のツアーなども多く、金曜日から日曜日にかけて3日間を要するツアーなどもあれば、土曜日だけなどの日帰りツアーもありとても充実していました。値段の方も個人的に良心的だったと思います。週末だけではなく、放課後に気軽に参加できるアクティビティや観光などもあり、色々に参加しました。水曜日には、ビールが半額になるので毎週水曜日は必ずみんなでバーに行きました。その際に必ず身分証明書の掲示を求められるので、パスポートは持ち歩くようにしていました。ホームステイ先にもありますが、週末になるとどこかに連れて行ってってくれることがあります。私のホームステイ先では、観光名所であるワイトモケーブに連れて行ってもらいました。ほかのホームメイトと交流する良い機会になりました。



映画鑑賞

得たもの・学んだもの

人間関係は挨拶が大切。物事の考え方が大きく変わった。

私が今回の研修で得たものは、英語の知識はもちろん人間性や物事の考え方などが大きく変わったと思っています。よく言われる、世界を見るというのはこういうことなのかと実感しました。南米、ヨーロッパ、中東などの異国の文化に触れたりすることで、色々と感じることがありました。また、フェイスブックなどを通して多くの人と友達になることができ、研修を終えた後でも連絡が取れるというのは私にとって大きな財産になったと思っています。人間関係においても、やはりまずは挨拶が大切で、そのあとにちょっとした会話を挟んでいくというような感じでした。最初はみんなフレンドリーすぎるとか勝手に思っていたのですが、時間が経つと自分から話しかけたりして、少しは自分の性格も変わったかなと思いました。それと英語に関していえば、スピーキングが伸びたように個人的には思いました。



授業最終日

後輩へのアドバイス!

Wi-Fiがあれば便利。アプリにも便利なものがある。

ここでは自分が経験したかなり危険なことについて話したいと思います。その日は学校終わりに友達と飲みに行っていたのですが、乗るべきバスの最終便の時間を勘違いしてしまい、乗り過ごしてしまいました。Wi-Fiも契約していなかったの、とにかく停車してくるドライバーに尋ねました。そのおかげでなんとかホームステイ先近くまで来ましたが、そこがどこかも分からず、暗い道をただ歩き続けました。幸いにも、いつもの通学路に出てなんとか家にたどり着きました。時計は深夜12時を回っていました。もしこっちでWi-Fiが使えるなら、グーグルなりで検索でき危険性も減っただろうと思いました。そのほかには、ユーバーというアプリがおすすめです。日本では全然知られていませんが、海外では周りがみんなと言っていいほどこのアプリを使っていました。これはタクシーのようなものですが、値段が安いというもので、かなり有効的だと思いました。

もう一言!

問題が起きたら、ホストファミリーに相談。

私は風邪薬などのものは日本で購入してもっていきました。実際に現地の薬局にいき色々を見てみましたが、もちろん表記は英語ですし、専門用語も多く使われており、かなり苦労すると思いました。また、海外製のもののなので、個人的にあまり信頼できないということもあり、予め買っておいて良かったなと思いました。石鹸やシャンプーなども同様に日本で買って持っていきました。それと、向こうは土足ということもあって、家の中はあまり清潔とは言えませんでした。そのこともあってか、ノミなのかダニなのかわかりませんが、朝起きると体を数か所刺されたりもしました。クラスの友達も同様の症状があり、この手の問題はよくあるみたいでした。すぐにホストファミリーに相談し、シーツ類を替えたり、部屋を掃除したりとなんとか事態は収まりました。このようなことが起こった場合は、真っ先にホストファミリーに相談することが必要だと思いました。

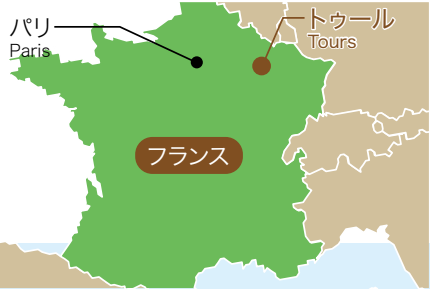


学校終わりのバー

フランス

トゥレーヌ語学学院

Institut de TOURAINÉ



人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)

野村 真椰
Nomura Maya



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:トゥール
- 研修期間:
2017年2/6~2/24【19日間】
- 宿泊形態:ホームステイ
- 費用概算
<必要な経費>
 - ・研修費(滞在費含む) 403,000円
 - ・食費 11,600円
 - ・交通費 1,000円
 - ・通信費 9,300円
 - ・その他 13,300円
 - 助成金支給額 360,000円
- <合計> 自己負担額 78,200円



ロワール川



クラス写真

研修機関や授業

コミュニケーションには
会話が大切と感じた。

学校の雰囲気はとてもよく様々な国からたくさん
の留学生が来ていました。私の通っていたトゥレーヌ語学学院は100年以上の歴史があり建物もとても立派でした。先生方もとても優しく、毎月学校でアクティビティも行っており費用も安いので活用すれば新しい友達ができたりもします。私のクラスはアラブ系やアジア系、ヨーロッパの人合わせて十数人でした。皆授業に対して積極的に勉強熱心なクラスメイトばかりでとてもいい刺激を受けました。授業は会話・文法がメインで全てフランス語での授業だったためついていくのに必死でした。先生はとても優しく分からないことがあればその場で聞き、クラスメイトもわかりやすく説明してくれたりしてできるだけ電子辞書に頼らずフランス語かもしくは英語で理解しようと頑張りました。文法の授業は日本でやっていたことと変わらなかったですが発音するのが難しく、リスニングも聴き取れなかったりで苦労しました。文法はできてもコミュニケーションをする上では会話が求められるのでネイティブの授業の大切さも身に染みて感じました。



一番大きなお城

衣・食・住

学生が多く住む町。
とても過ごしやすい環境。

私はホームステイをしていたため、ホストファミリーが朝晩ご飯を提供してくださり味も申し分なかったです。朝ご飯はパンとコーヒー、ヨーグルト、果物などたくさん用意してくれていたため毎日おなか一杯でした。晩御飯はマダムが作るフレンチ料理を皆で会話しながら1時間かけて食べていました。昼ご飯は学校の自動販売機で売っているお菓子か近所のスーパーマーケットでパンやパスタを買っていました。近くにはお手軽なレストランなどもありとても学生が多い町なので不自由はなかったです。ホームステイ先の部屋も1人部屋だったため快適に過ごすことができ勉強もできる環境でした。お風呂はシャワーだけでしたが水圧も日本と変わらなくさほど困ることはありませんでした。洗濯は1週間に1回だけでしたが綺麗に洗濯してくださったのでいつもしわもなく至れり尽くせりでした。学校も電車を使えば15分くらいなので交通の便もよかった町でした。治安も大変よく街行く知らない人でも挨拶をしてくれ、お店の定員さんもとても親切でした。



街のパン屋さん

休日・余暇の過ごし方

フランスの首都だったトゥール。
多くの世界遺産を見て回る。

休日はあまり遠出せずに近場を歩いたり、庭園がたくさんあったので友達と歩いて回っていました。トゥールは結構都会でなんでもあるという印象でした。パリへ行くにも1時間少々で電車で行くことができ周りの友達も結構行っていました。またこの街は昔フランスの首都だったので多くのお城や世界遺産が残されていてとても幻想的な街並みでした。城めぐりのツアーも多くあり、1度友達と旅行会社を使ってお城めぐりをしました。とてもリーズナブルでガイドもついていて1日で4つの城をめぐることができ大変満足しました。学校近辺には雑貨屋さんや服屋さんなど多くあり、授業が早く終わったりしたときなどはウィンドーショッピングをしたりして買い物を楽しんでいました。そしてトゥールの顔ともいわれる大きな大聖堂も近くにあったので何度か訪れました。ステンドグラスがとてもきれいで、夜になるとライトアップもされ、さらに神秘的な雰囲気になります。レストランも様々な国のレストランがあり、日本食レストランも多く見受けられました。フランス人は晩御飯の時間がとても遅いのでどのレストランも夜は7時からオープンする

ことが多いです。

得たもの・学んだもの

ホストファミリーとの思い出や
他の国のことが分かった。

文法の授業ばかりを重視していたため会話力が皆無と言っていいほどできておらず、ホストファミリーが言っていることを理解するのに時間がかかり大変な思いをしました。ネイティブが話すフランス語は日本の授業で聞いたことのない単語ばかり出るため毎回話をすることが苦痛でした。ホストマザーもホストファザーもフランス語しか話せないため分からないことがあれば身振り手振りで伝えようとしていたり、それでも無理なら書いてもらうようにしていました。そんな私の語学力の低さでもホストファミリーはとても優しく、一緒に日本料理を作ったことも思い出の一つです。また学校では、バックグラウンドが違う人々が集まり国際色豊かなクラスメイトと仲良くなることができ授業と一緒に楽しむことができよかったと思います。勉強だけでなくほかの国のこと、同じアジアでも大きな違いがあったり様々なことを学びました。フランス語に対してこれからも頑張ろうと思えるいい留学体験でした。



街の顔の市役所

後輩へのアドバイス!

実践力のあるフランス語が必要。
現地ではフランス人になりきって。

やはりなんといってもリスニング力と会話力が重要だと思います。私も書くことはできてもそれを発音するのが難しかったりネイティブのスピードについていくのが必死でした。なので日本にいるときからネイティブとフランス語で話すことを心がけたり日々癖づけていかなければ街へ出たときお店の人が何言っているか皆目見当もつかないということになり兼ねません。単語力も大事なので単語帳はマストです。電子辞書も使ってはいいいけれど必要最低限にし、わからなければ先生に聞くなりコミュニケーションを大事にしました。やはりアジア人は文法メインで授業をやっているので実際使えるフランス語が少ないことに気づかれます。実践力のあるフランス語を日本にいるときから身に付けてほしいです。そして郷に入れば郷に従えということわざがあるようにフランスにいるならば返答や仕草もフランス人になりきってその場を楽しんでほしいです。

もう一言!

挨拶をきっちりする印象。
日本の文化も知っておくべき。

街の治安はとても良かったのですがたまにホームレスや難民の人が道端にいて少し怖かったです。しかしフランス人はそんなホームレスの人たちにとっても優しく声をかけていたりお金をめぐんでいるのを見て日本と全く違うなという印象を受けました。街中はWi-Fiも繋がらなかったりで学校からスターバックスでWi-Fiは繋いでいました。またフランス人は挨拶をきっちりするので挨拶されたら必ず返すように心がけ、店を出るときも挨拶はしっかりしていました。お話し好きという印象も受けたので常にカフェではフランス人が話している印象でした。そしてフランス人はとても日本の文化が大好きなのでいたるところで漫画や日本のアニメ、日本の専門店をよく見ました。よく日本について聞かれることもあったので日本のこともちゃんと知っておくべきだと感じました。



中世の建物

スペイン エンフォレックス

Engorex



人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)

重松 沙也加
Shigematsu Sayaka



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:マドリッド
- 研修期間:
2017年2/6~2/24【19日間】
- 宿泊形態:ホームステイ
- 費用概算
<必要な経費>
・研修費(滞在費含む) 326,040円
・食費 10,000円
・交通費 32,700円
・通信費 505円
・その他 25,000円
助成金支給額 302,030円
- <合計> 自己負担額 92,215円



Mercado de San Miguel



Mi companeros de clase

研修機関や授業

会話を重視した授業。
毎日小テストがある。

機関は、LANGUAGE STUDIES Internationalマドリッド校(LSI)。授業は月曜日から金曜日で時間は9:00~10:50、11:10~13:00の2つに分けられ先生も別。初日はレベルチェックテストがあるため8:00学校集合で筆記試験と先生と一对一のスピーキングテストを受けます。テスト終了後は教科書を渡されそのまま分けられたクラスで授業。9:00~の授業は昨日の出来事について一人ずつ話し、先生(女の先生)が内容を掘り下げとにかく会話するというものでした。会話で出てきた難しい単語を先生がホワイトボードに書き出し説明してくれます。次に教科書の内容に入り問題を解いていきます。リスニング問題も毎日解きます。11:10~の授業も最初は同じで、先生(男の先生でした)に昨日の話をします。その後、前日の授業内容の小テストをします。毎日あります。前の授業の続きから教科書の内容を進めることもありましたが、ほとんど先生がホワイトボードに書いた内容をノートに写し、先生が作った問題を解くというものでした。この授業では自分一人で問題を解くのではなく、二人組を作り話し合うように言われました。



Amigos

衣・食・住

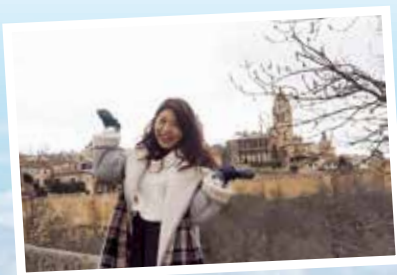
足りないと感じた野菜は
自分で買って補った。

行く前に調べたところマドリッドの気温は日本とあまり変わらなかったため服は普段日本で着ているものをそのまま持っていきました。手袋も一応持っていきました。(寒かったので持って行って正解でした)日差しが強い日もあるのでサングラスは必要です。食事は、朝食は毎日パンだけで、自分で焼いて好きなものを塗って食べます。夕食はホストマザーがプレートに一人一人分けて出してくれてマザーとルームメイトみんなで食べていました。スペインの夕食の時間は遅く、21:00からでした。みんな食べながら会話を楽しむので夕食が終わるのはだいたい22:30くらいです。ある日はスープと油で揚げた肉とパン、またある日はクリームコロッケ5個とトマト、など私の家ではほとんどサラダは出ませんでした。栄養が偏るので昼食はサラダバーへ行ったりスーパーマーケットで野菜を買って食べるようにしたり自分で工夫して食べていました。外で友達と食べることもありましたが、値段は日本のレストランと同じくらいでした。バルが安くて美味しいのでおすすめです。私の部屋は勉強机が壊れていたため家でほとんど勉強できませんでした。洗濯は週末マザーがしてくれていました。

休日・余暇の過ごし方

休日は観光をして、
現地のの人との会話を楽しむ。

マドリッドは16世紀に強大なスペイン帝国の都となって栄え、今も政治経済の中心であり、街は活気で満ち溢れています。室内で勉強することも大切ですが外へ出て、現地の人と話したり文化に触れたりすることもとても重要だと思いました。授業終わりはクラスメイトとそのまま昼食を食べに行ったり、残って勉強したり、観光をしっていました。ピカソの「ゲルニカ」やゴヤの「裸のマハ」など一度は教科書で見たことがある名画を学生証(日本の学生証でもいけます)があれば学割がきいて無料で入れるので本当におすすめです。平日の授業終わりがベストタイムです。他にはメトロを使い、マドリッドの中心地「Puerta del Sol」へ行き、買い物をしたり、1894年創業の老舗「San Ginés」でチュロスを食べたり、バルへ行き食事を楽しんだりしました。Solへ行けば大体のことは出来ます。週末はバスに乗って少し離れたセゴビアやトレドへ行きました。マドリッドとはまた違う雰囲気、街全体が世界遺産に登録されているのでどこを歩いてもおとぎ話に出てきそうでした。現地の人とたくさん話せるいい機会なので休日は是非観光を楽しんでみてください。



Segovia

得たもの・学んだもの

恥ずかしい思いをしてもいい。
今そこでできることを楽しんだ。

スペインへ行き一番驚いたことは、みんな話すスピードがとても速いということです。速いうえによく話すので話し出したら止まりません。日本で文法中心に勉強をしていた私にとって聞き取りは最初の一週間とてもキツイものでした。そんなときに6人の小さなクラスで、年齢もバラバラだったけれどクラスメイトが優しくサポートしてくれました。家でマザーと会話に困ったときは、言いたいことを下書きしたものを読みながら伝えたり、学校の行き帰りはラテンの曲を聴いたりしていました。スペイン語に関して出来ないことや通じないことに悩むより今私ができることを目一杯やろうと思いました。もう会うこともないだろう道行く人に積極的に無駄に時間を聞いたり、店の名前を聞いたり、声をかけまわりました。恥かしい思いをしても別にいい。と思い、スペインの空気、人たちの時間、街の雰囲気、流れている音楽、今そこでしか楽しめないことを一つ一つ味わいました。自分から動かない限り何も変わりません。行動に移すことによって自分の自信にもつながったと思います。



Toledo

後輩へのアドバイス!

言いたいことは
大きな声でハッキリと。

単語や文法の復習をしておくことも大事ですが、会話やリスニングをしておくことが大切だと思いました。リスニングは毎日数分でもいいので聞いておくべきです。学校にはヨーロッパ圏の生徒が多いのですがイタリア語などスペイン語と似ているので大体の人が話せます。そこで焦ってしまうのではなく、短い期間で自分に何が出来るのか、できないこと分らないことがあるのなら絶対にそのままにせず、誰でもいいので聞いてください。スペインの人は言いたいことはハッキリ言いますし、(もちろんキツイことも)声の大きさも大きいです。言いたいことがあるのに何も言わなかったら放っておかれます。日本の心を持っておくことも大切ですが『郷に入っては郷に従え』と言われるように、スペインの環境に自分を合わせることはとても大切です。自分の意見をしっかり持ち大きな声で相手に伝えてください。不安も多いかと思いますがスペインは明るくパワフルで楽しいこともたくさんあります。帰ってきたら行く前とは違う自分にきっと出会えるはずですよ。楽しんでください!



地元で愛されているmuseo del jamon

もう一言!

油断は禁物。現地に慣れた頃は
特に気をつけて。

学校にも家にもWi-Fiは通っているので不便なことはありませんでした。ありすぎて携帯に頼りすぎるので持っていくほどではないと思います。スペインではまさかの出来事も多く、シャワーが水しか出なくなって片道20分かかる友達の家に借りに行ったり、急に停電になったり、我慢せざるを得ないこともありましたが、だからこそ、そんな時にどう動けばいいのか、機転の利いた行動を求められ、いつしか対応できるようになりました。最初の一週間は時差や環境に慣れるのに精一杯になりますが二週間目からは慣れてきます。それは安全面も同じで油断してしまいがちですが、周りには危険が常にあるということは絶対に忘れないでください。油断しているとすぐに気づかれターゲットにされてしまいます。油断は禁物です!分からないこと、不安なことがあれば国際センターを利用したり、先輩に話を聞いたり、私でよければアドバイスできることは何でもしますのでいつでも声をかけてください。皆さんにとって良い留学生活になりますよう願っております。

アメリカ合衆国

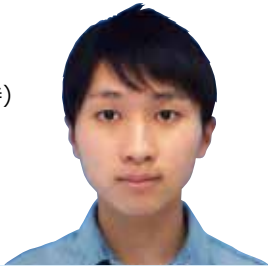
LSI サンディエゴ校

Language Studies International San Diego



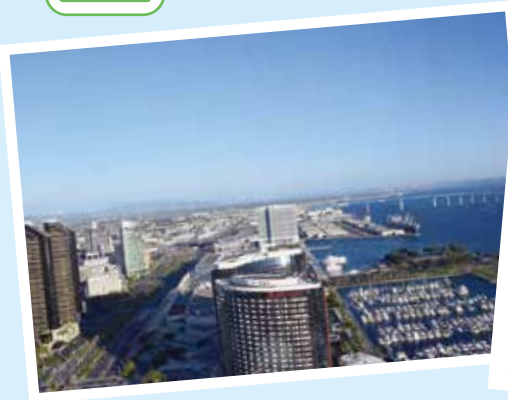
経営学部
経営学科
2年次生(研修時)

岡本 直樹
Okamoto Naoki



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:サンディエゴ
- 研修期間:
2017年8/21~9/15(26日間)
- 宿泊形態:ホームステイ
- 費用概算
<必要な経費>
 - ・研修費(滞在費含む) 510,000円
 - ・渡航準備・査証取得費 13,000円
 - ・食費 40,000円
 - ・交通費 8,000円
 - ・その他 81,000円
 - 助成金支給額 400,000円
- <合計> 自己負担額 252,000円



ハイアットホテルからの一望



サンディエゴ動物園にて

研修機関や授業

英語力や人数の都合で
クラスメイトは良く変わる。

授業を受けるクラスは初日に受けたテストの点数から振り分けられます。しかし、授業のレベルが合っていないと思ったら変えてもらうこともできるみたいです。私が受けた授業内容は主にリーディング、リスニング、ライティングで授業時間が余った場合は英語を使ったゲームをします。クラスメイトは全員でいたい15人で、中国、韓国、インド、サウジアラビア、イタリア、ブラジルなど様々な国の人間がいます。私のクラスの日本人は3人でした。いつでも発言は自由で、気になったことがあればすぐに質問します。質問のタイミングが難しくても、先生が1項目ごとに質問タイムを設けてくれるので気軽にできます。ホームワークは1週間に3回あり、どれも翌日にチェックされます。テストは各毎月曜日に実施されます。テストの結果や人数の問題からクラスが変わることはしょっちゅうあります。また、毎週金曜日ごとに卒業して、毎週月曜日に新しく何人かが入ってくるので、思った以上に短い関係になります。先生やスタッフの方はとても親切で優しく、質問があれば分かりやすく答えてくれました。



ラホヤの棧橋の下で

衣・食・住

ホームステイ先によって、
食事などのルールが違う。

8月と9月のサンディエゴは、昼は温かく、夜は肌寒い気候です。基本的に雨は降らず、日本のような湿気を感じることもないので、汗をかきません。そのため、長袖長ズボンでも過ごせます。私がホームステイした家庭は1週間に1回の洗濯がルールだったので、1週間程度の量の服を持って行って丁度良かったです。私のプログラムでは朝と夜の食事の提供があったのですが、朝は豊富な種類の食べ物から自分で選んで食べました。夜は思ったより質素で、スープ料理がほとんどでした。それが苦となり、3週目に家を変えましたが、その後のホームステイは食事の面でも、家族との関係でも、とても満足のいくものになりました。外食の料金はだいたいチップも合わせて一食1,500円程度でこれを1か月続けると45,000円にもなってしまうので、コンビニで軽く済ますこともありました。研修の序盤は食事の偏りとストレスから便秘に陥りました。そのため、朝食と昼食でうまくバランスをとることを心がけました。また、一番気を遣ったのがお風呂です。シャワーを浴びられる時間は各家庭ごとに決まっていた私の家では10分以内でした。



映画「トップガン」のお店にて

休日・余暇の過ごし方

観光地を友人と見て回る。
ホストファザーと米軍基地にも。

休日は友人と観光に行きました。サンディエゴは観光都市で、毎日1か所ずつ回っても2週間程度は楽しめます。私はWiFiをもっていなかったの、一人で出かけるのが怖く、出来る限り友人と外出しました。一度だけ独りでビーチまで行きましたが、せっかく着いたにも関わらず天候が曇っていて残念でした。その他には、ビーチ、動物園、米軍基地、プラザ、公園などに行きました。一番遠い所ではロサンゼルスに行きました。アメリカは車社会というだけあって、バスがないところでは、ひたすら歩きでした。次回行くときは国際免許を取って行きたいです。米軍基地は二軒目のホストファザーが退役軍人ということで連れて行ってくれました。とても厳重な場所で、本物のヘリコプターや軍人を見ると委縮してしまいました。私のお気に入りはこの米軍基地と空母です。迫力がなんといっても凄かったです。それ以外では家に戻って自分の時間を過ごしました。学校の課題や英語の勉強はもちろん、カメラで撮った写真の整理や日本にいる友人と連絡しました。特に二軒目の家庭にはシアタールームがあったので、そこで映画をたくさん観ることもし

ました。1日3作品観たときは感無量でした。

得たもの・学んだもの

より合理的に。
遠慮は必要ない。

この研修で得たものは、「より合理的に」と「遠慮は必要ない」ということです。説明するには少し難しいのですが、言いたいことはしっかりと、気になったことは聞くということが私には足りないと感じました。例えば、クラスの授業ではアジア圏以外の国の人たちは次から次へと発言していました。そんな中私は分からない単語があれば辞書を使ったり、聞かれたことだけを発言したりするといった感じでした。もしそこで先生に質問していたら、英語を話す練習にもなるし、時間の短縮にもなります。そのため、1週目を終えた頃から積極的に話すようになりました。それは街に出て同じで、道が分からなければ聞く、お店での注文の仕方が分からなければ聞く、話しかけられたら積極的に話を盛り上げるように心がけました。すると、簡単に物事が解決しますし、何と言っても仲良くなれます。心の内に考えや思いを溜め込むのは全く意味がないということが本当によく分かりました。



初めて食べたフィッシュ&チップス

後輩へのアドバイス!

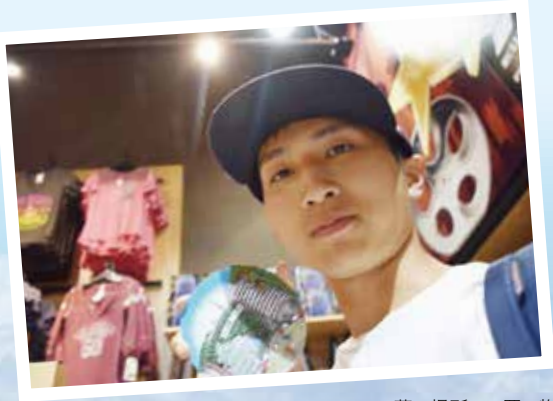
Wi-Fi必須。衛生用品の準備。
防犯対策をしっかりと。

アドバイスは主に3点あります。1点目は、wifiについてです。絶対に購入しておいた方が良いでしょう。私は節約のため購入せずに渡航しましたが、その結果スマートフォンは家と学校の建物内でしか使えず、ランチに行ったり観光に行ったりしたときにはとても苦労しました。もちろん迷ったこともあります。私は、家を出る前にグーグルマップで調べてそれをスクリーンショットしてから出かけましたが、時間がずれたり、寄り道したりするとバスの乗り換えにも苦労するのでお勧めできません。2点目は、衛生用品です。細かい所ですが、ティッシュや爪切り、シャンプー、ボディソープ、歯磨き粉など忘れないようにしてください。現地で購入も可能ですが、値段が高かったり体に合わなかったりすると大変です。また、薬品も便秘薬や風邪薬程度は持って行った方が良いです。3点目は、防犯です。できるだけ支払いがカードで済むのが便利です。安全です。また、バッグは常に自分の身体にくっつけておくことを徹底しましょう。

もう一言!

荷物は必要なだけ持っていくと
体力的にもよい。

私はWiFiを買っていかなかったので、インターネットが使えるのは家と学校、WiFi環境のあるお店だけでした。最初の2週間は外出時に不便でしたが、3週間目からはすっかり慣れて、これといった不自由はなくなりました。しかし、2軒目のホームステイ先の家族がとても親切で、駅までの送り迎えや、私の帰りが遅くなる時は携帯電話にメッセージを送ってくれたのですが、ネット環境がないとそのメッセージを受け取れなかったの、そこだけは不自由でした。次に留学に行く人にはWiFiを準備していくことを強く勧めます。荷物配送について、私は利用しませんでした。かなり大きめのスーツケースと普通のサイズのリュックサックを持って渡航しました。スーツケースの半分は衣類、半分はお土産で埋めて、リュックサックの方は貴重品やカメラを入れていました。荷物はできるだけ少なくした方が、体力的にも、帰りのためにも良いと思います。



夢の場所での買い物

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

留学中及び
研修後の手続き

短期語学研修講座
研修報告書

長期英語研修講座
研修報告書

学生海外語学研修
助成制度(夏季・夏季)

派遣留学制度
研修報告書

イギリス

センターオブイングリッシュスタディーズ

Centre of English Studies



人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)

中川 裕介
Nakagawa Yusuke



STUDY ABROAD DATE	
●都市名:ロンドン	
●研修期間: 2017年8/14~9/15【33日間】	
●宿泊形態:ホームステイ	
●費用概算 <必要な経費>	
・研修費(滞在費含む) ……	611,000円
・渡航準備・査証取得費 ……	15,000円
・食費 ……	25,000円
・交通費 ……	20,000円
・通信費 ……	30,000円
・その他 ……	55,000円
助成金支給額 ……	400,000円
<合計> 自己負担額	356,000円



ビッグベン



学校の仲間たち

研修機関や授業

授業はグラマーとスピーキングがメイン。

僕が研修した学校は1クラス5〜10人程で少人数のクラスでした。初日にクラス分けのテストがあり、自分に合ったレベルに分けられます。1週間はそのクラスで授業を受けるのですがレベルが低いと感じたり、難しすぎたと思った場合は1週目以降から相談してクラスを変更することができます。全生徒数も少ないのでクラスの人だけではなく、多くの友達が作れると思います。そして僕が最も良かったと思うことは多くの国籍の人たちが集まっていたことです。休憩の時には様々な言語が飛び交っており、あいさつ程度の簡単な言葉を教えあったりしながら楽しく過ごすことができました。授業の内容は、主にグラマーとスピーキングがメインで具体的な文法を学習してからその文法を使用してペアで話したり、発表したりディベートをしたりしました。洋楽をきいてその歌詞を書き取るクイズのようなことも最初最後の10分程度行うのですが、これが意外に難しく苦戦しました。しかし、耳慣れもするし日本でもできるので良いトレーニングにはなると思うのでおすすめです。放課後もBBQがあったり、パブに行ったり、週末には日帰りの国内旅行ツアーがあったりと充実していました。



ホームステイ先の周りの風景

衣・食・住

慣れない味の食事。でも住みやすいと感じた。

夏ということで半袖半ズボンも何着か持って行ったのですが、まず着ません。冬なみに寒いです。ダウンを着ている人もいるくらいで、厚めの服を持っていくことをお勧めします。食に関しては、日本食がやはり一番だなと思います。美味しくないのではなく、どれも慣れていない味がします。日本食の店も多数あるのですが値段が日本の2,3倍します。カップ麺も約300円です。たまに食べると幸せを感じることができます。日本にある世界チェーンのスターバックスやマクドナルドも日本と少し味が違うので行ってみると面白いと思います。バス代や電車が安いので長く研修する人にはウィークリーで券を買うことをお勧めします。オイスターカードというのがありますが必需品です。コンビニなどでも購入できると思います。特に高いのがタクシー代です。先生でさえ数回しか乗ったことがないと言っていました。僕も一回乗ったのですが、良い服が買える値段です。乗らないことをお勧めします。公共交通機関が発達していて、どこへでも行けるのですごく便利でした。住宅も似たような家が並んでいて、緑も豊かだし、本当に住みやすかったです。

休日・余暇の過ごし方

学校のイベントには参加すべき。観光名所に行き思い出を作った。

学校も夕方までには終わるので、友達と近くの公園でサッカーをしたり、テニスをしたりイギリスらしい運動をしていました。ウィンブルドンに学校があったので周りに多くのテニスコートがあり、運動したいときには最適でした。学校のイベントにも積極的に参加していたので、友達もたくさんでき、楽しく過ごせたと思います。みんなフレンドリーで話やすく友達はすぐにできるとは思いますが、学校のイベントに参加することでさらに輪が広がるので、積極的に参加してほしいと思います。休日は交通の便が良いのでロンドンへ行ったり、観光名所へ行ったりとたくさん写真をとりながら思い出づくりをしていました。街には多くのストリートパフォーマーがいてにぎやかだし、街並みもきれいなのでどこへ行っても飽きないと思います。しかし、僕の学校では毎週金曜日に確認テストがあったので、カフェで勉強したり、家にいてホストファミリーと会話する時間をつくったりもしていました。初の海外だったのでどこへ行く



ブリティッシュミュージアムにて

にもわくわくしていて、暇を持て余すことがありませんでした。良い時間を過ごせたと思います。

得たもの・学んだもの

日本で持っていた先入観を変えることができた。

この研修で英語の能力だけでなく、様々なことが身についたとおもいます。友達との会話も英語ですべてしないといけないし、伝えたいことが伝わっているのかなど不安もありながらでしたがコミュニケーションの能力や授業などにおいての積極性も身につけられたと思います。人種も違うことはもちろん、宗教の違いやゲイの方など様々な考えを持った人たちと直接接することで、日本にいたときに持っていた先入観を変えるきっかけにもなったし良い人たちばかりで、人間性の部分でも成長できたと思います。しかし、友達で携帯をとられたり、財布をとられたりした人がいたので、安心しきるのもいけないことだし、テロも近くで起きたので、危機感には常にもってないといけないと学ばされました。初の海外で、英語の能力はもちろん、様々な面で成長できたので本当に行けて良かったと思います。しっかりと英語に耳慣れしてきたのでこの感覚を保つためにも今後も継続して学習を続けようと思っています。



ロンドンアイ

後輩へのアドバイス!

不安はあったが、現地に行けばなんとかなった。

留学することについて誰でも様々な不安を持っていると思います。1人で行く人はもちろん、友達関係や英語力のこと、安全性などたくさんあります。僕も行く前まではなんとかするという気持ちで不安をなくそうと強がっていましたが、いざ現地に着いてみると本当に1人で大丈夫なのかという不安が込み上げてきました。しかしホストファミリーの人たちが歓迎してくれて、優しく接してくれたり僕が分かっていないような言葉は簡単な英語に直して伝えるようにしてくれたり、迷惑をかけたと思いますが親切にしてもらえました。学校でもフレンドリーな人が多く、積極的に話しかけてくれるので助かりました。みんな英語を勉強しに来ている人たちで、レベルも同じくらいの人が集まるので楽しめると思います。店員などネイティブの人たちは話すのが早いので、行く前に耳慣れとして英語のニュースを聞いたり英語に慣れてから行くと対応しやすいし英語だけの環境に馴染みやすくなると思います。悩んでいる人は絶対行って下さい。なんとかなります。

もう一言!

シムフリーの携帯、エコバッグ、折り畳み傘などがあると便利。

家と学校にはWIFIがあるので携帯は普通通り使うことができます。しかし街には接続できる場所が限られているのでポータブルのWIFIを持っていくことをお勧めします。空港でレンタルできます。高いのでシムフリーの携帯を使っている人は現地でシムカードを購入した方が安く済むと思います。イギリスはスーパーの袋がどの店もお金がかかるので、エコバックを持って行ってください。自分は持って行かなかったので後悔していますがカップ麺などのインスタント商品を持っていくと便利だと思います。ふと日本食を食べたくなります。天気がとても変わりやすいので、折り畳み傘は常に携帯しておくことと、水をはじくような素材の上着を持っておくと便利です。日本のように荷物で席取りをしないようにすることと警戒心を持っていれば安全に楽しく研修できると思います。



ロンドンブリッジ

アイルランド

CESダブリン校

Centre of English Studies



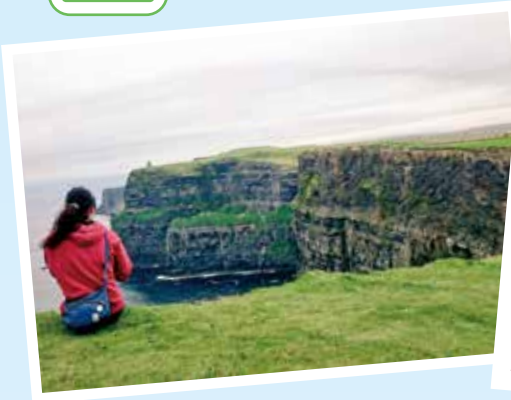
経済学部
経済学科
卒業生

山内 優花
Yamauchi Yuka



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:ダブリン
- 研修期間:
2017年8/28~9/15【19日間】
- 宿泊形態:ホームステイ
- 費用概算
<必要な経費>
 - ・研修費(滞在費含む) 472,990円
 - ・食費 20,250円
 - ・交通費 32,820円
 - ・通信費 2,550円
 - ・その他 18,200円
 - 助成金支給額 400,000円
- <合計> 自己負担額 146,810円



モハーの断崖

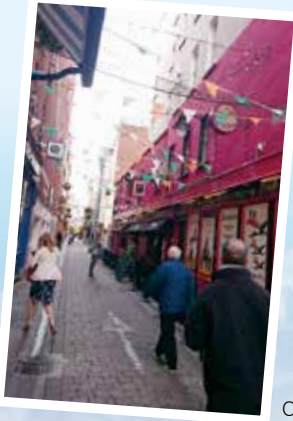


ギネスハウス見学

研修機関や授業

週1回フリークラスがあり、他のクラスと交流もできる。

CESは、ダブリンの中心街にあります。近くにはテンプルバーやトリニティカレッジ等、多くの観光地があり、学校の周辺はにぎわっています。校舎は2か所あります。教室はちょうど15人程度でちょうどくらいの広さで、アイルランドに関するユニークなポスターが多く飾られています。クラス分けテストは現地では行われませんでした。事前オンラインに登録した際に行うテストの点数がクラス分けに用いられていると思います。私のクラスは、サウジアラビア人、ブラジル人、日本人が同数くらいの、8名から14名程度の構成でした。毎週金曜日に数名が修了し、月曜日に新しいクラスメイトが加わる、という流れです。授業は、9:00-11:00が文法を中心としたクラス、11:20-13:00はスピーキングを中心としたクラスでした。午後の授業は火曜日から木曜日の14:00-16:00にあり、コミュニケーションのクラスでした。それぞれで先生は変わります。特徴的なプログラムとしては、私は午後のクラスで参加できなかったのですが、週1で午後1時から2時間程のフリークラスが実施され、他のクラスの生徒とも交流しながら学べるチャンスがあります。



CESダブリン校の近くの路地

衣・食・住

主食はポテト。天候は変わりやすい。

中心街からバスで40分ほどの所にホームステイをしました。朝食は7時30分、昼食は各自、夕食は6時と決められていましたが、あらかじめ予定を伝えておくと柔軟に対応してくれました。ポテトが主食の文化で、夕食にはほとんど毎日、マッシュポテトかフライドポテトが出ました。食卓に並べられる味付けの調味料はたくさんあり各自でアレンジして食べていました。有名なフィッシュアンドチップスも、夜ご飯で週に1回程度食べており、またマザーの料理はとても美味しかったです。土日には昼食にサンドイッチを用意してくれました。部屋は十分な広さで、毎日掃除をしてくれたり、タオルを変えてくれたり、とても親切にしてくれました。私のホームステイ先には私を含めて4人の留学生がおり、とても仲良くなりました。みんなで観光に行ったり、授業後に気になるバーに行ったりもしました。アイルランドの天候は、変わりやすいです。「雨宿り」という言葉がぴったりだと感じました。傘がひっくりかえるほどの大雨大

風の後、すぐに晴れて綺麗な青空が見えたりもするので、よく虹が出ます。交通手段は多くの人がバスがメインですが、電車やトラムもあります。



トリニティカレッジ
オールドライブラリー

休日・余暇の過ごし方

スポーツ観戦やミュージアムへ。ゲーリックフットボールが有名。

クラスメイトや友達と一緒に日帰り旅行にいったり、郊外まで電車が通っているのので、それに乗りシーサイドへ行き、散歩をしたりしました。中心街から少し離れると本当に自然豊かな公園や丘が広がっています。バスでダブリンを1時間程離れると、あたりは一面芝生で馬や牛が放牧されていました。時間の流れ方がゆっくりで、また日が暮れるのも21時前くらいなので日が長く、1日が長く感じました。アイルランドでは、ゲーリックフットボールがとても有名です。これは、フットボールとラグビーが融合したようなスポーツです。家をチームのカラーのフラッグでアレンジしたり、多くの人がこのチームのユニフォームやアクセサリを身に付けています。私は、カモギーというアイリッシュスポーツの試合をスタジアムで観戦することができました。スポーツ観戦は家族での一大イベントのようで、毎週末、応援に行く人たちが街全体がにぎわっています。また、街の国立ミュージアムは全て無料です。動物、

植物、芸術、歴史等たくさんのミュージアムに行き、アイルランドについて目で見ることができました。迫力のある剥製等もたくさんあり、毎日多くの人が入館しています。

得たもの・学んだもの

「TRY & ERROR」を繰り返し、生きた英語を学ぶ。

これまで海外へは何度も渡航はしていたものの、今回、留学という形は初めてでした。ホームステイや語学学校というのはどんな経験ができるのだろうと、ワクワクしていました。実際にはもちろんですが、英語についてより勉強することができました。テストのために暗記をしたりする日本での英語の学習とは異なり、本当に生きた英語を知ることができました。こういう時にはこのような言葉を使うことができるんだ、と生活の中で「TRY & ERROR」を繰り返し、身に付けていく経験ができました。また、留学生同士、お互いに英語を学んでいる立場なので、英語で話してみようとか挑戦し合うこともでき、刺激を受けることもできました。その中で、異文化を肌で感じることで、他の多くの国についても興味を持つことができました。そして、確かに英語を話すこと、理解できることは重要なことでしたが、それ以上に話したいという気持ちでコミュニケーションを取り始めるきっかけをつくる勇氣や、相手を思いやる心が大切だということを感じました。



ホストマザーと日本食

後輩へのアドバイス!

日本人は意外と多い。自制心を持った生活を。

アイルランドは「日本人が少ない国」としてよく紹介されますが、確かにイギリスやアメリカといった有名どころと比べれば少ないかもしれませんが、たくさんいました。留学生の構成としては、フランス・イタリア・ドイツ・サウジアラビア・ブラジル・日本の出身の人がメインだという印象です。時期やクラスによりますが、私の場合、12人クラスで5人が日本人だった週もありました。日本人がいなくてイメージしていくと、少し違うかもしれませんが、アイルランドを選んで留学している人は、「日本人が少ないから」という理由が多いので、お互い意識して英語を使うことができ、日本語を多用してしまうことはなく、支障はないように感じました。また、アイルランドでは18歳から飲酒ができます。パブやバーがあちこちにあり、ランチでビールを飲み始めることも稀ではありません。周囲の友達もたくさん飲んでいましたが、そのためか、休みがちの人も多く、クラスに4人しか来ていない人もあります。自制心を持って、留学することが大切だと思います。

もう一言!

アイルランドの人はとても穏やかで優しく親切。

アイルランドでは二階建てバスがかなりの台数走っていて、全ての社内にフリーWi-Fiがついていてとても便利です。語学学校にももちろんありましたし、スーパーやカフェ、レストラン等もだいたいのお店では使えるようになっています。私自身はルーターを持っていませんでしたが、特に不便なことはありませんでした。ヨーロッパでの主な連絡手段は「Whatsapp」というアプリになります。日本という「LINE」のような存在です。携帯の電話番号での登録になるので、現地での登録が難しかったので、日本でインストール・登録しておくべきです。クラスメイトとのグループ等も、このアプリですることがほとんどでした。アイルランドの人たちは、とても穏やかで優しく、親切です。私はよくバス停を間違えてしまい、バスの運転手に助けてもらいました。食後は紅茶を飲みながら、その日の出来事や予定について語り合いました。観光施設などには英語のパフレットのほかに日本語のものを備えている場所もあり、英語と日本語の両方をもらうこともできました。

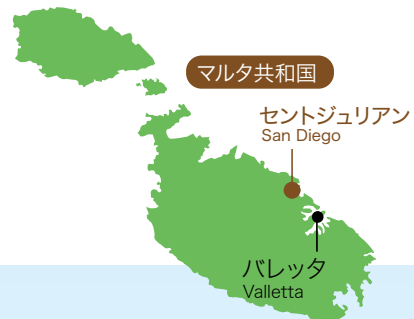


授業後にみんなで行ったバー

マルタ共和国

ECマルタ校

EC Malta



人文学部
英語英米文学科
1年次生(研修時)

阿部 紗己
Abe Saki



研修機関や授業

日本人がいないクラス。

1クラス10人強の生徒で構成されていますが、ECマルタ校には、夏季の間は特に日本人が多いたのですが、1レベルにつき10クラスあったため、他の日本人と同じクラスになることはありませんでした。毎週、クラスのメンバーが替わるので、最終週のクラスを例に挙げると、ジェネラルのクラスには、トルコ、ロシア、ブラジル、スイス、中国、韓国人がいました。インテンシブのクラスには、コロンビア、ブラジル、ロシア、フランス、イタリア、スペイン、トルコ、ポーランド人がいました。授業は午前・午後のクラスに分けられており、私はAバンクなので、月・水・金は午前、火・木は午後のクラスでした。午前中のクラスではReadingとGrammarを中心に、午後はSpeakingとListeningを、インテンシブのクラスではVocabularyとSpeakingに重点を置いていました。私は英語を話すためにマルタへ留学したので、授業には満足しました。また、クラスメイトの年齢やバックグラウンドも大きく異なるため、ディスカッションを通して学ぶべきものがたくさんありました。



ブルーラグーンで有名なコミノ島

衣・食・住

不便！暮らしにくいマルタ。

まず私がマルタに着いて驚いたのは、蒸し暑く日本のような気候だったことです。私は、勝手に乾燥している国だと思い込んでいたため、大量のハンドクリームや保湿クリームは荷物になっただけでした。次に、私が予想していなかったこと、それは坂が多すぎることでした。海沿いを歩けば平坦な道が続きますが、学校へ行く時や家に帰るときには勾配のきつい坂を上ったり下ったりしなければなりません。おかげで足の筋肉はかなり鍛えられました。他の生活面で困ったことは水です。1ヶ月の滞在中、雨が降ったのはたった1日だけでした。半年ぶりの恵みの雨となったそうです。元々水圧は弱く設定されているため、トイレに行っても絶対1回では流れませんし、シャワーは1時間近くかかりました。食事に関しては特に不満はありませんでした。ホストマザーは料理が得意で、毎日違うメニューを作ってください、ディナーは特においしかったです。放課後、家に帰るのが楽しかったくらいです。服装は、みんなカジュアルで、キャミソールやタンクトップに短パン、ビーチサンダルという感じでした。家にはエアコンがなく、扇風機で過ごすのは大変でしたが、アメリカとは違い、エアコンが原因でお腹を壊すことはありませんでした。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：セントジュリアン
 - 研修期間：2017年8/21～9/15【26日間】
 - 宿泊形態：ホームステイ
 - 費用概算
- | | |
|-------------|-------------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費(滞在費含む) | …… 617,000円 |
| ・食費 | …… 34,000円 |
| ・交通費 | …… 11,000円 |
| ・その他 | …… 74,000円 |
| 助成金支給額 | …… 400,000円 |
| ＜合計＞ 自己負担額 | 336,000円 |

休日・余暇の過ごし方

観光地制覇。

放課後、自由時間が4時間程度あったので、学校のアクティビティに参加したり、ジェラート屋巡りをしたりしていました。また、午後からの授業の時には友達とランチへ行ったり、写真を撮るため散歩へ行ったりしました。夕食後は学校の話や日本での生活、時にはニュースを見ながら今起こっている問題などについても話をしました。8時くらいになると日も落ちて、近所の人たちがベンチに座って井戸端会議を始めていました。主にマルタ語で話していますが、時々英語でも話してくれるので楽しい日課でした。休日は主に現地で知り合った日本人の友達と観光地を訪れました。首都のバレッタには何度も行きましたが、町全体が世界遺産に登録されているためたくさん見るところがあり、ガイドブックには載っていない教会を見つけるなど新しい発見もありました。また、旧首都のエムティーナは静寂の町として知られています。道は車1台が通るのに精一杯くらい狭く、要塞都市としての面影が残っていました。マルサシュロックのサンディマーケットも2度訪れ、お土産を買ったりしました。中でも1番楽しみにしていたコミノ島は格別でした。辺り一面水色の海が広がっており、何度訪れても感動する場所でした。



ゴゾ島



インテンシブのクラスでの記念写真

得たもの・学んだもの

日本のすばらしさを改めて感じた。

3度の留学を終えた今、行きついた答えでした。特にマルタでバスに乗る際、大きな問題がありました。バスが時間通りに来ないのは普通、30分、1時間待っても来ない時があります。運転が荒く、急ブレーキは日常茶飯事です。また、バスに乗っていて勝手にルートを変えられ、降りたいところで降りられないことは度々ありました。日本では絶対にあり得ないことです。日本の公共交通機関は決まった時刻に到着し、出発します。ルートも必ず決まっており、勝手には変えることができません。また、他の場合では、行きたいお店があったとしても営業時間が昼までであったり、土、日、祝日はほとんどのお店が閉まっています。学校終わりに買い物へ行こうと思ってもほぼ不可能でした。日本でしたらマルタの商売の仕方とは異なり、週末や祝日は多くの人がお店に来るから儲けることが出来ると考えて働きますが、マルタにはそういう考え方はないそうです。ここでも日本人の勤勉さ、効率の良さを感じさせられました。



ホストマザーの手料理で1番好きなすびの肉詰め

後輩へのアドバイス！

自分の馴染みのない国に行くのはおもしろい。

出発前、友達から「マルタって国？島？」と何度も尋ねられました。私が「イタリアの南側にある小さな国よ」と答えると「イタリアの中にあるんか、公用語はイタリア語？」と多くの人から言われました。私も留学先をマルタ共和国に決める前には、国があることは知っていましたが、詳しくは知りませんでした。マルタ滞在中も多くの人からマルタでの生活はどのようなものなのかメッセージをもらいました。なので、私は積極的にSNSを利用し、日本ではまだまだ知られていないマルタについて情報を発信し続けました。写真はヨーロッパを感じさせるものや、パスタやピザなどの地中海料理の写真も多いのですが、実際暮らすと日本にはないものであったり、ゴミが捨てられ汚れた道路もSNSにはアップしました。この私の留学は、自分の英語のレベルアップにつながっただけでなく、マルタ共和国をもっと身近な国にするための橋渡しが出来たと思います。



友達カミラと卒業式にて

もう一言！

何でも挑戦すること

せっかく30時間近くかかってマルタに来たのだからマルタらしいことをしたいと思い、多くのことにチャレンジしました。例えば、ウサギ肉を使った料理にチャレンジすること。ウサギ肉はマルタでは一般的に食べられる肉です。私はバレッタのレストランに行ったときにウサギ肉のパスタを食べました。味はトマトソースペーストでおいしかったのですが、ウサギ肉にあたり高熱は2日間続き下痢にもなりました。そのときは食べたことを後悔しましたが、後になってはいい思い出です。ウサギ肉を食べる機会は日本ではほとんどないため、もしウサギ肉を食べなかったらおそらく後悔が残っていたと思います。再びいつマルタを訪れるかわからないので後悔だけは残したくないから、少しでも興味のあることをしてみる、気になったところを訪れるようにしました。初めは行か迷っていた聖ヨハネ大聖堂も行ってみると想像していたより豪華で、感動しました。

だからもし留学に少しでも興味があるなら、行くべきだと思うし、留学に行ったら後悔の残らないようにやりたいことを全部してほしいと私はみんなに伝えたいです。

韓国
延世大学
Yousei University



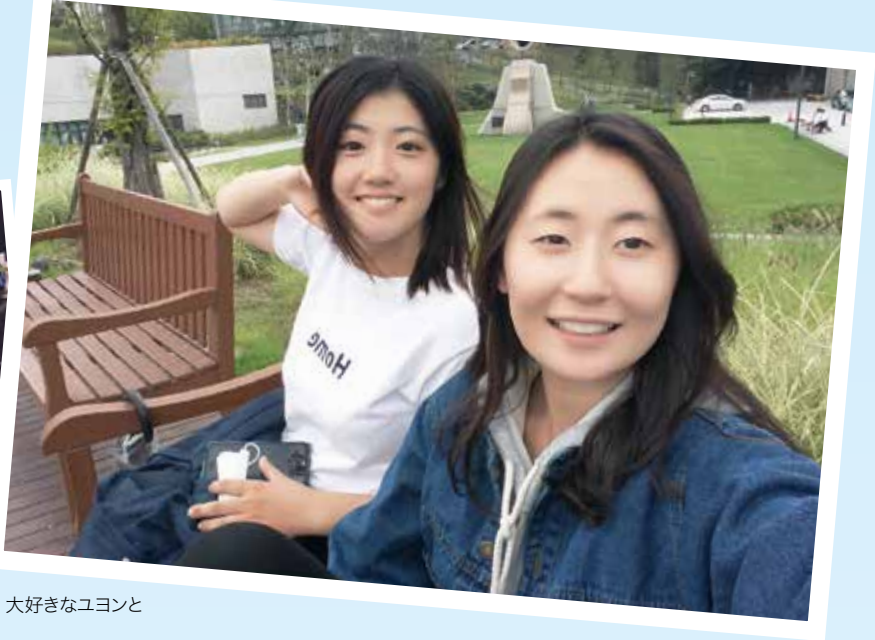
経済学部
経済学科
2年次生
関 菜杏
Min Saki



STUDY ABROAD DATE	
●都市名：ソウル	
●研修期間：2017年8/29～9/19【22日間】	
●宿泊形態：寮	
●費用概算	
<必要な経費>	
・研修費（滞在費含む）	…… 333,000円
・渡航準備・査証取得費	…… 14,000円
・食費	…… 15,000円
・交通費	…… 3,000円
・通信費	…… 11,000円
・その他	…… 30,000円
助成金支給額	…… 300,000円
<合計> 自己負担額	106,000円



一日目の夜ご飯



大好きなユヨンと

研修機関や授業

韓国語以外の使用は禁止。
日常会話を先生に学ぶ。

韓国ソウルに到着した2日目にクラス分けテストがありました。テストでは文法、単語、会話文の書きテストと面接がありました。面接はすべて韓国語で質問され、韓国語で答えました。三日目からクラスが分けられ、本格的に授業が始まりました。私は一番上のクラスで11人のクラスメイトのうち日本人は3人しかいませんでした。授業は全て韓国語で外国語は使用禁止でした。1、2時間目は主に単語と文法の勉強をしました。わからないことは全て先生に質問して、先生が日常的に使える言葉を沢山教えてくださいました。また、宿題は毎回作文で、自分の住んでいる国の文化についてや、韓国での事についてでした。先生が話言葉と書き言葉を分けて教えてくださいました。3、4時間目はリスニングや会話の授業でした。CDで問題を聞いてそれをクラスみんなで解いていきました。先生は生徒に沢山質問をしてくださったので、自分の知ってる韓国語で一生懸命に答えました。また、国の文化の違いをみんなで話し合ったり、韓国に来て驚いたことや食文化の違いなどを韓国語で話し合いました。午後からは韓国料理を作ったり、韓国ドラマを見ながら韓国語を勉強しました。

衣・食・住

宿舎も気候も
過ごしやすい環境だった。

韓国についた夜は空港から送迎をしてくださった方とサムギョプサルを食べました。夜ご飯を食べ終わってから大学の近くの宿舎に着きました。コシウォンと言って、一人部屋でキッチンや洗濯場を共同で使うようなところでした。キッチンには調理道具が揃っていて、キムチやごはん、ラーメンも無料で用意されています。また洗剤や、布団、机、冷蔵庫もすべて用意されています。三週間暮らすにはぴったりな宿舎でした。昼ごはんは学校の食堂で食べました。食堂には各国の料理があり、すべて300～450円ほどで食べられます。夜ご飯は友達や韓国で知り合った方とシンチョンやボンデ、カンナムで食べました。チゲやブルコギ、また時々洋食も食べました。宅配で家でチキンやジャージャー麺を頼むこともありました。皆さん年上の方が多くて、奢っていただくことが多かったです。9月の韓国はとても天気良く、雨が降ることはほとんどありませんでした。ですが昼と夜の気温差が激しくていつもカーディガンを持っていました。半袖の人もたくさんいました。9月はとても過ごしやすいと現地の方もおっしゃっていました。

休日・余暇の過ごし方

学校の図書館での読書や
観光をして過ごす。

休日は学校の図書館で本を読んだり、友達と観光やショッピングをしたり、遊園地に行ったり遊びました。延世大学の図書館はとても広くて、パソコンを使えるコーナーや横になって本を読むコーナーなどもあり、一日中とても楽しく過ごせます。週末に友達と図書館で宿題をしたり新聞記事の発表準備をしました。違う日には仲良くなったクラスの友達とホンデの美味しいカフェでお互いの話をしたり、明洞で服やお土産を沢山買いました。明洞では屋台の食べ物を沢山買って、食べながら店を回りました。特にそこで買った明洞饅頭はとてもおいしかったです。また週末にコシウォンの友達とエバーランドという遊園地に行きました。エバーランドはあたりが山に囲まれていて自然豊かなところでした。中はとても雰囲気良く、かわいい建物がたくさんありました。また、ジェットコースターなどの絶叫乗り物もたくさんあり、怖かったですが全部乗りました。教会で知り合った皆さんと漢江にも行きました。この時期の漢江はとても景色と天気良かったです。景色を見ながら食べるチキンはとてもおいしかったです。



漢江で



エバーランド

得たもの・学んだもの

海外の出会いが文化の出会い。
大学生活は悔いの無いものに。

今回の研修で大学生がどのようなものなのかよくわかった気がします。延世大学の学生はみんな勉強熱心で大学中に自分がやりたいことを全てやり尽すそうです。韓国では今不景気のため、就職率が約60%だと聞きました。そのため大学に進学しただけでは就職することが難しいらしいです。私が出会った延世大学の学生は皆さん何かしらのスベックを身につけていて、大学生活中の自分の目標がはっきりしていました。私も大学に進学したからには、いい思い出だけを作るのではなく、将来の自分自身のためにも努力して特技を身につけなければならないと思いました。また、大学生活の4年間を後悔のないようにしたいと思いました。また、海外での生活を通して、人との出会いは文化の出会いだと思いました。あらゆる国の文化を理解して互いに尊重しあうことは簡単なことではないけども、そのようにして出会った友達は本当に大切な友達になりました。



7クラスのみんな

後輩へのアドバイス！

現地では日本語を使わず
現地の人と行動や会話を。

外国語を本気で習得したいと思うなら、海外に行くことが一番だと思います。私の場合、語学堂には日本人の学生がたくさんいました。留学に来たからには、同じ日本人の人と行動するのではなく、現地ですでに外国人の友達と行動することをお勧めします。私は韓国人の友達と毎日行動していたのですが、会話は韓国語がほとんどでジェスチャーなどでお互い理解しようと必死でした。なので、一日に日本語をほとんど使わない日がほとんどでした。そうすることで、韓国語を使う機会が増え、聞く能力や話す能力がすぐに上がります。日本語を使わないで会話をするのはとても大変ですが、外国人の友達と話すのはとても新鮮で面白いです。勇気を出して外国人の方に話しかけてみてください。また、私は今回延世大学の語学堂で勉強したのですが、延世大学は韓国語能力ごとにクラスが分けられていて、その人に合った勉強ができるのでとてもおすすめです。先生も皆さん優しく、わからないことは丁寧に一つずつ教えてくださいました。

もう一言！

自分に合っていると感じた韓国。
また勉強してから訪れたい。

今回の研修はとても充実したものでした。研修を通して沢山の外国人友達も作れて本当によかったです。みんなとはこれからも連絡を取り合いたいと思っています。また、韓国の料理は私の口に合ったのか、すべてほんとうに美味しかったです。量も日本に比べて多くて、とても幸せでした。辛いものが好きな方、おなか一杯食べたい方には韓国をお勧めします。また延世大学は立地もよく色々な所に観光に行けました。韓国は交通機関が発達していて、移動もとてもスムーズに出来ました。また、カフェやお店にはほとんどwifiがあるのでとても便利でした。親と連絡を取るときは、LINEの無料通話を使っていました。電波が悪いことはあまりなかったです。今回の研修でまた韓国に留学したいと心の底から思いました。日本でもっと韓国語を勉強してまた留学したいと思います。



大学の正門で

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

留學中及び
研修後の手続き

研修報告書
短期語学研修講座

研修報告書
長期英語研修講座

研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(夏季・夏季)

研修報告書
派遣留学制度

ドイツ フライブルク大学

University of Freiburg



人文学部
英語英米文学科
4年次生(研修時)

長坂 花蓮
Nagasaka Karen



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:フライブルク
- 研修期間:
2015年9/28~2016年7/29【約10ヶ月】
- 宿泊形態:寮
- 費用概算
<必要な経費>
・研修費(滞在費含む) 190,750円
・授業料・滞在費92,030円
・保険料(個人加入分) 151,530円
・渡航準備・査証取得費 5,000円
・食費 400,000円
・交通費24,000円
・通信費38,500円
・その他 128,360円
<合計> 1,247,540円



ドイツ海軍記念館(ラーボエ)



日本後講座の生徒たちと

研修機関や授業

正規講義は聴講生として参加。
授業はやりがいを感じた。

8月と9月はSLIと呼ばれるフライブルク大学の語学学校へ通った。渡航前に受けたプレイシメントテストの結果から、わたしはそれぞれB1-1、B1-2のクラスで授業を受けた。後者はドイツの州や政党などについて扱ったので、より難しく、より深くドイツについて学んでいると感じた。午前中の授業以外にも、午後にはセミナーが行われる。ヨーロッパの諸問題を取り上げるものに参加したが、日本ではあまりニュースにされないような経済・政治問題などを学ぶことができた。9月のコースが終わると、大学で開講される冬学期の講義とは別に交換留学生向けの講座(SLI内)を受けられる。種類は様々だが、各講座ごとに推奨語学レベルが設けられている。わたしはドイツ語文法コース(B2-1)、文学系と環境系の講座を中心に受講していた。大学の正規講義は当然ながらすべて速いドイツ語で、残念ながらわからないことが多かったため、聴講生として参加。語学学校でも大学でも筆記試験よりもプレゼンを作る機会が多いうえ、積極的に質問をする生徒が多く、参加者によるディスカッションを重要視している印象。難しいが、それぞれの授業はやりがいを感じられるものだった。

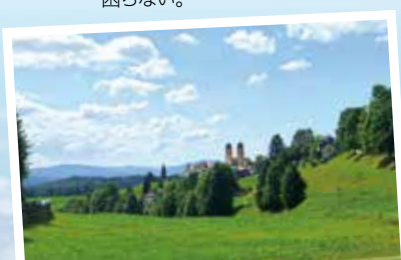


姉妹都市ブースでの手伝い

衣・食・住

日本の調味料は
アジアンマーケットで購入。

この研修中、わたしはWGと呼ばれる、いわゆるルームシェア形式の学生寮(名称: Händel)に滞在していた。キッチン用具や掃除用具に関しては用意なくてもよい。同居人が8人いたが、一般的には3~5人が多いようだった。キッチン、冷蔵庫、シャワー、居間を共同で使用し、各掃除・ゴミ出し、必需品の買い物(じゃがいも、トイレトーパー、洗剤、調味料等... 1か月ごとにWG経費として住人から徴収)は当番制だ。これらのルールは住むところによって異なる。ドイツ語や英語で同居人たちと意思疎通ができるので、寂しさを感じない・寮についての疑問が解消できるというメリットがあるが、夜中に騒がしいと感じることもあったので、共同生活ゆえのデメリットも。食事は学生食堂で昼食を取り、夜は寮のキッチンで作っていた。スーパーで買えない日本の調味料はフライブルク内にいくつかあるアジアンマーケットで購入することができる。衣服は夏服と秋服を渡航時に持って行き、急に日が短くなり寒くなる10月頃からH&Mなどで冬服を購入。特にコート等の防寒具は日本の物だと寒いと聞いたので、現地のものを購入した。親に日本から送ってもらうのも方法のひとつ。



黒い森地方の村

休日・余暇の過ごし方

大学以外に市民学校の
日本語講座にも参加。

何も予定の入っていない時間は大学図書館で勉強をしたり、タンデムパートナーと会う時間を定期的にとっていた。タンデムでは勉強するだけではなく、お互いのところで料理を作ったり、一緒に映画を見に行ったりもした。ちなみに料金は日本より安いし、ときには日本映画(独語字幕or独語吹替え)が上映されることもある。休日はレギオカルテという定期券を利用して、黒い森地方の山村や周辺地域を訪れた。日曜日は外国系飲食店以外、どこの店もだいたい閉まっているので、寮内で同居人たちと料理を作って食べることもあった。大学関係以外では市民学校の日本語講座に参加させてもらい、ドイツ人の日本語学習の様子や日本語教師の教える方を直に見学したり、ときには手伝いも。参加者が夏休み中に行っていた勉強会にも助っ人として参加していた。また、スタムティッシュと呼ばれる食事が独日協会や独日学生グループで開催されていたため、月に一度参加していた。フライブルク大学の建物はだいたい街の中心部にあるものが多く、周辺ではカフェやレストラン、バーなどといった飲食店が軒を並べているので、友達と食事をしたり会話を楽しむ場所を探す分には困らない。

得たもの・学んだもの

留学を通して、改めて日本を
見つめ直すきっかけに。

一番に思いつくことといえば、良い意味で遠慮することがなくなったということだ。最初は「遠慮=美德」という日本人精神が強かったが、WGでの複数人の同居人たちの生活、ビザ申請や住民登録等で立ち寄り役所などでは、その態度がむしろマイナスになることがある。「空気を読む」という文化は通用しないので、少し図々しいくらいの言葉や態度で接した方が丁度良いのだと学んだ。また、ドイツ国内に長期滞在したことにより、日本ではニュースでしか知らなかった難民問題やそれに対する住民の意見を実際に聞きにできる機会が増えた。すると、自分の中で各問題が現実味が帯びてきて、日タイメージして考えられるようになった。母国に関することでは、日本語に興味があるが基礎を学んだことがない学生に言語を教えられるほど、自分は母国語のことをあまり知らないことに気付かされた。それが、ドイツ語を学ぶ以外に日本語や日本文化を見つめなおしてみるきっかけとなり、日本語教育に対する興味関心へと繋がったので、タンデム学習から得られたものは大きかったと思う。



ロンドンは飛行機で約2時間

後輩へのアドバイス!

日本への関心が高い学生。
積極的に交流を。

よほどネイティブとの会話に慣れた学生でないかぎり、大学での成績と会話力は直結しない。実際にわたしも渡航直後は会話はまだ苦手で、情けないと思うことが何度もあった。準備期間中に、独会話を実践できる機会があれば、相手に考えを伝えることを第一に考える。知ったかぶりせず、わからないことは聞くこと。よく耳にするフレーズの数々だが、繰り返し実践することで確実に力が付くだろう。次に、外国人だけでなく、現地日本人・日本人団体とも積極的に関わるのが良い。異国で暮らす先輩として心強いアドバイスもらえるうえ、思わぬ方面での人脈が得られる場合もある。最後に、常に自分の身は自分で守る努力をすること。テロや暴動など、昨今話題に上るような事件はもちろんだが、それ以外にも日本人はスリや置き引き、特に女性はナンパに遭いやすい。楽しい留学生活を送るためにも情報に目を光らせて、適度な緊張感を持つことを忘れないでほしい。日本からは「必携ドイツ文法総まとめ」という文法書を持って行った。見た目に反した情報量の多さは、まさに「必携」。

もう一言!

「非常に日本に近い存在」
と感じた台湾。

ドイツの各施設(銀行、外国人局、学生課、インターナショナルオフィス、寮のハウスマイスター窓口等)は曜日によって営業時間が異なる場合があるので事前に調べておくのがベスト。特に滞在のための手続きで何度もお世話になる「外国人局」は営業時間がバラバラなうえに、毎日たくさんの方が来るので注意が必要。ちなみに水曜日以外は昼の12時で閉まってしまう。備考としてビザ申請費用について書いておく。ドイツでは渡航後にビザを取得するが、その際フライブルク大学からもらえる「奨学金受給証明書」を提示すれば申請費用は無料になる。わたしの場合、大学間で手違いがあって奨学金と受給証明書を受け取るのが遅れたため、申請日に間に合わず、当日50Euroを支払った。何かおかしい点があれば、すぐに現地インターナショナルオフィスの留学生担当者に相談すること。



Cas Day in フランクフルト

中国

青島大学

Qingdao University



人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)

横尾 千夏
Yokoo chinatsu



研修機関や授業

2018年から大学近くまで地下鉄が開通。

青島大学は、留学生だけでなく、中国入学生と同じ環境で生活ができます。キャンパスがとても広く大学内に食堂やスーパー、コンビニ、郵便局、携帯ショップなど様々な施設もあり生活に便利です。市内からも近く、バスや徒歩でも行くことができます。2018年から大学近くまで地下鉄が開通したので、渋滞に巻き込まれる心配もありません。入学手続き時にクラス分けがあり、先生との簡単な会話や教科書の音読をします。初めての週間は移動可能なので自分に合ったクラスを選べます。初級クラスが4段階、中級クラスが4段階、高級クラスが2段階と高研クラスがありました。授業内容はクラスで違います。私のクラスは、総合、語法、劇、リスニング、スピーキングの授業がありました。授業は8時半から12時20分までで、50分×4コマです。クラスの国籍と人数は様々です。私のクラスは5か国9人のクラスで少ない人数でした。授業は、発言しやすい雰囲気、意見を述べる機会が多々あり、意欲的に学ぶことができました。宿題は、教科書の予習復習の他、500字の作文や物語を書く物、プレゼンがありました。午後1時半から3時20分まで毎日選択制の文化授業があります。

衣・食・住

過ごしやすい気候。 朝食以外は外で済ませられる。

9月から1月の留学だったため、夏服冬服の両方を持っていきました。足りないものや、かさばりそうな服は、現地でタオバオを使って安く購入しました。気温は松山と大きな差はなく、雨が非常に少ないためとても過ごしやすいです。夏は涼しいのですが、冬は海に近いため風が強い日がありました。11月中旬から暖気と言う暖房器具が稼働するので、部屋の中はとても暖かいです。寮にはキッチンがありません。私はルームメイトが冷蔵庫をもらってきたので一緒に使用していました。寮近くには食堂、屋台、セブンイレブンがあり学内だけで食事を済ませることもできます。大学から出ると、日本食のお店もあります。朝食以外は、外で済ませることが多かったです。寮は2つあり、交換学生と奨学金生に分けられているようでした。洗濯機は敏行楼にあり1回5元です。乾燥機は壊れています。お風呂の設備は部屋によって違いますが、いつでも使用できます。基本2人1部屋で私はロシア人のルームメイトでした。部屋やシャワー室はとても綺麗です。トイレが詰まったり、水道の水漏れがありましたが、おじさんを呼ぶとすぐ対応してくれました。授業が行われる校舎までは約10分です。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名: 青島
- 研修期間:
2017年9/7～2018年1/16【約5ヶ月】
- 宿泊形態: 寮
- 費用概算

<必要な経費>	
・研修費(滞在費含む)	61,800円
・授業料・滞在費	 6,200円
・保険料(個人加入分)	43,500円
・渡航準備・査証取得費	12,000円
・食費	 100,000円
・交通費	10,000円
・通信費	24,100円
・その他	97,300円
<合計>	354,900円

思い出スナップ



五・四広場



文化授業の面壁

得たもの・学んだもの

課題だったスピーキングが上達。 文化への理解も深まった。

私は大学1年の春に、上海短期留学を経験していました。その時に比べると語学面で大きな進歩を感じました。初めの1カ月は授業に慣れることで手一杯でしたが、2か月たつと授業に慣れ、自分で工夫した勉強方法を見つたり、検定対策の自主学習などをこなしていけるようになりました。スピーキングが課題だったのですが、授業での発言する機会や発音強制を通して、道を尋ねられた時に説明できるまで上達することができました。積極的に中国語を使うため、友達に挨拶から話題を広げるように意識しました。今回の留学では行事や授業を通し多くの友達と仲良くなり、帰国後も連絡を取りあう友達ができました。また留学を通して、たくさんの刺激を受けることができました。クラスメートの中には翻訳家や教師を目指す人、HSK6級合格を目指す人などがおり、皆意識高く勉学に励んでいたため、私も意識高く勉強を継続することができました。語学面だけでなく、文化についても理解が深まり、これからの人生に活かせる貴重な経験ができました。

後輩へのアドバイス!

友だちと学外に出て 青島の街並みを楽しんでみて。

青島大学には日本人留学生が少ないと聞いていたのですが、実際にはたくさんの日本人が在籍していました。そのため、中国語を使わないで生活することも可能です。しかし、せっかく留学に行くのであれば、中国語を使わないもったいないです。自分から積極的に話しかけたり、行事に参加したりと行動することが大切です。私は、なるべく日本人とは関わらないように意識し、他の国の人と出かけたり話したりする環境に身をおくようにしていました。青島大学は設備が豊富なので、学外に出なくても生活できますが、友達と青島の街並みを楽しむため積極的に外に出ることをお勧めします。また、ルームメイトが部屋によく友達を呼んで、お茶会をしていたので、一緒にお茶やお菓子を食べながら、たくさんの人と中国語でお互いの生活習慣について話したり、故郷について話したりすることができました。その時に、自分のその国のイメージは思い込みだった事に気づいたり、日本についての正しい情報を説明したりと情報の発信と吸収の大切さを感じました。

もう一言!

銀行口座を開設すれば、 便利なのでおすすめ。

中国に留学する際、ネットは必要不可欠です。私の携帯はSIMフリーではなかったため、現地で購入しました。携帯本体とSIMカードは別契約です。Wi-Fiは入学手続き終了後から申し込みが始まります。それまでは寮下のセブンイレブンのWi-Fiを使っていました。青島に来たばかりの頃、チューターで知り合った青島大学の学生2人に助けてもらいました。私は、上海よりも青島の方が松山の雰囲気近く過ごしやすいと感じました。キャンパスを1周するのに約1時間以上かかります。校内を散歩するのもお勧めです。中国で銀行口座を開設すれば支付宝や微信payが使えるようになり、生活が便利になります。淘宝で買い物したり、外食でご飯を注文することもできるので是非経験してほしいです。私が帰国する直前、寮下のセブンイレブンで交通カードのチャージができるようになりました。交通カードを使えば交通機関の運賃が割安になります。青島で雨の日は3日ほどでしたが、暖気が稼働してから空気が悪い日が続いたのでマスクは必須です。

崂山登山



文化祭で歌の発表



授業でクリスマスパーティー



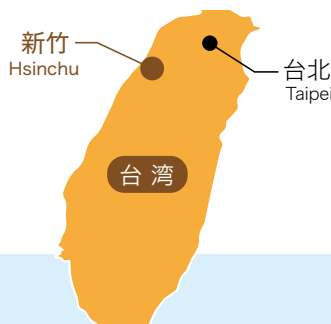
新年会にてクラスの出し物



台湾

玄奘大学校

Hsuan Chuang University



法学部
法学科
卒業生

宮田 香穂
Miyata Kaho



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:新竹
- 研修期間:
2016年9/12~2017年6/20【約10ヶ月】
- 宿泊形態:寮
- 費用概算

<必要な経費>

・研修費(滞在費含む)	……	260,000円
・保険料(個人加入分)	……	92,030円
・渡航準備・査証取得費	……	27,000円
・食費	……	144,000円
・交通費	……	20,000円
・通信費	……	50,880円

<合計> 593,910円



キャンパスの風景



黄先生の誕生日会

研修機関や授業

漢字がほぼ同じな
繁体字だから理解しやすい。

玄奘大学は、台北からバスで約1時間半の新竹市にあり、周りは自然に囲まれて空気がとても綺麗な場所にあります。校内はすべてWi-Fiが飛んでおり、学生は無料で利用できます。学生証が悠遊カード(ICカード)になっていて、本の貸し出し、パソコン室・コピー機の利用、校内のカフェやコンビニでの買い物ができます。また、バスや台鉄、MRTの交通機関や公共施設の入園の際にも利用でき大変便利です。授業は、殆どがPowerPointで教科書を使う授業は限られていました。レジュメは配られないので、各自でコピーし授業に持参するという形でした。私は、主に専攻科目を履修し、中国語の授業は週に2回(約3時間)受講していました。日本人留学生が1人だった為、日本語学科の先生とマンツーマンの授業でした。専攻科目の方は、当たり前ですが全て中国語であった為、はじめは大変苦戦しました。しかし、台湾は繁体字のため、漢字がほぼ同じなので視覚で理解することが出来ました。また、授業の中に日本の事案が多々出てくるので、共通点や相違点を発見できて楽しいと思います。日本語を学びたい学生も多く、お互いに教え合いながら交流することができました。

衣・食・住

寮に併設する食堂の料理は
安くて美味しい。

新竹は台湾の中で風の強い地域ということもあり、冬は思っていた以上に寒かったです。12月の上旬まではコートもなく過ごせましたが、それ以降は耐えられず厚手の物を購入しました。9月~10月は台風が多いので雨具は欠かせません。気温と湿度がとても高いので、室内は冷房がガンガンにかかっています。私は、屋外との温度差に体調を崩しやすいので、暑くても羽織るものは持って出かけるようにしていました。寮の中は、キッチン、冷蔵庫はなかったため、食事は寮に併設する食堂でしていました。すべての店がテイクアウト可能なので、寮に持ち帰って食べたり、教室で食べたり出来てとても便利でした。金額もリーズナブル(1日700円程)ですし、店舗数も多いので、あまり飽きることはなかったです。小籠包も1つたったの6元(約20円)で食べられ、とっても美味しいので学生に評判でした。大学寮は、手前が女子棟で奥が男子棟と分かれています。5人部屋で、2段ベット2つと1段ベット、共同のトイレとシャワールームがあります。トイレ事情がよくないので、はじめは共同に抵抗を感じるかもしれませんが、日用品などは食堂横の売店にすべて揃っているので安心でした。

休日・余暇の過ごし方

世界一周が味わえると
言われる台湾観光を満喫。

先生や友人が休みの日には、ご飯や遊び、新竹市内の観光に連れて行ってくれたりしました。大学から新竹市内まではバスで約20分弱で、大学前から15分おきぐらいに出ています。新竹市内にはSOGOや三越、Big City(ショッピングモール)があり、服屋さんや食事処も充実しているので、平日・祝日関係なく賑わっています。私はよくルームメイトと一緒に映画やショッピングをしたりしていました。交通費や物価が安いので、日本にいる時よりも、気軽に外出や買い物が楽しめた気がします。漁港も近くにあったので、その場で獲れた海鮮を料理してくれる店に行き、エビや蛤・魚料理を食べました。長期休暇は、新幹線や台鉄に乗って台北・台中・台南・高雄に小旅行に行き、ご当地グルメの食べ歩きや、観光地に行くなどしました。台中では、ルームメイトの家に泊めてもらい、台湾ならではの日常生活でのお茶の楽しみ方を教わりました。現地に詳しい友人と行くことで知れる場所や文化、人との出会いがあり面白かったです。台湾は、すべて回ると世界一周が味わえると言われていただけあって、どこの地に行っても見応えがあり、少し外に出ると充実した休日が味わえました。

得たもの・学んだもの

留学で得られる財産は、
人との出会い。

正直、私は語学の土着に留学生活における充実感や成長を実感するものであると思っていました。しかし、日々の生活や友達や先生との交流の中で、様々な発見や価値観を覆されるものがあり、そのような経験を通して国際的な視野で物事を見れるようになったり、私自身の変化を感じることに喜びを覚えました。留学前、留学で得られる財産は語学だけではなく、人との出会いであると言われました。私は、本当にそのことを実感しましたし、その出会いを自分の将来の取り組みにつなげていきたいと強く思いました。中国語の先生に「授業で学んだ内容も、もちろん自分の知識となるが、その授業で学んだことを教室の外で活かすことが、さらに濃い知識や体験に繋がる。机に向かうことばかりが勉強ではない。」という言葉を受け、今までの勉強に対する姿勢、留学中の過ごし方を見つめなおすことが出来ました。これまで、客観的に見ていた国を主観的に感じ、そのうえで得た語学力、留学中の人々や言葉との出会い、経験が自信となりましたし、これからの自分自身の糧となりました。



台中の友達と

後輩へのアドバイス!

日本への関心が高い学生。
積極的に交流を。

私はほとんど語学が身につけていないまま留学にきました。中国語は発音が難しかったため、初めは言いたいことが伝わらず困る場面が多々あり、伝わらないかもしれないからと中国語をしゃべらなくなったりしました。しかし、耳から入ってくる言葉が多ければ多いほど、自分の語彙力や発音の上達は本当に早いです。語学に自信が無いからと不安になる事は、留学において必要ないと思います。特に台湾は日本への関心が高いため、現地の学生達も積極的に交流しようとしてくれます。はじめは戸惑うこともあるかもしれませんが、とにかく内気にならず受け入れることが出来れば、スムーズに仲を深めることが出来ます。台湾料理を食べに行こうと誘ってくれたり、台湾学生ならではの流行物や文化を教えてくれるので、インターネットや書籍では得られない情報を知ることが出来て楽しいです。逆に「日本は?」と色々質問されるので、日本のことをもっと勉強しなければと思われました。正しい日本の情報を伝えられるようにしておくとお話のきっかけになるので良いかもしれません。

もう一言!

「非常に日本に近い存在」
と感じた台湾。

台湾で生活していると、時々本当に留学に来ているのか分らなくなる感覚がありました。それは本当に、日本のものが溢れ、日本のニュースや流行がすぐ耳に入ってくるからです。私が感じた台湾は「非常に日本と近い存在」です。私は留学先の場所しか見れていませんが、こんなにも日本の文化や風習を受け入れてくれていることに喜びを感じましたし、日本語を学びたいと思っている学生が多いことにも驚きました。もちろん良いところばかりではなく、嫌なところも見えてしまっていますが、同時に日本に対して同じ感情を抱きました。それは、海外にいるからこそ発見できることで、当たり前が当たり前ではなくていく感覚でした。自分自身、その違いを受け入れることが出来るようになっていくことも、留学生活における貴重な経験だと思います。遠い場所にあると思っていた国が、私だけではなく、話を聞いたり、実際に足を運んだ日本の家族や友人も近くに感じたと言ってくれました。それは、留学をして少しでも自分が日本と台湾の架け橋になったのではないかなと思えました。



有名店の小籠包



学祭



高雄の六合
国際観光夜市

韓国

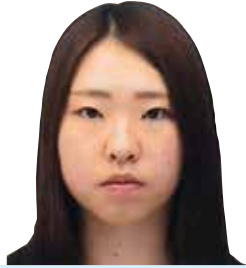
建国大学校

Konkuk University



経営学部
経営学科
卒業生

石本 優衣
Ishimoto Yui



STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ソウル
 - 研修期間：2016年3/2～12/16【約10ヶ月】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費（滞在費含む） ……60,000円
 - ・授業料・滞在費 ……592,000円
 - ・保険料（個人加入分） ……150,000円
 - ・渡航準備・査証取得費 ……3,000円
 - ・食費 ……360,000円
 - ・交通費 ……64,000円
 - ・通信費 ……120,000円
 - ・その他 ……6,000円
- <合計> 1,355,000円



釜山甘川文化村



練炭ボランティアのメンバー

研修機関や授業

難しい授業も 仲間の助けで乗り越えた。

前期は午前に語学堂、午後は正規の授業に通っていました。英語で行われる授業と韓国語で行われる授業の2つありましたが、英語に自信のない私は韓国語での授業に臨みました。経営は漢字語が使われていることが多いので、その点に関しては少し楽だったと思います。後期には無事全単位が取れたので、専門以外の科目も受けました。びっくりしたのはバスケットボールの授業に女子が一人もいなかったのが男子と一緒にしました。しかし、私が経験者だとわかるとみんなが少しずつ頼ってくれるのが嬉しかったです。自分の得意なことがあればそれを生かして、人とのつながりを増やしていくのもいいと思います。ほかにも、日本語や漢文学の授業も難しかったですが、新しい視点で勉強できるというのが私はとても楽しかったです。大変だったことといえば、経営のときのチーム課題がほかのメンバーの役に立てなくてすごく悔しい思いをしました。しかし、チームのメンバーがすごく気を使ってくれたため、楽しく終えることができました。韓国語でのレポートや発表も簡単なことではありませんでしたが、やりきった後の達成感は何とも言えないものがありました。

衣・食・住

寮が半期だけしか住めなくなる。 日本より冬は寒い。

前期の間は寮に住んでいました。韓国人のルームメイトとお互いに韓国語と日本語を教えあいながら生活していました。寮にいるときは、料理が全くできないので、コンビニに行ったり、レトルト食品をよく食べていました。そして今年から寮に半期しか住めないということになり、後期に住む家を自分で探さなければならませんでした。私の住んでいたところは大家さんが優しい方だったので、隣の部屋の人たちとも何も問題なく半期の間住むことができました。そして共同のキッチンもあったので、時間のある時は直接料理をすることもありました。ただ、面倒くさいときに出勤をよく頼んでしまうことがあり、その分お金がかかってしまいました。家賃は都会で、学校の近くということもありやや高めで、部屋もすごく狭かったのでその点では苦労しました。今年は暑く寒い1年だったので、夏は日本から持ってきた服でも大丈夫でしたが、寒くなるにつれて日本から持ってきたコートでは寒さをしのぐことができませんでした。松山では体感できないような温度なので、防寒に関しては、韓国で服をそろえることもあったと思います。

休日・余暇の過ごし方

バスや地下鉄を利用して 旅行を満喫。

休日はなるべく外に出て韓国語に触れるようにしました。ソウルの大体の場所には旅行や短期研修のときに行っていたので、韓国のより深い部分まで見てみたいと思い、語学堂の先生にたくさんの場所に連れて行ってもらったりもしました。最近有名になり始めた普段着にも着ることができる韓服を作っているところに連れて行ってもらったときは感動しました。さらに最近人気のある脱出ゲームも韓国語力を鍛えるためのいい経験になりました。そして、念願だった済州島にも通訳ボランティアの一環としてでしが行くこともでき、愛大で知り合った友達との釜山旅行も良い思い出です。日本にいるときからの縁が韓国に行っても続いたたくさんの人たちにいろいろな場所に連れて行ってもらいました。バス、地下鉄、タクシーなど交通費は日本よりもとても安いので、どこか旅行に行くにはとても楽だと思います。最初のうちは地下鉄が見やすいためよく地下鉄を利用することになるとは思います。バスと一緒に利用するとより便利に韓国内を旅行できるとは思います。しかし、バス、タクシーは日本よりもスピードが速く、安全とは言い切れないので気を付けたほうがいいと思います。



釜山甘川文化村

日韓交流おまつりで
たくさんの人たちと
おりがみ交流



得たもの・学んだもの

近くにいた友人が励みに。 挑戦することが大事。

この研修で得たものは、何事にも恐れることなく挑戦することです。日本にいるときは人目を気にしてできなかったことも、留学中には私を知っている人がいないということが、私にとってはプラスになり、自分が興味を持ったことにはすべて挑戦しました。練炭を運ぶボランティアをしてみたり、通訳のボランティアをしたりと日本ではできないことをたくさん挑戦することができました。そして、いつも近くにいた日本語学科の友達が日本語の勉強を頑張っているのを見てきたので、それが私の韓国語へのモチベーションを上げてくれました。交代で日本語韓国語と切り替えながら話したりして、WIN-WINの関係を築くことができました。これらの経験は新しい私を引き出してくれました。この研修で得たものを無駄にせず、自分のこれからのステップアップにつなげていきたいと思っています。



一番の親友

後輩へのアドバイス！

友人など、頼れる人を 探そうが大切

私の前に行っていた先輩の報告書を読んで、TOPIK4級は絶対日本で取得してから留学に行くという目標を立てて、その目標を達成させることから始めました。しかし、TOPIK4級を持っていたとしても、授業についていけないのではなく、自分の専門科目への知識が必要だと痛感しました。私の場合は、全授業に友達が1人以上いたので助けてもらいながら授業を受けていました。そして今年度から半期の間しか寮に住めないので、部屋探しなど難しいことも増えてきますが、頼れる人を探そうが大切だと思います。日本にいるときに仲良くしてた留学生たちにもたくさん助けてもらったりしたので、日本にいるときからの縁を大切にすることも大事だと思います。私が参考にしたものは、最近ではFacebookなどにおいしいお店などがたくさんUPされるようになりよく利用していました。あとは、やはり地元の友達に聞くのが間違いないと思います。

もう一言！

目標を持ち、挑戦することで 有意義な生活を。

私は日本にいるときから、留学に行くまでにこれだけはやってから留学する、現地で絶対これだけはやって帰るとリストを作っていました。はっきりとした目標を持って過ごす留学生活は一味違います。留学前に韓国語の先生に「意志あるところに道はできる」と教えていただいたこの言葉を留学中忘れたことはありません。この言葉は、常に意志をもっていれば自分の前に新しい道が開けてくるんだよと先生が教えてくださいました。10カ月間いつも何かしらの意志を持ち有意義な生活を送ってください。たくさんの方に挑戦すること自分にながができるのか、自分の強みを探せるとは思います。どんな理由であれ、日本を離れ一人で生活するということは、みんなが経験できることではないので、このチャンスを生かしてください。チャンスは自分のすぐそこにあるんだとこの留学で気づくことができました。



済州島での
通訳ボランティア

韓国

平澤大学校

Pyeongtaek University



人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)

香川 菜苗
Kagawa Kanae



STUDY ABROAD DATE

- 都市名:平澤
 - 研修期間:
2017年3/1～6/21【約4ヶ月】
 - 宿泊形態:寮
 - 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) ……14,700円
 - ・保険料(個人加入分) ……49,000円
 - ・渡航準備・査証取得費 ……13,000円
 - ・食費 ……100,000円
 - ・交通費 ……25,000円
 - ・通信費 ……20,000円
 - ・その他 ……110,000円
- <合計> 331,700円



韓国家庭料理



MTinソラン

研修機関や授業

3コマ続けての授業はしんどいと感じることも。

平澤は、ソウルからバスまたは汽車で一時間程(地下鉄で約1時間半)の場所に位置し、近年、お店や住居が増えてきた開発新都市です。観光地のような感じではなく、ソウルからもさほど遠くなくて、とても住みやすい町です。平澤大学は、平澤駅からバスで約15分くらいのところにあります。私は、アメリカ学科の学生として交換留学をしました。アメリカ学科の授業はもちろん中国語や教養科目、留学生専用授業なども履修しました。また、友達作りのきっかけとして日本語学科の授業にも聴講という形で参加しました。1コマ50分の授業で、基本的に一つの授業が、2コマ、3コマ続けて実施されます。基本的に1コマ終わるごとに休憩を挟み、再び授業を再開しますが、時々休憩がないときもあったり、1回に3コマある授業はしんどいと感じる時もありました。また、初めて授業を聞いたときは、先生が言っていることを聞き取ったり、授業の流れをつかむこと、宿題をすることにすごく苦労しましたが、だんだん慣れてきました。履修申請や授業に関すること、また留学生の寮に関することについては、平澤大学の国際交流課の方や、日本語学科の助教さんが手伝ってくださいました。

衣・食・住

寮の近くに料理店など多く食べる物には困らない。

平澤大学の寮は構内にあります。寮内では土足厳禁のため、一階の靴箱で室内用サンダルに履きかえて移動します。このスリッパは、現地で買うのをおすすめしますが、留学初日、入寮時間が遅い場合は、準備しておくともいかもしれません。寮では、毎日22時50分に点呼、毎週木曜日に「掃除の日」があります。寮内には、洗濯室、ジム、調理室(冷蔵庫、電子レンジ、ウォーターサーバー有、ガスコンロ、IH無)があります。洗濯機は数台あって、一回1000ウォンで使用できます。私は、四人部屋を使用しました。部屋には、一人ずつに机、ベッド(ベッドマット有)があって、入寮時にベッドカバーも貸してもらえます。その他の毛布などは現地で買った、前留学生から譲り受けたものを使用しました。寮では、火を使って料理できませんが、近くのマートで電子レンジでできるものを買うことができます。また、韓国では、배달(配達) 포장(テイクアウト)文化が発達しているし、学校の周りには、韓国料理店、お弁当屋、とんかつ屋、パン屋など飲食店も多いので、食生活で困ることはほとんどありませんでした。大学近所のダイソーやマートで日常必需品を購入することができます。

休日・余暇の過ごし方

友だちと旅行しながら、何気ない会話で言葉を学ぶ。

休みの日は、基本的に友達と遊んだり、少し遠くまで旅行に行ったりしました。平澤駅周辺には、百貨店、飲食店、服屋、カラオケ、化粧品店などなど、お店が多く賑わっています。ちょっと出かけたいという時や、空きコマに友達と遊びに行くときによく行きました。地下鉄一号线に乗ると、華城で有名なスウォン(所要時間約30分)や、ソウルにもいくことができるので、何度も遊びにいきました。韓国での五月の連休の際にはメントリング(チューター)活動を通して、チョンジュやカピョンに行きました。チョンジュでは、韓服を着て韓国の伝統的な街並み歩いたり、「李成桂の故郷チョンジュ」について博物館を見学しました。カピョンでは、ペンションに泊まって、バーベキューをしたりと、普段の旅行ではできない経験をすることができました。また友達のお家に泊まって、韓国の家庭料理をいただいたり、公共交通機関でない自家用車に乗ったりと、韓国の人々の生活を実際に体験したこともすごく貴重な思い出です。友達と遊びながら、何気なくする会話

が自分の韓国語の勉強にもなりました。



大学祭

得たもの・学んだもの

挨拶がきっかけで、人間関係や会話がスムーズに。

留学中、一番大事だと思ったのが「挨拶」でした。普段、普通に自国で生活していたらそんなこと気づかなかったかも知れないし、考えもしなかったかもしれません。一度知り合ってくれた誰かに、寮や授業でよく会うけどまだ話したことのない人誰かに。最初は、ちょっとした挨拶だけでも緊張してなかなか勇気がでませんでした。友達が遊ぼうと誘ってくれて、いろんな心配をして、喋るのが怖くて、うまく韓国語で喋ることができませんでした。そんな状況で、いい方向に自分を変えてくれたのは、挨拶でした。一言の挨拶が、今後の人間関係や、会話を続けてくれるきっかけになりました。また、メントリング活動や、韓国での生活を通して、韓国の人々のおもてなしの心や、気持ちをちゃんと言葉と行動で示す姿勢、韓国の歴史や文化、生活についてしっかりと学ぶことができたと思います。



チャムシル

後輩へのアドバイス!

留学したいと思う自分の気持ちを大切に。

大学生活でこれから自分が何をすべきなのか分からなくなった、そんな時に挑戦してみようと思ったのが今回の留学でした。元々、留学に興味はありましたが、派遣留学となると期間も長く、今後の学校生活や費用のことに関しても考えることが多いのでなかなか踏み出せずにいました。でも、その時は、自然と留学に対する自分の強い気持ちが固まっていました。最初は、家族に反対もされましたが、どうしても後悔したくなくて自分の意思を貫きました。もしかしたら、そのタイミングじゃなかったら留学に踏み切れてなかったかもしれません。留学中は、決して楽しいことばかりじゃなくて、泣きたくなるような時も、しんどい時もありました。でも、結果的に様々な思い出とたくさんの出会いと経験を通して成長することができたこの半年間は、留学前の自分の決意を決して後悔させないものにしてほしいと思います。不安や心配は何をしてもついてきます。それよりも行きたいと思った自分の気持ちを大切にぜひ挑戦してみてください。

もう一言!

分からないことは友だちが教えてくれた。

私は、半年間の留学だったため、韓国で携帯を購入せず、個人Wi-Fiも借りませんでした。大学構内では、Wi-Fiがどこでも繋がっていますが、場所によっては弱かったり、寮のWi-Fiは少し弱いので、一年間滞在する場合は、購入することをおすすめします。キリスト教大学のため、お酒を飲んだら寮に入れません。また、点呼の時間を過ぎると寮の出はいりができなくなり、外泊届の記入がないと罰点をもらうことになります。曜日によっては交通機関(特にバス)が満席になって予定どうり乗車できないことがあります。私も、最初は分からないことだらけでしたが、友達が教えてくれたり、手伝ってくれて寮生活や交通機関にもだんだん慣れました。留学を通して、韓国で生活して、日常で韓国語を使って精神的にも学力的にも成長できたと思います。一度、体調を崩して熱を出したときがありましたが、海外で体調を崩すとかかなりしんどいので、生活リズムや食生活にはいつも以上に気を付けてください。また、万一に備えて、事前に薬局や病院も確認しておくとか楽です。

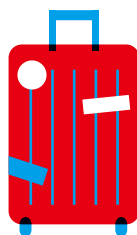


桜祭りin平澤大学



全州

*You can make friends
all over the world.*



【学部】経済・経営・人文・法・薬 【大学院】経済学・経営学・言語コミュニケーション・社会学・医療薬学
〒790-8578 松山市文京町4-2 TEL.089-925-7111(代表) <http://www.matsuyama-u.ac.jp/>

発行日:2018年3月 発行者:松山大学国際センター事務部 国際センター課 〒790-8578 松山市文京町4-2 TEL.089-925-7111(代表)、089-926-7148(ダイヤルイン) FAX.089-926-7151